



ShareFile

Machine translated content

Disclaimer

このコンテンツの正式なバージョンは英語で提供されています。Cloud Software Group ドキュメントのコンテンツの一部は、お客様の利便性のみを目的として機械翻訳されています。Cloud Software Group は機械翻訳されたコンテンツを管理していないため、誤り、不正確な情報、不適切な用語が含まれる場合があります。英語の原文から他言語への翻訳について、精度、信頼性、適合性、正確性、またはお使用の Cloud Software Group 製品またはサービスと機械翻訳されたコンテンツとの整合性に関する保証、該当するライセンス契約書またはサービス利用規約、あるいは Cloud Software Group とのその他すべての契約に基づき提供される保証、および製品またはサービスのドキュメントとの一致に関する保証は、明示的か黙示的かを問わず、かかるドキュメントの機械翻訳された範囲には適用されないものとします。機械翻訳されたコンテンツの使用に起因する損害または問題について、Cloud Software Group は責任を負わないものとします。

Contents

ShareFile ドキュメンテーションの新機能	3
展開	24
構成	33
管理者の概要	34
会社のアカウント情報	36
請求	39
セキュリティ	44
コネクタ	50
ストレージゾーン	61
詳細設定	62
フォルダー	70
人の設定	73
ShareFile Web	80
Citrix Files アプリ	83
アプリの構成	85
Citrix Files for Android	89
Citrix Files for Gmail	93
Citrix Files for iOS	95
Citrix Files for Mac	99
Citrix Files for Outlook	105
Citrix Files for Outlook Online	109
Citrix Files for Windows	111
RightSignature	121

Storage Zone Controller	123
ユーザー管理ツール	123

ShareFile ドキュメンテーションの新機能

July 25, 2024

ShareFile の目標は、ShareFile のお客様に新機能や製品アップデートを提供することです。

このプロセスは、お客様向けのわかりやすいものになっています。初期更新は ShareFile の内部サイトにのみ適用され、その後徐々にお客様の環境に適用されます。アップデートを段階的に配信することで、製品の品質を確保し、可用性を最大限に高めることができます。

2024 年 5 月 30 日

ShareFile 機能の更新

このリリースでは、次の機能強化を含むことで機能が向上しています：

- **ShareFile Catalog** で利用可能なソリューション -ShareFile カタログで利用できる ShareFile ソリューションを使用すると、ニーズに合わせてカスタマイズされたスペースを作成し、ShareFile ワークフローを完全に変革し、より多くのことを成し遂げることができます。詳細については、「[ShareFile カタログ](#)」と「[ShareFile ソリューション](#)」を参照してください。
- 新しいクライアントポータルエクスペリエンス -署名、文書、情報リクエストなど、複数の項目を割り当てられたクライアントには、割り当てられたタスクと完了したタスクを追跡するための新しいポータルが用意されました。詳しくは、「[クライアントポータル](#)」を参照してください

2024 年 5 月 29 日

ShareFile ドキュメントテンプレート

ShareFile Premium ユーザーは、ShareFile でさまざまなタイプのドキュメントをネイティブに作成できるようになりました。これには以下のメリットがあります：

- ShareFile のドキュメントテンプレートを使用すると、署名用のドキュメントをすばやく簡単に作成して送信できます。
- ShareFile のシームレスなドキュメントワークフローにより、契約書、請求書、提案書などの繰り返し使用するドキュメントを簡素化し、迅速に処理できます。
- 顧客は、Salesforce などのサードパーティインテグレーションからのデータを自動的に入力して、契約、請求書、提案書などに含めることができます。
- データを手動でコピーして文書に貼り付けるのは時間がかかり、人為的ミスが発生しやすくなります。お客様は当社のテンプレートを使用してヒューマンエラーを回避し、時間を節約できます。

詳細については、「[ドキュメントテンプレート](#)」を参照してください

2024 年 5 月 20 日

ShareFile for Outlook 24.5.4.0

このリリースでは、問題に対処しているため、全体的なパフォーマンスと安定性が向上しています。

解決された問題に関するリリース情報については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください

ShareFile 24.5.3 (Windows)

このリリースでは、問題に対処しているため、全体的なパフォーマンスと安定性が向上しています。

詳細については、「[Windows 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 30 日

ShareFile プロジェクトと新しいテンプレートライブラリ

このリリースでは、次の機能強化を含むことで機能が向上しています：

- ドキュメントリクエストの期日リマインダー - プロジェクトオーナーがリクエストを管理する時間を節約するための自動リマインダー。詳細については、「[ドキュメントリクエストの期日リマインダー](#)」を参照してください。
- プロジェクトユーザーの管理 - これにより、プロジェクトオーナーはプロジェクト内の各ユーザーのアクセスをカスタマイズできます。詳細については、「[プロジェクトユーザーの管理](#)」と「[\[ユーザー権限の管理\]\[ja-jp/sharefile/sharefile-app/sharefile-web/projects#managing-user-permissions\]](#)」を参照してください。
- テンプレートライブラリ - ShareFile では、すべてのテンプレートとテンプレートライブラリで共有されているテンプレートにアクセスできます。詳しくは、「[テンプレートライブラリ](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 22 日

ShareFile AI を活用した保護された共有の推奨機能

ユーザーが共有リンクを作成したり、20 MB 未満の 1 つのファイルを共有したりすると、ShareFile は AI を使用してドキュメントをスキャンして個人識別情報 (PII) データを検出し、保護された共有設定を自動的に推奨します。

詳細については、「[AI 支援による保護された共有の推奨機能](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 16 日

ShareFile for Outlook 24.4.2.0

このリリースでは、次のような全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています：

ShareFile の共有とリクエストの設定 -管理者はすべての ShareFile アプリケーションで共有とリクエストリンクのデフォルトを設定できます。詳しくは、「[保護された共有オプション](#)」を参照してください。

解決された問題に関するリリース情報については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください

2024 年 4 月 2 日

ShareFile Storage Zone Controller 5.11.25

このリリースには、一般的なセキュリティとユーザーの改善が含まれています。

詳しくは、「[Storage Zones Controller について](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 1 日

ShareFile の統合

ShareFile カタログを使用して、ShareFile アカウントから次のサードパーティアプリケーションにエクスポートする機能を追加できるようになりました：

- [FreshBooks](#)
- [Pipedrive](#)
- [QuickBooks](#)
- [Salesforce](#)
- [ゼロ](#)

詳しくは、「[インテグレーション](#)」を参照してください。

2024 年 3 月 27 日

ShareFile 24.3.3 (Windows)

このリリースでは、問題に対処しているため、全体的なパフォーマンスと安定性が向上しています。

詳細については、「[Windows 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2024 年 3 月 21 日

ShareFile HIPAA サポートの更新

HIPAA 対応の ShareFile アカウントには、スタッフがコラボレーションプロセスを最適化し、わかりやすいツールを提供するのに役立ついくつかの機能強化が含まれています。

詳細については、「[HIPAA サポート](#)」を参照してください

2024 年 3 月 8 日

ShareFile for Outlook 24.2.12.0

このリリースでは、問題に対処しているため、全体的なパフォーマンスと安定性が向上しています。

詳細については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください。

2024 年 3 月 1 日

ShareFile の保護された共有とリクエストの管理

ShareFile 管理者は、ファイルの共有とリクエストの両方のデフォルトを管理できます。詳しくは、次のトピックを参照してください：

- [共有設定](#)
- [リクエスト設定](#)

2024 年 2 月 28 日

ShareFile 24.2.2

このリリースでは、次のような全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています：

ShareFile の共有とリクエストの設定 - 管理者はすべての ShareFile アプリケーションで共有とリクエストリンクのデフォルトを設定できます。詳しくは、「[保護された共有オプション](#)」を参照してください。

2024 年 2 月 21 日

ShareFile 24.2.2 (Windows)

新しい ShareFile 管理者共有設定のサポートが追加されました。

詳しくは、「[共有設定](#)」を参照してください。

2024 年 2 月 20 日

署名

このリリースでは、次の機能強化を含めることで機能を改善する問題に対処しています：

- フィールドのインポート -以前の署名依頼ドキュメントからフィールドをインポートすることで時間を節約できます。詳細については、「[インポートフィールド](#)」を参照してください

ShareFile for Outlook 24.2.10

2024 年 2 月 16 日

ShareFile for Outlook 24.2.10

このリリースでは、次のような全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています：

ShareFile の共有とリクエストの設定 -管理者はすべての ShareFile アプリケーションで共有とリクエストリンクのデフォルトを設定できます。詳しくは、「[保護された共有オプション](#)」を参照してください。

解決された問題に関するリリース情報については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください

2024 年 2 月 15 日

Mac 用 ShareFile 24.2

このリリースでは、以下の機能強化を含むことで機能を改善する問題に対処しています：

ストレージ保護 -ShareFile for Mac は、ストレージの超過分を検出し、アップロードをブロックできます。詳細については、「[ShareFile ストレージ](#)」を参照してください。

ShareFile の共有とリクエストの設定 -管理者はすべての ShareFile アプリケーションで共有とリクエストリンクのデフォルトを設定できます。詳しくは、「[保護された共有オプション](#)」を参照してください。

サポート対象言語の更新 -ShareFile はサポート対象言語リストを更新しました。詳細については、「[サポートされている言語](#)」を参照してください。

ShareFile API

[api.sharefile.com](#) を介してアクセスされるすべての公開共有リンクには認証が必要です。

詳細については、「[REST API クイックスタートガイド](#)」を参照してください。

2024 年 2 月 9 日

ShareFile セキュリティ通知の管理

ShareFile は、セキュリティ警告の柔軟な電子メール通知を提供するようになりました。ShareFile により、管理者はセキュリティ関連のメールアラートを組織の内部セキュリティチームに効率的にルーティングできるようになりました。

詳細については、「[通知の管理](#)」を参照してください。

2024 年 2 月 6 日

ドメイン包含リスト

ShareFile が `*.harness.io` を推奨包含ドメインリストに追加しました。

詳しくは、「[ファイアウォールの設定](#)」を参照してください。

2024 年 2 月 5 日

署名

このリリースでは、以下の機能強化を含むことで機能を改善する問題に対処しています：

- **** 保存した署名を署名注釈で使用します ****。
- 署名リクエストを作成するときは、フィールドを揃えてください。
- 署名リクエストの詳細ページから受信者を追加、変更、または削除します。

注：

これらは ShareFile 署名でのみ使用できます。詳細については、「[署名](#)」を参照してください。

2024 年 1 月 25 日

ShareFile for Windows 24.1.26

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

詳細については、「[Windows 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2024 年 1 月 9 日

署名

今回の ShareFile リリースでは、一括送信機能が強化され、複数の署名者に 1 つのドキュメントのコピーを送信できるようになりました。

詳細については、「[一括送信](#)」を参照してください。

2023 年 12 月 20 日

署名

この ShareFile リリースでは、署名フローと署名をリクエストする際の機能を改善する 3 つの拡張機能が提供されています。これらの新しい機能強化の詳細については、以下のリンクを選択してください。

[署名リクエスト](#)の修正 - ユーザーは、進行中の署名リクエストを修正して必要な変更を加えることができるようになりました。

[支払いフィールド](#)の使用 - **Stripe** が統合された署名ユーザーは、署名リクエストを設定する際に新しい支払いフィールドを使用できます。

[チェックボックスグループの使用](#) - [チェックボックスグループ](#)を使用すると、署名者が署名依頼を完了するときに承認する項目のオプションまたは必須のリストを作成できます。これらのチェックボックスには柔軟性があるため、受信者ごとに署名リクエストや要件をカスタマイズできます。

2023 年 12 月 11 日

RightSignature

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処し、次の機能強化を行っています：

署名者ドキュメントのダウンロード - RightSignature 管理者は、受信者が署名前にドキュメントをダウンロードするオプションを有効または無効にできます。この新しいオプションの使用方法について詳しくは、「[署名者ドキュメントのダウンロード](#)」を参照してください。

詳しくは、「[電子署名-解決された問題](#)」を参照してください。

ShareFile

現在進行中の製品改善の一環として、バックエンドシステムを更新中です。このプロセスはお客様にとってシームレスなものになるはずであり、アカウントに新しい請求機能が導入される可能性があります。

署名 このリリースには、ShareFile Signatures ユーザー向けの以下の機能強化も含まれています：

ShareFile 署名ユーザーは、受信者が署名する前にドキュメントをダウンロードすることを許可する[デフォルト設定](#)で受信者の新しい権限を編集できるようになりました。この新しい設定について詳しくは、「[署名者権限](#)」を参照してください。

ShareFile を使用してメールを保存する

ShareFile は、Google Workspace 向け ShareFile と Microsoft Outlook Online 向け ShareFile の新製品拡張を発表できることを嬉しく思います。添付ファイル付きのメールを ShareFile に直接簡単に保存できるようになりました。これにより、安全なファイルストレージを備えた信頼できる同じプラットフォーム内で、メールコンテンツを簡単に整理、アクセス、共有できます。

詳細については、以下を参照してください：

- [Outlook オンラインメールを ShareFile に保存する](#)
- [Google Workspace のメールを ShareFile に保存する](#)

2023 年 11 月 30 日

ShareFile プロジェクトの強化

[プロジェクトの削除と復元](#) -削除したプロジェクトは、最新リリースで簡単に復元できます。

[削除したドキュメントリクエスト](#)を復元する -削除されたドキュメントリクエストは、新しい復元機能を使用して復元できます。

[プロジェクト内の 1 つまたは複数のファイルの削除と復元-プロジェクトファイル](#)は、最新リリースで削除および復元できます。

2023 年 11 月 6 日

ShareFile 脅威検出アラートと修復アップデート

このリリースには、脅威の検出と修復機能の強化が含まれています。

詳細については、「[ShareFile 脅威検出アラート](#)」を参照してください。

ShareFile プロジェクトの強化

[プロジェクトダッシュボード](#) -最新の ShareFile ブランドで更新されました。

プロジェクトの検索と並べ替え -ユーザーはプロジェクトを検索して並べ替えることができるようになりました。

プロジェクトユーザーのクリーンアップ - [プロジェクトは従業員ユーザーの削除プロセスに含まれるようになります](#)、プロジェクトオーナーがいなくなった場合は再割り当てが必要になります。

[ドキュメントリクエスト](#) - プロジェクトオーナーは、担当者を変更したり、アクティブなドキュメントリクエストリストに追加したりできます。

プロジェクトステータス - 「オープン」または「クローズ」のプロジェクトステータスに基づいてフィルタリングできるようになりました。

RightSignature 強化

このリリースには、RightSignature の拡張が含まれています：

リクエスト送信後の署名者名の編集-送信者は署名リクエストの署名者名と電子メールを編集できます。

2023 年 11 月 1 日

Mac 用 ShareFile (ベータ版) リリース

ShareFile for Mac のベータリリースでは、アプリケーションに次のアップデートが提供されています：

- [Microsoft Office ファイルの共同編集](#)
- [場所を追加](#) -ShareFile が Mac を使って Microsoft Office アプリケーションに直接アクセスできるようにします。

[ShareFile for Mac ベータリリースをダウンロードして](#)、これらのベータ機能をお試しください。

詳細については、「[Mac 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2023 年 10 月 31 日

Mac 用 ShareFile 23.10

ShareFile for Mac を更新して、新しいブランドをアプリケーションで利用できるようにしました。これには、次の更新機能が含まれます：

- ファイルの共有とリクエストのエクスペリエンスが再設計されました。ShareFile Web アプリケーションに実装された最新の保護された共有オプションに従い、ShareFile for Mac エクスペリエンスでも一貫したエクスペリエンスが提供されるようになりました。
- 編集可能な共有 -ShareFile for Mac では、編集可能な共有を提供できるようになりました。

詳細については、「[Mac 用 ShareFile でのファイルの共有](#)」を参照してください。

2023 年 10 月 26 日

ShareFile マネージドクラウドストレージゾーンは **UAE** リージョンで利用できます

新しい ShareFile マネージドクラウドストレージゾーンが UAE リージョンで利用可能になりました。UAE 地域にお住まいのお客様は、[ShareFile サポートに連絡して](#)、アカウントで新しいストレージゾーンを有効にしてください。

利用可能な ShareFile クラウドストレージゾーンのリストを含む詳細については、「[ShareFile マネージドクラウドストレージゾーン](#)」を参照してください。

2023 年 10 月 23 日

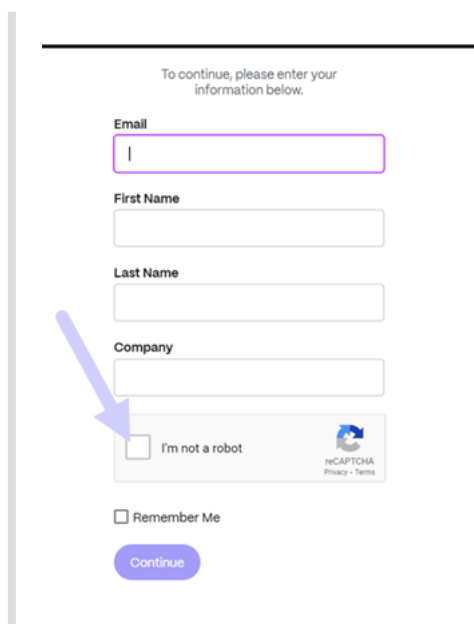
新しい保護された共有オプション

ファイル共有のセキュリティ体制を改善するための措置を講じています。今後、すべてのリンクでは、Mac および Windows 用の ShareFile デスクトップアプリ、ShareFile Web アプリ、ShareFile Mobile アプリ、Microsoft Outlook および Gmail 用の ShareFile Mobile プラグインなど、すべての ShareFile ロケーションに適用される保護された共有オプションがデフォルトで使用されます。

- すべての共有で、「サインインが必要」オプションがデフォルトで選択されます
- 誰でも閲覧できるリンクを共有しようとしているときの新しいアラート。
- 管理者は、アカウントのすべての共有リンクまたはリクエストリンクに認証を要求できます。

注：

「全員（公開、名前とメールアドレスを入力する必要があります）」オプションを選択した場合、受信者は reCAPTCHA ** リクエストを完了する必要があります。

A screenshot of the ShareFile login form. At the top, it says "To continue, please enter your information below." Below this are four input fields: "Email", "First Name", "Last Name", and "Company". The "Email" field is highlighted with a red border. Below the "Company" field is a checkbox labeled "I'm not a robot" with a reCAPTCHA logo to its right. Below the checkbox is a "Remember Me" checkbox. At the bottom is a red "Continue" button. A red arrow points to the "I'm not a robot" checkbox.

詳細については、「[新しい保護された共有オプション](#)」の詳細ページをご覧ください。

2023 年 10 月 12 日



ShareFile は、**ShareFile** が完全なソリューションへと進化したことを示す新しいルックアンドフィールを発表しました

私たちは、安全なドキュメント共有にとどまらないようにソリューションを進化させました。私たちは、自動化、ネイティブ電子署名、クラス最高のセキュリティを使用するデジタルファーストのワークフローをお客様が採用できるよう支援しています。これらのワークフローによって生み出される効率とコスト削減により、お客様は最新のクライアントエクスペリエンスの提供に集中できます。

私たちのブランドアイデンティティの刷新の中核は、「やすさ」です。私たちは、障害物なしに、最初から最後まですべてのチェックボックスにチェックを入れているという感覚を捉えたかったのです。たとえば、新しいロゴマークでは、達成感を示す象徴的なチェックマークを使用することで、この感覚を生き生きとさせています。

ブランドカラーから 3D 要素まで、ShareFile の新しいルックアンドフィールは、スムーズなプロセスと、その結果生まれるエネルギーと喜びの瞬間が仕事に意味のあるものになるというストーリーを伝えるのに役立ちます。

ShareFile の進化について詳しくは、「[ShareFile を働き方の未来へと導くモダナイズされたブランド](#)」をご覧ください。

2023 年 9 月 26 日

新しい **ShareFile** ストレージ機能

2023 年 8 月 4 日以降に作成された新規アカウントの場合、ShareFile 管理者には、ストレージ制限の適用に加えて、アカウントのストレージ消費量に関する新しいダッシュボードが表示されます。新規アカウントでは、次の新機能が利用可能です。

ストレージ使用量管理ダッシュボード -ShareFile の新機能です。ストレージ使用量は、管理者が以下を表示して実行できるダッシュボードを含む管理スペースです：

- インジケーターを使用して、アカウントが使用したストレージの合計を表示します。
- 割り当てられたストレージのうち、どれだけのストレージが消費されているかを確認します。
- ストレージが更新された日付。
- アカウント内の上位のストレージコンシューマーのリストを取得します。
- 必要以上のストレージを使用しているユーザーを選択して通知します。

ShareFile**UI** の通知には、アカウントが使用しているストレージと、ストレージを制限内に収めるために実行する必要があるアクションが表示されます。また、ShareFile は、アカウントが割り当てられたストレージの 90% と 100% に達すると、管理者にメールを送信します。

ストレージの強制 -アカウントがストレージを 100% 消費し、合計ストレージ制限を超えると、そのアカウントのアクションはブロックされ、そのアカウントのユーザーはファイルのアップロード、ドキュメントの作成、新しいデータの追加、ファイルのリクエスト、またはファイルの複製ができなくなります。ただし、ユーザーは自分のアカウントにログインし、閲覧およびダウンロードすることができます。

詳しくは、「[ShareFile ストレージ](#)」を参照してください。

2023 年 9 月 25 日

ShareFile-テナント管理

ShareFile を使用すると、パートナーは新しいテナントアカウントを追加できます。新しい自動プロビジョニングにより、アカウント管理がより合理化され、テナントの設定が容易になり、市場投入までの時間が短縮されます。

詳細については、「[テナント管理](#)」を参照してください。

2023 年 9 月 19 日

ShareFile 署名の強化

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処し、次の機能が含まれています：

署名日に設定-署名用送信するときにこれを有効にすると、ドキュメントに署名された日付が自動入力されます。詳細については、「[自動入力日付](#)」を参照してください

日付フォーマット-ShareFile は 5 つの日付フォーマットオプションを追加しました。ShareFile での日付オプションの設定の詳細については、「[時刻と日付](#)」を参照してください。

ShareFile VDR 機能の更新

ShareFile VDR ユーザーは、次の新機能にアクセスできます：

[脅威検出アラート](#):ShareFile アカウントへの異常アクセスの通知をメールで受け取り、クライアントデータを保護します。

2023 年 9 月 14 日

ShareFile for Outlook Online

ShareFile は、**ShareFile for Outlook** アドインのリリースを発表できることを嬉しく思います。

ShareFile for Outlook Online は、Outlook Online を使用するとき ShareFile Advanced および Premium のお客様が利用できる機能アプリです。

ShareFile for Outlook Online アドインにアクセスするには、[Microsoft AppSource](#) にアクセスしてください。詳細については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください。

2023 年 9 月 11 日

EU コントロールプレーンで新機能が利用可能になりました

EU の管理下にある ShareFile Premium サブスクリイパーは、いくつかの新しいプレミアム機能にアクセスできるようになりました。これらの各機能の詳細については、機能名を選択してください：

- [プロジェクト](#) -クライアントとのサービスを整理、デジタル化、統合するための ShareFile の新しいコラボレーションスペース。
- [ドキュメントリクエスト](#) [新しいリクエストリストツールを使用すると](#)、採用や財務ドキュメントのリスト収集のための人事ドキュメントなど、ドキュメントのリクエストや収集のワークフローをデジタル化、整理、効率化できます。
- [自動ワークフロー](#) -特定のアクションと自動化トリガーに基づいてワークフローをカスタマイズするために使用できる ShareFile の新しいワークフロービルダー。
- [クライアントオンボーディングのための迅速な契約](#) -このすぐに使えワークフローは、**NDA** などのクライアントオンボーディング契約や、サービスの開始に一般的に必要とされるその他の署名契約を合理化および自動化します。

2023 年 8 月 31 日

モバイル向け **Citrix Files**

ShareFile は、iOS 用 Citrix Files と Android 用 Citrix Files における Microsoft Office 365 の共同編集機能を発表できることを嬉しく思います。上級ユーザーおよびプレミアム ShareFile ユーザーは、以下のモバイル機能を利用できるようになりました。

- 複数のユーザーとのライブ共同編集機能
- さまざまな種類の Microsoft Office 365 オンラインファイルを表示する
- Microsoft 365 ファイルをオンラインで編集
- オフラインファイルを表示する
- 新しい Microsoft Office ファイルを作成してユーザーと共有する

Citrix Files for Android 2380 Android 向け Citrix Files の新しい共同編集機能について詳しくは、「[Android デバイスを使った共同編集](#)」を参照してください。

Citrix Files for iOS 2380 iOS 向け Citrix Files の新しい共同編集機能について詳しくは、「[iOS デバイスを使った共同編集](#)」を参照してください。

2023 年 8 月 14 日

ShareFile の新機能およびアップデートされた機能

タスク: 進行中、完了、期限切れ、まだ開始されていないなど、クライアントの案件に関連するタスクのステータスを簡単に追跡できるようになりました。[この新機能を最近リリースされたプロジェクト機能で活用してください。](#)

脅威検出アラート: ShareFile アカウントへの異常アクセスの通知をメールで受け取り、クライアントデータを保護します。

見込み客データを [Salesforce](#) および [QuickBooks](#) と統合します。

プロジェクトには、[上記の新しいタスク機能による機能が追加されました。](#)

自動入力テンプレートによる契約書の迅速化 - 無制限の電子サイン機能が組み込まれたほか、「プロジェクト作成」が更新され、面倒なドキュメント準備が簡単になりました。

新しいメール送信アクションによる自動ワークフロー - パーソナライズされたウェルカムメールは、自動化されたワークフローから直接クライアントに簡単に送信され、クライアントとの関係と信頼関係が向上します。

ShareFile for Windows

[場所を追加](#) -ShareFile for Windows ユーザーは、ネイティブの Microsoft アプリケーションに接続してデスクトップツールをフル活用できるようになりました。また、編集または共同編集にファイルを ShareFile に自動的に保存し直すことができます。

2023 年 8 月 7 日

Mac 用 ShareFile 2023.8.7

Mac 用の新しい ShareFile アプリケーションを発表できることを誇りに思います。Mac 用 ShareFile をダウンロードするには、[ここをクリックしてください](#)。

ShareFile for Mac の新しいリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています。

詳細については、「[Mac 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2023 年 8 月 3 日

ShareFile 移行ツール v4.4.3.0

ShareFile 移行ツールの最新バージョンは、[こちらからダウンロードしてください](#)。

詳細については、「[ShareFile データ移行ツール](#)」を参照してください。

2023 年 8 月 2 日

Google Workspace の ShareFile

この新しい ShareFile アドオンは、生産性向上ツールにシームレスに統合され、コラボレーションを変革し、ファイル共有を簡素化し、生産性を大幅に向上させます。

誰かがファイルにアクセスしたりファイルを送信したりするたびに通知を受信するため、常に状況を把握でき、必要に応じて対処できます。さまざまなセキュリティレベルとアクセスレベルを設定することもできます。

アクセスやログインなどのエンドユーザー向けヘルプについては、Google Workspace の [ShareFile に関するユーザーガイド](#)をご覧ください。

ShareFile アドオンにアクセスするには、[ShareFile](#) アドオンページにアクセスしてください。

2023 年 8 月 1 日

ShareFile

ShareFile は、ShareFile プロジェクト機能のメジャーアップデートを発表できることを嬉しく思います：

プロジェクトを削除する -ShareFile Premium のお客様は、作成したプロジェクトを削除できるようになりました。詳細については、「[プロジェクトの削除](#)」を参照してください。

クライアントはプロジェクトに他の寄稿者を追加できます。ShareFile Project の所有者は、プロジェクトのクライアントがクライアントの組織から他の寄稿者を追加することを許可できるようになりました。詳細については、「[プロジェクトユーザーの管理](#)」を参照してください。

プロジェクトオーナーはチームメンバーを追加できます -ShareFile Project オーナーは、プロジェクトを支援するために組織からチームメンバーを追加できます。詳細については、「[プロジェクトユーザーの管理](#)」を参照してください。

2023 年 7 月 20 日

ShareFile for Windows 23.7.10

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

詳細については、「[Windows 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2023 年 7 月 11 日

ShareFile for Outlook 23.7.3

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

最新リリースをダウンロードするには、[ShareFile for Outlook のダウンロードページ](#)を参照してください。

詳細については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください。

Citrix Files for iOS 2370

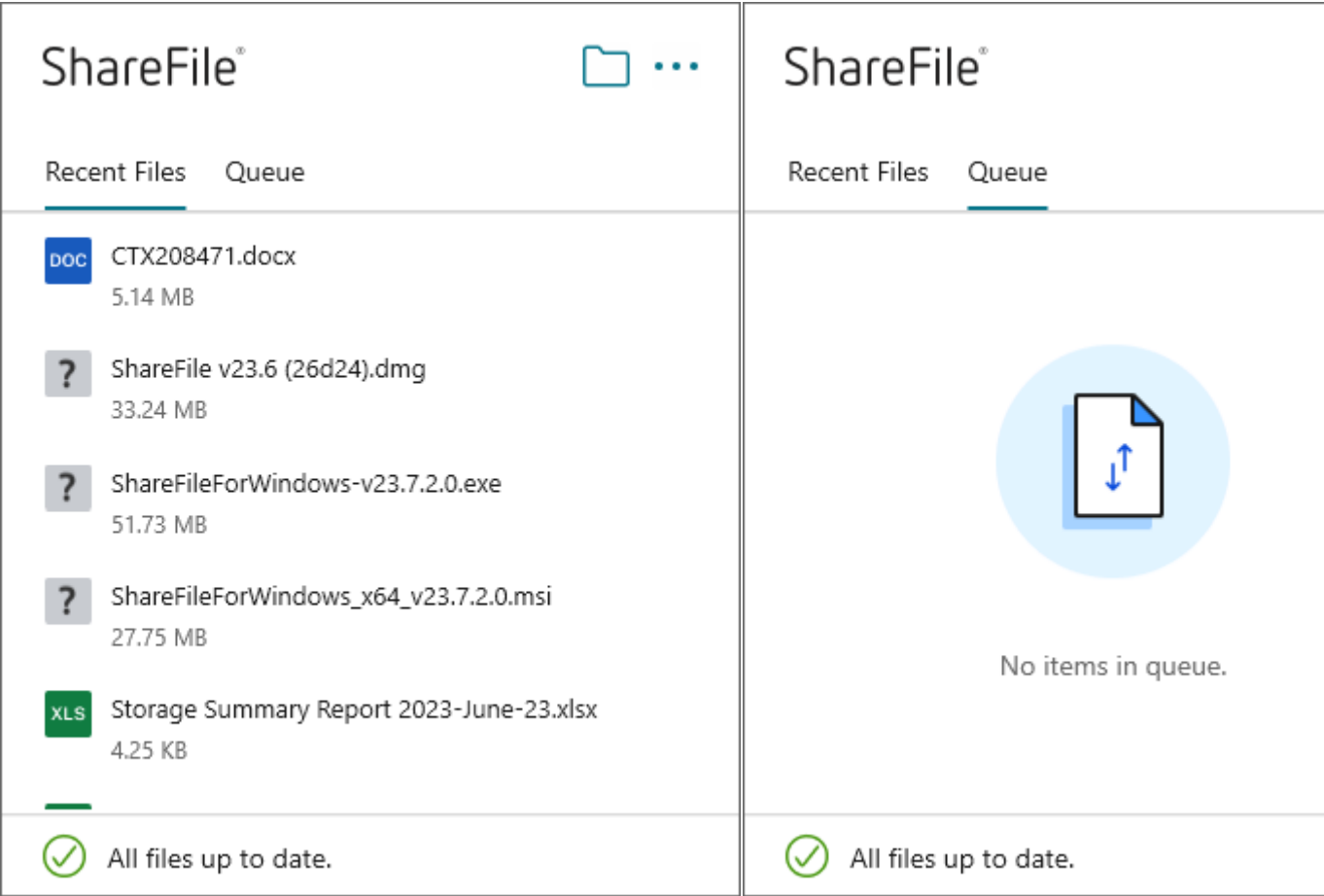
このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

詳しくは、「[Citrix Files for iOS](#)」を参照してください。

2023 年 7 月 10 日

ShareFile 23.7 (Windows)

Windows 用の新しい ShareFile アプリケーションを発表できることを誇りに思います。Windows 用の ShareFile をダウンロードするには、[ここをクリックしてください](#)。



新しい **ShareFile for Windows** リリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しており、以下の機能更新も含まれています。

新しいリクエストファイルエクスペリエンス - このアップデートでは、ShareFile for Windows を使用する際に、リンクの作成と定義を強化したり、特定のユーザーにアクセスしたりするなど、ファイルをリクエストするためのオプションが増えました。

詳細については、「[Windows 用 ShareFile](#)」を参照してください。

2023 年 6 月 26 日

Citrix Files for Android 2360

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

詳しくは、「[Citrix Files for Android](#)」を参照してください。

2023 年 6 月 20 日

Citrix Files for iOS 2360

このリリースには、MDX SDK のバージョン 23.4.0 への更新など、ユーザーによる改善が含まれています。

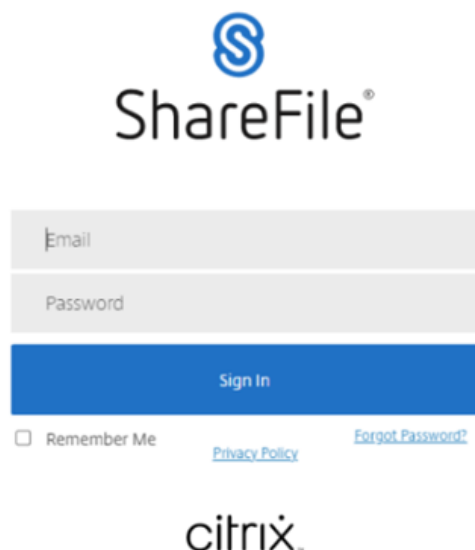
詳しくは、「[Citrix Files for iOS](#)」を参照してください。

2023 年 5 月 23 日

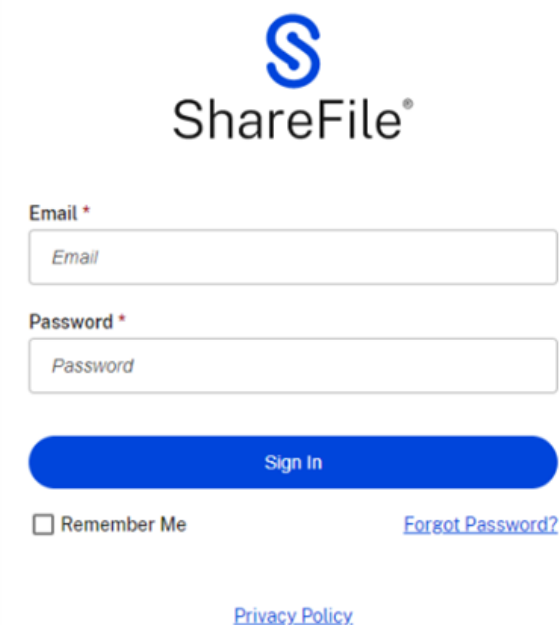
ShareFile

ShareFile は、再設計されたログイン画面とサインオン画面を発表できることを嬉しく思います。アクセシビリティとセキュリティが向上し、ロゴが新しくなり、見た目も使い心地も一新されました。機能に変更は加えられていません。

Previous version



New version



今すぐ好きな方法で ShareFile アカウントにサインインして、新しいデザインをご覧ください。

2023 年 5 月 22 日

Citrix Files for iOS 2355

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを改善する問題が修正され、iOS デバイスとの共有機能に次の新しい更新が含まれています。

共有機能の強化 - 今回のアップデートでは、共有のオプション、リンクの作成と定義、特定のユーザーによるアクセスに関するオプションが増えました。

詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

2023 年 5 月 17 日

ShareFile は *.sharefile.io を含めることを発表しました

将来の ShareFile 機能リリースと機能改善に備えて、*.sharefile.io を追加してください。

これが誰に影響するかについての詳細は、「[ファイアウォールの設定](#)」を参照してください。

2023 年 5 月 11 日

Storage Zones Controller 5.11.24

このリリースには、ShareFile Storage Zones Controller のセキュリティ更新と修正された問題が含まれています。

詳しくは、「[Storage Zones Controller について](#)」を参照してください。

2023 年 5 月 4 日

ShareFile Virtual Data Room

ShareFile Virtual Data Room により、お客様は HIPAA コンプライアンスを簡単に設定し、機密取引中に保存または配布される機密ドキュメントを保護できるようになりました。

また、アカウントのサインアップ時に、お客様は EU コントロールプレーンを選択できるようになりました。これにより、EU に準拠し、GDPR などの厳しいガイドラインに従いながら、VDR を国際的に利用できるようになります。

詳細については、「[ShareFile Virtual Data Room](#)」を参照してください。

2023 年 5 月 1 日

ShareFile

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正され、次の新機能が追加されました。

クライアントオンボーディングのアクセラレーテッド契約の強化 -このアップデートには、現在のクライアント向けの機能追加と、ワークフローの可視性と管理のための機能追加が含まれています。詳しくは、次のトピックを参照してください：

- [加速契約](#)
- [自動入力契約テンプレートの作成](#)

自動ワークフローベータリリース -ShareFile Premium ユーザー向けのこの新機能により、迅速な契約の進捗状況を簡単に追跡および管理できます。詳しくは、次のトピックを参照してください：

- [自動ワークフロー](#)

2023 年 4 月 19 日

Citrix Files 23.4 for Windows

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正され、以下の更新が行われました。

[共有機能の強化](#) -今回のアップデートでは、共有のオプション、リンクの作成と定義、特定のユーザーによるアクセスに関するオプションが増えました。

Citrix Workspace との統合はご利用いただけなくなりました。

詳しくは、「[Citrix Files for Windows](#)」を参照してください。

2023 年 4 月 17 日

ShareFile for Outlook

Citrix Files アプリケーションの名前は、ShareFile に変更されています。このリリースでは、Outlook 用の Citrix **Files** が **Outlook** 用の **ShareFile** になりました。

Citrix Workspace との統合はご利用いただけなくなりました。

詳細については、「[ShareFile for Outlook](#)」を参照してください。

2023 年 3 月 29 日

Citrix Files for iOS 2330

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正され、iOS デバイスでのアップロード機能に以下の新しいアップデートが加えられました。

ファイルのアップロード - デバイスから ShareFile フォルダーに直接ファイルをアップロードできるようになりました。

詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

2023 年 3 月 22 日

Citrix Files for Mac 23.3

このリリースには **Apple Silicon** のネイティブサポートが含まれており、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる問題が修正されています。

詳しくは、「[Citrix Files for Mac](#)」を参照してください。

2023 年 2 月 22 日

ShareFile

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを改善する問題が修正され、次の新しいアップデートが含まれています。

共有機能の強化 - 今回のアップデートでは、共有のオプション、リンクの作成と定義、特定のユーザーによるアクセスに関するオプションが増えました。

詳細については、「[ファイルの共有](#)」を参照してください。

2023 年 2 月 14 日

Citrix Files 2320 for Android

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正されています。

詳しくは、「[Citrix Files for Android](#)」を参照してください。

2023 年 2 月 6 日

RightSignature

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題が修正され、次の機能が含まれています。

署名拒否-署名者は RightSignature アカウントから受け取ったドキュメントへの署名を拒否できるようになりました。詳しくは、「[RightSignature-署名拒否](#)」を参照してください。

詳しくは、「[電子署名-解決された問題](#)」を参照してください。

Citrix Files 2320 for XenMobile

このリリースでは、iOS デバイスからのファイルアップロードの改善など、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています。

詳しくは、「[Citrix Files for iOS](#)」を参照してください。

2023 年 1 月 24 日

Citrix Files for iOS 2310

このリリースでは、iOS デバイスからのローカルファイルのアップロードを含め、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処しています。

詳しくは、「[Citrix Files for iOS](#)」を参照してください。

2023 年 1 月 12 日

ShareFile 01-12-2023

このリリースでは、全体的なパフォーマンスを向上させる問題に対処し、次の新機能が含まれています。

迅速な契約 -ShareFile Premium ユーザー向けのこの新機能により、クライアントのオンボーディングプロセスが改善されます。この機能により、オンボーディングサイクル時間が短縮されます。

詳細については、「[アクセラレーテッドアグリーメント-クライアントオンボーディング](#)」を参照してください。

展開

August 7, 2023

注:

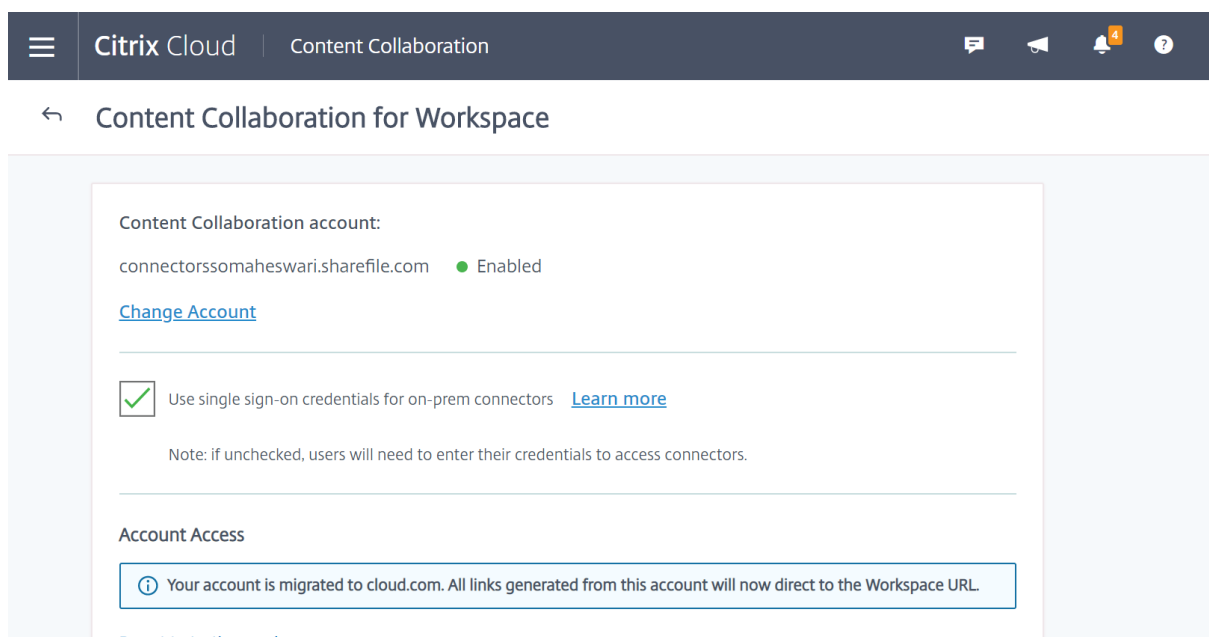
2023 年 4 月 30 日以降、ShareFile の資格を持つ Citrix Workspace のお客様は、Citrix Workspace で埋め込みファイルを使用できなくなります。この日以降、ユーザーは自分の ShareFile.com アカウントからのみファイルにアクセスできるようになります。詳しくは、「よくある質問: [ShareFile アカウントを Citrix Workspace から切り離す](#)」を参照してください。

オンプレミスコネクタのシングルサインオン

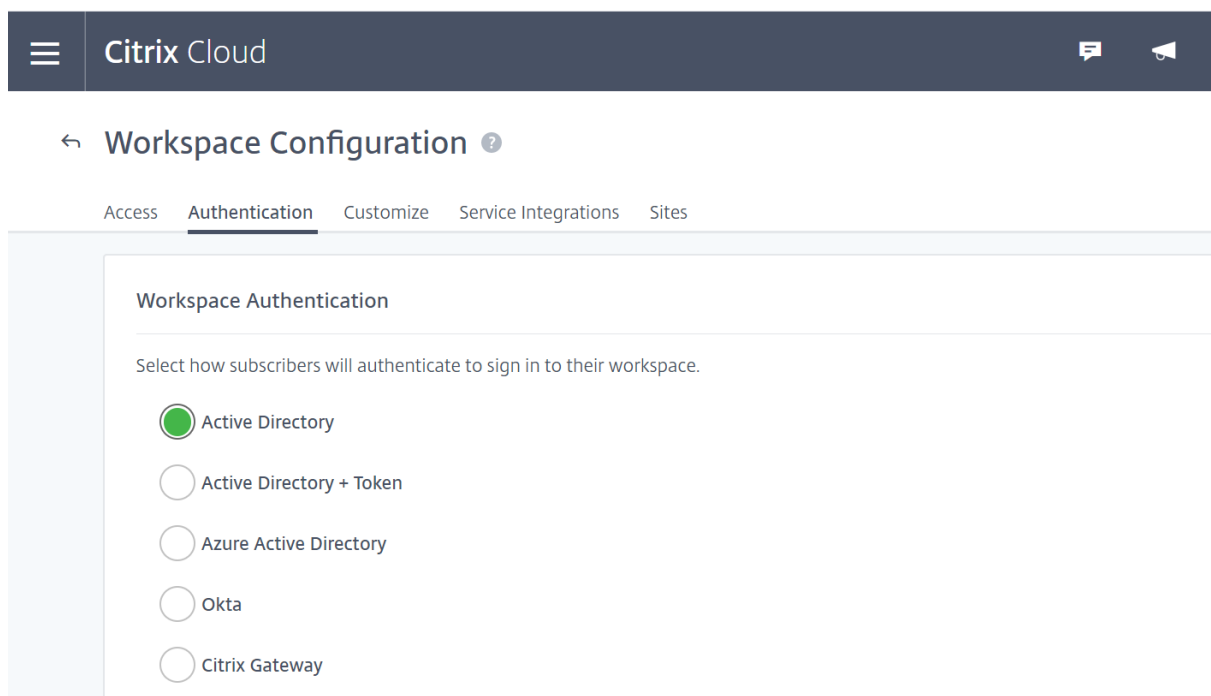
Connector で SSO を有効にすると、Citrix Workspace クライアントが Storage Zones Controller の背後にあるネットワーク共有または SharePoint フォルダーにアクセスするときに認証を求められなくなりました。

Storage Zones Controller バージョン 5.7 以降およびオンプレミスコネクタを使用するアカウントでは、ネットワークファイル共有または SharePoint コネクタに対してシングルサインオンを有効にできます。Citrix Workspace で Citrix Content Collaboration を有効にしたら、次の手順を完了します。

1. [サービス統合] 画面で、3 つのドットを選択します。
2. [編集] を選択して、Citrix Content Collaboration の展開を編集します。
3. [オンプレミスコネクタにシングルサインオン資格情報を使用する] チェックボックスをオンにします。



シングルサインオンは現在 Active Directory にのみ統合されています。Workspace に存在する他の認証メカニズムでは、シングルサインオンはサポートされません。



Citrix Workspace で Citrix Content Collaboration を初めて有効にすると、アカウントはテストモードになります。テストモードは、ユーザーが Workspace にサインインして [ファイル] タブを表示できる一方で、すべての新しいリンクが ShareFile.com リンクとして生成されます。管理者が Citrix Workspace for Citrix Workspace for Citrix Content Collaboration への移行が完了すると、新しいリンクはすべて cloud.com リンクとして生成され、古い sharefile.com リンクはアカウントのそれぞれの cloud.com リンクにリダイレクトされます。

注：

アカウントがテストモードの場合、シングルサインオンはサポートされません。シングルサインオンをサポートするには、アカウントを Citrix Workspace に移行する必要があります。

Citrix Workspace にアカウントを完全に移行するには、次の手順に従います。

1. ハンバーガーメニューに移動し、[ワークスペース構成] を選択します。
2. **Service Integrations** に移動し、3 つのドットを選択します。
3. [編集] を選択して、Citrix Content Collaboration の展開を編集します。
4. [アカウントアクセス] で、[アカウントを **cloud.com** に移行] を選択します。

手順をもう一度実行して [テストモードに戻す] を選択することで、テストモードに戻すこともできます。

テストモードから移行する場合、Citrix Content Collaboration ライセンスで使用できるすべての機能が Citrix Workspace で使用できるわけではありません。

ユーザーが [ファイル] タブを表示するには、Citrix Content Collaboration の従業員ユーザーのメールアドレスが会社のユーザーストア (Active Directory または Azure Active Directory) のメールアドレスと一致している必要があります。これは、従業員ユーザーを手動で作成するか、[ユーザー管理ツールを使用して行います](#)。

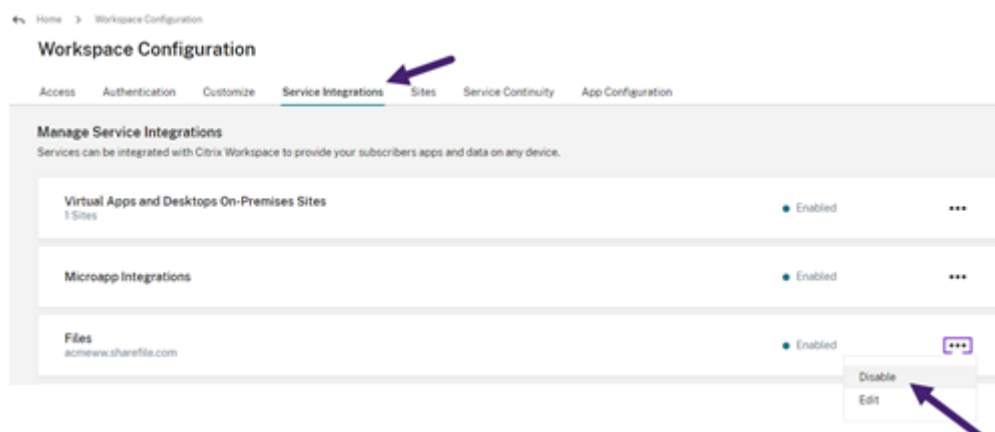
注:

Azure Active Directory が Citrix Content Collaboration で正しく動作するには、Azure Active Directory に各ユーザーのプライマリメールアドレスが必要です。これには、Microsoft サブスクリプションに Exchange Online の Office 365 サブスクリプションを含めるか、Azure Active Directory 接続を使用して Azure Active Directory をオンプレミスの [Active Directory](#) に接続する必要があります。

Citrix Workspace での Content Collaboration の無効化

Citrix Workspace で Citrix Content Collaboration を無効にする必要がある場合は、次の手順を実行します。

1. [ワークスペースの構成] > [サービス統合] > [**Citrix Content Collaboration**] で、省略記号を選択します。
2. [無効化] をクリックします。



Citrix Content Collaboration を無効にすると、すべてのユーザーが sharefile.com 経由で Citrix Content Collaboration にアクセスし、すべての新しい共有で sharefile.com ドメインが使用されることが期待されます。無効化が完全に展開されるまでには、最大 30 分かかる場合があります。

Workspace ではサポートされていない Content Collaboration 作業機能

ShareFile アプリケーションを使用している場合は、[**Citrix Workspace** でサインイン] をクリックして、Citrix Workspace の資格情報

Citrix Content Collaboration ライセンスで使用できるすべての機能が Citrix Workspace で利用できるわけではありません。これらの機能の一覧は次のとおりです。

現在サポートされていない機能と設定

- ワークスペースで Citrix Content Collaboration (ファイル) が有効になっている場合、Citrix Virtual Apps and Desktops 匿名アプリはサポートされません

- ShareFile Virtual Data Room、および Folder Q&A などの ShareFile Virtual Data Room アカウントに限定された機能
- 外部 (クライアント) ユーザー固有の 2 段階認証
- ファイルにアクセスするための FTP オプションは Workspace ではサポートされていません
- フォルダー招待

ShareFile ではなく Citrix Cloud で構成されるようになった機能と設定

- 既存の ShareFile ブランディング代わりに、Workspace のカスタムブランディングは [ワークスペース構成] で使用できます。
- セカンダリ ShareFile サブドメイン代わりに、[ワークスペース構成] で 1 つのワークスペース URL をカスタマイズできます。
- ワークスペース認証は AD、Azure AD、または Okta をサポートします。SAML と Google Identity は Tech Previewd 段階です。

Citrix Files 移行ツール

Citrix Files Migration Tool を使用すると、ユーザーは大量のデータをフォルダーの所有権と権限とともに、ネットワーク共有またはローカルファイルシステムから Citrix Files に移行できます。

システム要件

- .NET Framework 4.6.2 以降
- Windows 7 以降、Windows Server 2008 以降

制限事項

- この機能はクライアントユーザーには使用できません。
- このアプリケーションは、[Microsoft ファイルパスの制限に準拠しています](#)。パスの制限を超えるファイルはマイグレートされません。
- 万が一、ファイル転送によって Citrix Content Collaboration インフラストラクチャのトラフィックが多すぎる場合、Citrix Files は転送を一時停止することがあります。転送は自動的に再開されます。
- 別のプログラムで現在使用されているファイルはマイグレートされません。
- このツールは、50,000 個を超えるフォルダーの移行をサポートしていません。
- このツールを使用して、オンプレミスの制限付きストレージゾーンにファイルを転送することはできません。
- このツールは仮想マシンではテストされていないため、このような環境では完全にはサポートされません。

ベストプラクティス

- 使用中のファイルは移行中にアップロードされないため、ユーザーへの干渉を最小限に抑えるため、Citrix Files Migration Tool は営業時間外に使用することをお勧めします。
- 最適なパフォーマンスを得るには、米国東部標準時（EST）の営業時間外に Citrix Files 移行ツールを使用することをお勧めします。
- 可能な場合はワイヤレス接続を避けてください。
- このツールは、最大 3 TB のデータについて正常にテストされています。移行するデータが多い場合は、データを 3 TB 以下に分割することをお勧めします。

インストール

[Citrix Files 移行ツール](#)をダウンロードします。ダウンロードが完了したら、インストールファイルを実行してセットアップを開始します。.NET Framework 4.6.2 以降がマシンにインストールされていない場合は、.NET Framework 4.6.2 以降が自動的にインストールされます。インストールが完了すると、デスクトップと [スタート] メニューにショートカットが追加されます。最適な結果を得るには、データが存在するサーバーまたはコンピューターに移行ツールをインストールすることをお勧めします。

デフォルトでは、このアプリは `C:\Program Files\Citrix\ShareFile` にインストールされます。インストール場所を変更する場合は、「オプション」(**Options**) をクリックして場所を指定します。

[自動更新]

Citrix Files Migration Tool を起動すると、アップデートの有無が確認され、アップデートが利用可能になったらインストールを促すメッセージが表示されます。常に最新バージョンにアップデートすることをお勧めします。

Citrix Files 移行ツールへのサインイン

Citrix Files 移行ツールを起動すると、アカウントにサインインするよう求められます。ファイルをアップロードするアカウントにサインインします。

サインインすると、アカウントの詳細が暗号化されて `app_settings.cfg` ファイルに保存されるため、アプリを起動するたびにサインインする必要がなくなります。このファイルは、サインアウトするか削除して、別のアカウントにサインインできます。`app_settings.cfg` ファイルは `USERNAME\AppData\Roaming\Citrix\ShareFile\Migration Tool` にあります。また、サインインした一意のユーザーごとに、移行の詳細を含む一意のファイルも作成されます。

サインインすると、[ホーム] ビューが表示されます。ホームビューでは、新しい転送の開始、移行キューの表示、スケジュールされた移行の管理、フィードバックの提供を行うことができます。

マスター管理者アカウントでサインインして、データ、所有権、権限を移行します。使用したサインインがマスター管理者でない場合、データのみが移行されます。

Citrix Files 移行ツールの使用

新規譲渡 新しい転送を開始するには、**[新しい転送]** を選択します。**[転送タイプの選択]** ウィンドウが表示されます。

元のソースから Citrix Files にデータを移行する場合は、**[データのみ]**、**[データ + 権限 (個人用フォルダーにマップ)]**、**[データ + 権限 (共有フォルダーにマップ)]** のいずれかを選択します。**[新しい転送]** ウィンドウが表示されます。

[転送するディレクトリの選択] を使用して、Citrix Files に移動するディレクトリを参照します。

[データのみ] を選択すると、Citrix Files アカウント内のアップロード先フォルダーを選択できます。

[データ + 権限 (個人用フォルダーにマップ)] または **[データ + 権限 (共有フォルダーにマップ)]** を選択した場合、**[フォルダーアクセス許可オプションの構成]** を使用すると、移行中にフォルダーの所有権とアクセス許可、またはフォルダー所有権のみを移行できます。また、まだサインインしていないユーザー用のフォルダーを作成することもできます。

[転送オプションの設定] では、転送を実行する特定の時間を選択し、ルートレベルにフォルダーを作成し、その中にこの転送からすべてのフォルダーを移行します。また、新しいバージョンのファイルが Citrix Files の宛先フォルダーに存在する場合にファイルをアップロードしないオプションを有効にできます。

[データ + 権限 (個人用フォルダーにマップ)]、または **[データ + 権限 (共有フォルダーへのマップ)]** オプションを使用するには、Active Directory にサインインする必要があります。現在サインインしているユーザーとしてサインインすることも、必要に応じて別のユーザーとしてサインインすることもできます。

注:

所有権と権限の移行のためにユーザーの詳細を取得するドメインに接続されているマシンで Citrix Files Migration Tool を実行することをお勧めします。

すべてのオプションを選択したら、**[続行]** をクリックすると、**[転送の確認]** ウィンドウが表示されます。

転送オプションの確認

- 移行タイプ-管理者が選択した転送タイプを指定します。
- **[ソース]**: データの移行元となる場所を指定します。
- **[Destination]**: データの移行先となる場所を指定します。
- **Total Number of Files**: 移行されるファイルの数
- **Total Files Size**: 移行されるすべてのファイルの合計サイズ
- **予想時間**-移行が完了するまでのおおよその時間
- **[除外するファイルの種類]**-除外するファイルの種類の一覧が表示されます。提供されている **[除外]** リンクを使用して、すべてのファイルを移行から除外します。
- **転送できないアイテム**-移行できないファイルまたはフォルダーがある場合は、**[確認]** リンクを使用してその内容を確認します。

[除外] リンクをクリックすると、[詳細オプション: ファイルの種類の除外] ウィンドウが表示されます。移行から除外するファイルタイプを手動で入力するか、表示されているファイルタイプのいずれかを選択して移行から除外するかを選択できます。

[確認] リンクをクリックすると、[転送できないアイテム] ウィンドウが表示されます。サインインしたユーザーが移行に必要な権限を持っていない場合や、ファイルが現在他のアプリケーションで使用されている場合は、ファイルとフォルダーが表示されます。権限の問題を解決するか、ファイルを使用しているアプリケーションを閉じて移行を続行します。

Citrix Content Collaboration に存在しないアカウントまたはグループがある場合は、[データ + 権限 (個人用フォルダーにマップ)] または [データ + 権限 (共有フォルダーにマップ)] オプションを使用すると、[見つからないアカウントとグループを確認する] リンクが表示されます。リンクをクリックすると、[存在しないアカウントとグループのリスト] ウィンドウが表示されます。リストされたユーザーのアカウントが Citrix Content Collaboration に存在しない場合、それらのファイルとフォルダーは移行されません。この問題を回避するには、ユーザーのアカウントをすばやく作成し、移行を続行します。

グループ権限が移行されるのは、Citrix Content Collaboration でグループがユーザー管理ツールを使用して作成された場合のみです。グループを手動で作成した場合、権限は移行されません。

権限移行ファイルは `USERNAME\AppData\Roaming\Citrix\ShareFile\Migration Tool\Permission Data` フォルダ内にあります。

アクセスできないまま残っているファイルやフォルダーは移行されません。アクセスできない項目があっても、他のファイルおよびフォルダーの移行を続行できます。

[ファイルの転送] をクリックして、移行を開始します。

キュー

[キュー] を使用すると、[実行中]、[保留中]、[キャンセル]、または [完了] の転送を表示できます。

実行中: 実行中のジョブで [表示] をクリックすると、[転送中...] ウィンドウが表示されます。ファイルとフォルダーの転送状況が表示されます。ここから転送を一時停止またはキャンセルできます。

保留中: 保留中のジョブで [表示] をクリックすると、[転送待ち] ウィンドウが表示されます。保留中の移管の詳細が表示されます。転送がスケジュールされている場合は、スケジュールの詳細も表示されます。ここから振込をキャンセルできます。

キャンセル済み: キャンセルされたジョブの [表示] をクリックすると、[転送がキャンセルされました] ウィンドウが表示されます。キャンセルされたジョブの詳細が表示されます。ここから転送を再開できます。

完了: 完了したジョブの「表示」をクリックすると、「転送完了」ウィンドウが表示されます。完了した移管の詳細が表示されます。アップロードが失敗またはキャンセルされたログへのリンクは、こちらから確認できます。

スケジュールの管理

[スケジュールを管理] では、転送を実行するタイミングを選択できます。このオプションを使用すると、ピーク時以外に移行を実行できます。

[新しいスケジュールの作成] をクリックして、新しいスケジュールを作成します。このメニューには作成されたスケジュールが一覧表示されます。用意されているオプションを使用して、作成されたスケジュールを表示、編集、または削除できます。

注:

大規模なデータ移行は、スケジューラを使用して処理することをお勧めします。帯域幅と速度を最大化するために、ピーク時間外に転送をスケジュールします。

タスクスケジューラに正しい詳細が追加されていることを確認します。複数のスロットが選択されている場合、タスクスケジューラに複数のインスタンスが追加されます。

移行をスケジュールしたユーザーがサインインしている必要があります。ユーザーがサインインしていない場合、移行はその特定の時間帯に開始されません。

転送の一時停止 万が一、転送によって Citrix Content Collaboration インフラストラクチャのトラフィックが多すぎる場合、Citrix Files は転送を一時停止することがあります。この間、Citrix Files 移行ツールは転送の再開を継続的に試行します。転送画面の下部に警告メッセージが表示されます。ユーザーは手動で転送の一時停止を解除することはできませんが、転送をキャンセルすることはできます。

再試行回数が 48 回を超える場合は、Citrix サポートに連絡してください。

「お客様のアカウントは現在送金を実行できません」という警告メッセージが表示された場合でも、一時停止は有効になっている可能性があります。ユーザーは、この問題が解決するまで待つか、アプリケーションを閉じて再起動することで再試行できます。

移行ログ

転送が完了したら、移行の詳細と、移行プロセス中に発生したエラーを確認できます。

生成されたログファイル

- SFMT [TimeStamp] [FolderName] .log -このログには、Citrix Files 移行ツールの起動以降のすべての移行の詳細が含まれています。
- 転送情報 [TimeStamp] [FolderName] .log -このログには、転送に関する詳細な情報が含まれています。
- 転送 [TimeStamp] [FolderName] .log -このログには、正常に転送されたすべてのファイルとフォルダが含まれます。

- 転送失敗[TimeStamp][FolderName].log-このログには、ファイルの転送に失敗した理由に関する簡単な説明が含まれています。
- 転送がキャンセルされました[TimeStamp][FolderName].log-このログには、転送がキャンセルされた理由に関する簡単な説明が含まれています。

デバッグには、「SFMT[TimeStamp][FolderName].log」と「転送情報[TimeStamp][FolderName].log」のログが必要です。ログは次の場所に保存されます。USERNAME\AppData\Roaming\Citrix\ShareFile\Migration Tool\Logs

Citrix Files 移行ツールのアンインストール

Citrix Files 移行ツールをアンインストールするには、Windows のコントロールパネルの [プログラムと機能] メニューを使用するか、インストールファイルを再実行します。

警告:

転送中に作成された移行ログは、アンインストールプロセス中に削除されます。

構成

June 28, 2023

セットアップ

1. 管理者をプロビジョニングする
2. ユーザーをプロビジョニングする

管理者のプロビジョニング

アカウントが作成されると、メイン管理者アカウントでプロビジョニングされます。

ユーザーのプロビジョニング

Content Collaboration アカウントの使用を開始するには、ユーザーを追加して認証を設定する必要があります。

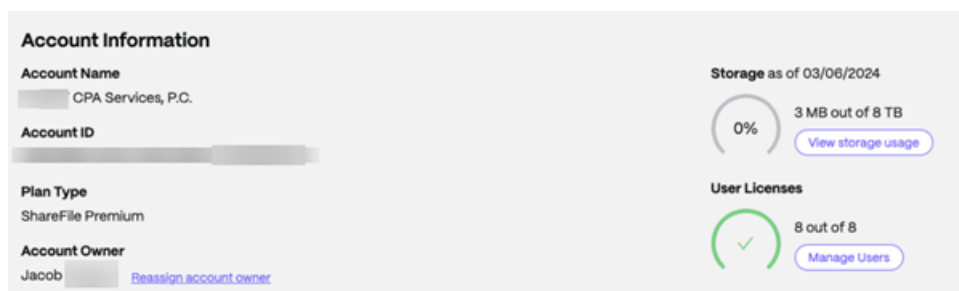
管理者の概要

March 20, 2024

管理者概要ページには、アカウントの概要とストレージ使用量の両方を使用して、アカウントに関する概要情報が表示されます。ページの下部には、「ShareFile の新機能」ドキュメントの「[リリースノートを表示](#)」リンクがあります。

アカウント情報

アカウント情報セクションには、アカウント名、アカウント ID、プランタイプ、アカウントオーナー、および割り当てられたユーザーライセンスなどの詳細が表示されます。このページには、アカウントのすべての資格も表示されます。



アカウント所有者

これは、スキルと経験により大きな権限を許可し、アカウントで利用可能なすべてのユーザー権限を管理している管理者です。他のユーザーが削除することはできません。アカウント機能がアカウントに追加されると、アカウント所有者は自動的にその機能にアクセスできます。他のユーザーには、アカウント所有者によって必要に応じてアクセス権を付与する必要があります。

お客様のアカウントへのその後のアクセスはすべて、アカウント所有者またはアカウント所有者が指定した管理者によって管理されます。

アカウント所有者の識別 現在のアカウントオーナーを確認するには、「メンバー」>「従業員一覧」に移動してください。アカウント所有者には、名前の右側に特別なアイコンが表示されます。



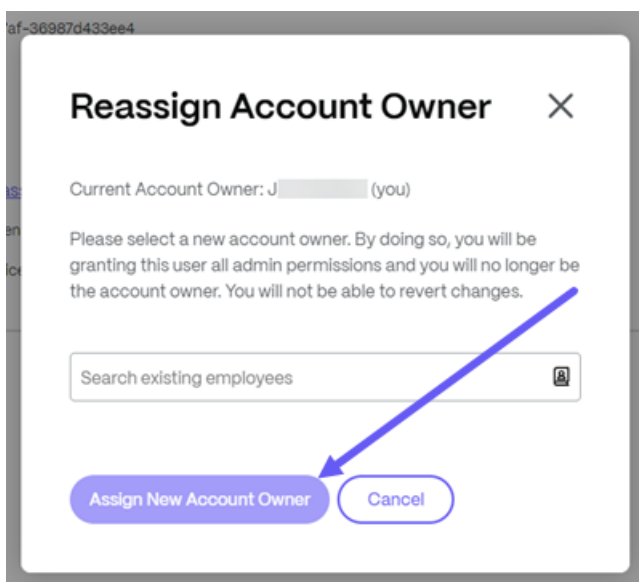
アカウント所有者は、[管理]>[アカウント情報]ページにも表示されます。

アカウント所有者の変更 現在のアカウント所有者は、[アカウント所有者の再割り当て] オプションを使用して、新しいアカウント所有者を指定できます。このタスクを完了するには、次の手順に従います。

1. アカウントのアカウント所有者を変更するには、現在のアカウント所有者がサインインして [設定] > [** 管理者設定 **] > [アカウント情報] に移動する必要があります。
2. 「アカウント所有者の再割り当て」を選択します。



3. 「既存の従業員を検索」を使用して新しいアカウント所有者を見つけ、「新しいアカウント所有者を割り当て」を選択します。



メモ:

- 新しいアカウントの所有者は、アカウントの従業員ユーザーである必要があります。また、その従業員ユーザーは少なくとも 1 回サインインしている必要があります。
- [アカウント所有者の再割り当て] オプションは、現在のアカウント所有者だけが使用できます。

現在のアカウント所有者がこのリクエストを行うことができない場合は、[ShareFile サポートに連絡してください](#)。

ストレージ ストレージインジケータには、使用中のストレージ (XXTB のうち xxGB) とストレージが更新された日付が表示されます。

会社情報

会社情報セクションには、会社名、電話番号、業種、住所、ウェブサイト、ファックス番号、従業員数などの詳細が表示されます。さらに、このセクションには会社の主要連絡先の連絡先情報も含まれています。

Company Information	
Company Name	Website
CPA Services, P.C.	
Phone Number	Fax Number
(550) 550-4000	
Industry	Number of Employees
Other	1
Address	Security Contact
3307	
Billing Contact	
Thorn	

- 請求連絡先 - これらの連絡先は、ShareFile から請求関連の連絡を受け取る場合があります。
- セキュリティ連絡先 - これらの連絡先は、ShareFile からセキュリティ関連の連絡を受け取る場合があります

重要

:ShareFile からの重要な連絡を見逃さないように、** 請求連絡先とセキュリティ連絡先が適切に更新されていることを確認してください **。

会社のアカウント情報

September 6, 2023

レポート

ShareFile Reports を使用すると、使用状況、アクセス、メッセージング、ストレージ、その他の詳細を追跡する定期レポートと非定期レポートを作成して、アカウントの使用状況を確認できます。レポートの使用について詳しくは、「[ShareFile レポート](#)」を参照してください。

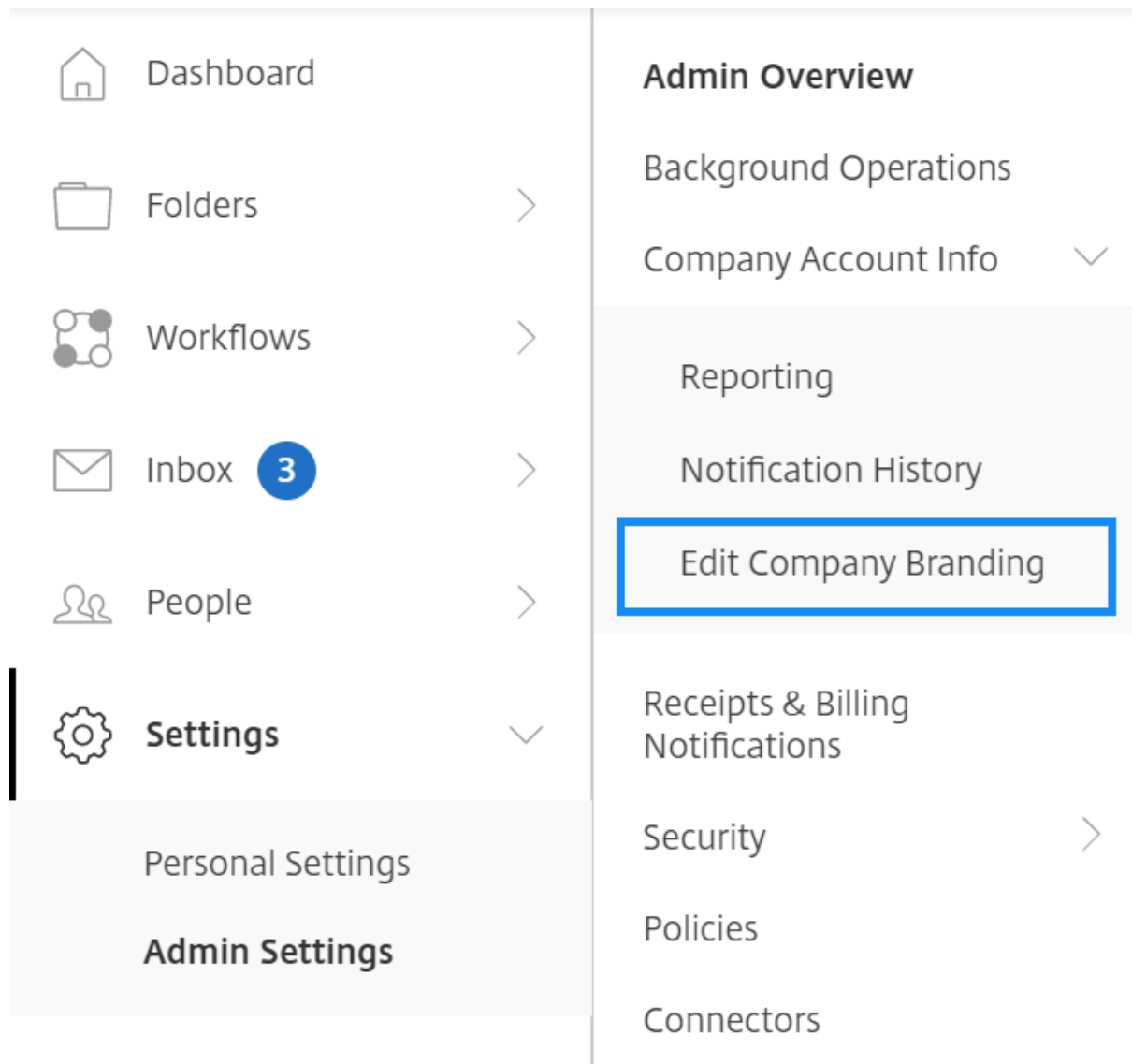
会社ブランディング

アカウントのアカウントまたは会社名により、ShareFile サポートスタッフはアカウントを識別できます。また、請求関連の通信に表示される名前でもあります。通常、アカウント名はビジネスの名前と同じです。

企業ブランディングの設定

次の手順に従って、会社のブランドを設定してください。

1. [設定] > [管理者設定] > [企業アカウント情報] > [企業ブランディングの編集] に移動します。



「企業ブランディングの編集」ページが表示されます。

1. [アカウント名] に、アカウントの名前を入力します。

The screenshot shows the 'Edit Account Appearance' dialog box with the 'Basic Options' tab selected. The dialog has a title bar with a close button. Inside, there's a 'Use ShareFile Defaults' button in the top right. The 'Basic Options' section includes: 'Page Title' with a text input field containing 'PWC Fun'; 'Logo' with a preview image and a 'Remove' button; 'Header Background Color' with a color picker showing '#fff'; and 'Accent Color' with a color picker showing '#2071c5'. At the bottom, there's a link: 'Want more options? Use the advanced appearance options.'

2. 「基本オプション」の「アカウント表示の編集」では、次の操作を実行できます。

- ウィンドウ上部に表示されるページタイトルを変更します。
- 会社のロゴをアップロードしてください。
- ヘッドの背景色を変更します。
- アクセントカラーを変更します。

注：

デフォルトでは、基本オプションページでは、選択したページタイトル、ロゴ、ヘッダーの背景色、アクセントカラーが使用されます。外観をカスタマイズするには、ページの「詳細表示オプション」リンクを使用して使用可能なオプションを拡張します。詳細については、「[アカウント表示の編集](#)」を参照してください。

3. ページ下部の [保存] を選択して、ブランドページの変更を保存します。

アカウントの外観を編集

次のオプションは、アカウントアピアランスの編集権限が設定されているユーザーによって設定されます。これらはオプションです。

The screenshot shows the 'Edit Account Appearance' dialog box with five expandable sections: 'Browser Options', 'Header Options', 'Page Options', 'Login Page Options', and 'Email Options'. Each section has a chevron icon on the right side, indicating it can be expanded or collapsed.

- ブラウザオプション - ページタイトルとアカウント外観のファビコンを編集できます。
- ヘッダーオプション - アカウントの外観のロゴ、背景画像、背景色を編集できます。

注:

- ロゴ画像の高さは 80px 以下、幅は 400px 以下でなければなりません
- 背景画像はどのようなサイズでもかまいませんが、最初の 80 ピクセルのみが表示され、水平方向と垂直方向にタイリング/リピートされます。
- デフォルトの背景色は白ですが、任意の HTML カラーコードを使用できます。色と画像の両方を入力すると、色ではなく画像が表示されます。

- ページオプション - タブの上部とコンテンツボックスのアクセントバーの色を設定できます。
- ログインページオプション - ロゴのアップロード、ロゴの背景色、背景色の選択、背景画像のアップロード、ページの説明を入力できます。
- メールオプション - ロゴのアップロード、ヘッダーの説明、フッターの説明を入力できます。

詳細設定がすべて完了したら、ページ下部の [保存] を選択します。

サブドメインを編集

ShareFile アカウントでは、最大 3 つのサブドメインが許可されます。これらのサブドメインはすべて、企業アカウントと同じカスタムブランドを共有します。

サブドメインを作成するには、次の要件が必要です。

- 文字、数字、ハイフンのみを使用してください。
- 先頭がハイフンではない。
- 少なくとも 2 文字の長さです。

サブドメインを追加したら、ページ下部の [保存] を選択します。

請求

May 28, 2024

請求ページでは、領収書の表示、請求情報の編集、およびその他の関連アクティビティを行うことができます。

ShareFile アカウントで、[設定] > [** 管理者設定] ** > [請求] に移動して以下にアクセスします:

- [受領書および請求書の通知](#)
- [請求情報を編集](#)

受領書および請求書の通知

領収書と請求の通知ページを使用して、ShareFile アカウントの請求書を表示、ダウンロード、印刷します。

[今すぐ支払う] を選択して請求書を支払うことができます。詳細については、「[今すぐ支払う](#)」を参照してください。

請求書をダウンロードするには、確認または印刷したい月の横にあるダウンロードアイコンを選択します。PDF がデバイスにダウンロードされます。

Date	Type	Status	Download
11/09/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	
11/02/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	
10/09/2023	Invoice for ShareFile ADVANCED, ShareF...	Awaiting Payment Pay Now	
10/04/2023	Invoice for ShareFile STANDARD	Awaiting Payment Pay Now	
09/27/2023	Invoice for ShareFile STANDARD	Awaiting Payment Pay Now	
09/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	
08/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	
07/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	

今すぐ支払う

Pay Now では、請求書の支払いにクレジットカードを使用して 1 回限りの支払いを行うことができます。

次の手順に従って、領収書と請求の通知ページからアカウントにお支払いください。

1. 「領収書と請求の通知」ページから「今すぐ支払う」を選択します。

ShareFile

Admin Overview
Background Operations
Company Account Info
Billing
Receipts & Billing Notifications
Edit Billing Info
Update Your Plan
Cancel Account
Security
Connectors
Storage Zones
Advanced Preferences

Receipts & Billing Notifications

To view and/or print ShareFile billing receipts, click on the appropriate date below.

Your account has an open payment

Date	Type	Status	Download
11/09/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	Download
11/02/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	Download
10/09/2023	Invoice for ShareFile ADVANCED, ShareF...	Awaiting Payment Pay Now	Download
10/04/2023	Invoice for ShareFile STANDARD	Awaiting Payment Pay Now	Download
09/27/2023	Invoice for ShareFile STANDARD	Awaiting Payment Pay Now	Download
09/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	Download
08/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	Download
07/04/2023	Invoice for ShareFile PREMIUM	Awaiting Payment Pay Now	Download

☒ Send email notifications when my account is billed [Add additional recipients](#)

「カードの詳細を入力」ポップアップが表示されます。

Enter Card Details

Payment details

*Indicates a required field

Card number*

Enter a valid card number

Expiry date*

 /

Cardholder's name*

Security code*

 3 digits on the back of the card or
4 digits on the front of card

Contact details

johndoe@.com

[Cancel](#)

[Continue](#)

I authorize regularly scheduled charges in the amount agreed to via the checkout process; to my credit card and understand that this authorization will remain in effect until I cancel it in writing. I agree to notify Citrix in writing of any changes in my account information or termination of this authorization at least 15 days prior to the next billing date. I understand that the recurring transaction will occur and that if the payment dates fall on a weekend or holiday, I understand that the payments may be executed on the next business day. I certify that I am an authorized user of this credit card/debit card and will not dispute these scheduled transactions with my bank or credit card company; so long as the transactions correspond to the terms indicated in this authorization form.

2. 要求された情報を入力します。
3. [続行] を選択して、クレジットカードによる一括支払いを行います。

今後発行されるすべての請求書をクレジットカードで支払う場合の詳細については、「[請求情報の編集](#)」を参照してください。

請求情報を編集

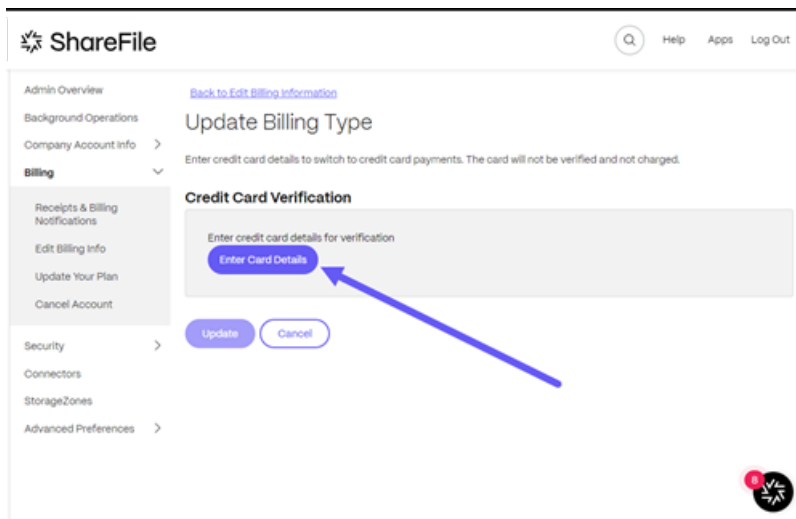
請求情報の編集画面では、請求タイプを請求書請求からクレジットカードに更新できます。請求先住所を変更することもできます。

請求タイプを更新

ShareFile 請求書の支払い方法を変更するには、請求タイプの更新を使用してください。

1. [ShareFile から] に移動し、[設定] > [管理者設定]>【請求】>【請求情報の編集】に移動します。
2. 「請求タイプの更新」セクションで、「クレジットカードに切り替える」を選択します。

[請求タイプの更新] 画面が表示されます。



3. 「カードの詳細を入力」を選択します。

「カードの詳細を入力」ポップアップが表示されます。

Enter Card Details



Payment details

*Indicates a required field



Card number*

Enter a valid card number

Cardholder's name*

Expiry date*

 /

Security code*

3 digits on the back of the card or
4 digits on the front of card

Contact details

johndoe@.com

I authorize regularly scheduled charges in the amount agreed to via the checkout process; to my credit card and understand that this authorization will remain in effect until I cancel it in writing. I agree to notify Citrix in writing of any changes in my account information or termination of this authorization at least 15 days prior to the next billing date. I understand that the recurring transaction will occur and that if the payment dates fall on a weekend or holiday, I understand that the payments may be executed on the next business day. I certify that I am an authorized user of this credit/debit card and will not dispute these scheduled transactions with my bank or credit card company; so long as the transactions correspond to the terms indicated in this authorization form.

4. [続行] を選択すると、[請求情報の編集] 画面に戻り、変更の確認を受け取ります。

請求先住所の更新

請求先住所を変更するには、請求先住所の更新を使用してください。

1. [ShareFile から] に移動し、[設定] > [管理者設定]> [請求] > [請求情報の編集] に移動します。
2. 「請求先住所の更新」セクションで、新しい請求先住所情報を入力します。
3. **[Save]** を選択します。

アカウントをキャンセルする

アカウントをキャンセルする方法

ShareFile アカウントをキャンセルするには、次の手順に従ってください。

1. ShareFile で、[設定] > [** 管理者設定] ** > [請求] に移動します。

- ×毛:

- ## セキュリティ

July 25, 2024

パスワードの要件

ユーザー用の他のパスワード要件を作成するには、このページのフォームに記入してください。行った変更は、ユーザーが次回パスワードを変更したときに有効になります。

すべてのユーザーに対して、パスワードは以下のとおりです。

- 最低 8 文字、最大数は 50 文字でなければなりません。
- 大文字と小文字を 1 つずつ含める必要があります。
- 少なくとも 1 つの数字を含める必要があります。
- 次の特殊文字を少なくとも 1 つ含める必要があります: ! " # \$ % ^ & * () - _ + = / . ? \ [] | ' ~ @ ' '
- 直近の 25 個のパスワードと同じにすることはできません。

パスワードの強制リセット

インターネットアカウントの認証情報（ユーザー名とパスワード）の盗難の増加に対応して、ShareFile はパスワードのリセットを要求する可能性があり、定期的な強制パスワードリセットを通常の運用手順に引き続き組み込みます。

ログインポリシーとセキュリティポリシー

信頼されたドメイン

1 つ以上のドメインを入力して、iframe の埋め込みとクロスオリジンリソース共有 (CORS) を許可できます。

2 段階検証

2 段階認証では、携帯電話を使用してユーザー名のセキュリティを強化します。サインインすると、テキストメッセージ (SMS) または音声通話を使用して携帯電話に送信される確認コードを入力するよう求められます。Google や Microsoft などのサポートされている Authenticator アプリは、通常のパスワードの代わりにオプションとして使用できます。

メモ:

- すべての ShareFile アカウントのすべての従業員ユーザーに 2 段階認証が適用されます。
- 従業員ユーザーに対する 2 段階認証の強制を無効化することを希望する管理者は、2 段階認証ポップアップで「完全オプトアウト放棄」を選択することで、この強制をオプトアウトできます。これにより強制は無効になりますが、従業員ユーザーは自分で有効にしてアカウントのセキュリティを向上させることができます。
- 管理者がこの機能の使用を強制していない場合でも、クライアントユーザーは 2 段階認証を使用できます。

この機能は、クライアントユーザーと従業員ユーザーの両方が利用できます。2 段階認証は iOS および Android モバイルデバイスでサポートされています。

一部のアプリでは、アプリにサインインするたびに生成する必要がある、アプリ固有のパスワードが必要です。

アカウントロックアウト設定

これにより、ユーザーが選択した特定の期間、アカウントからロックアウトされるまでに無効なパスワードを入力できる回数を選択できます。

使用条件

利用規約は、お客様のサインインページに追加できます。シングルサインオンをご利用のお客様には、全範囲をカバーするために、サインインページにも利用規約を実装することをおすすめします。アカウントに入る前に、条件への準拠を示すために同意する必要があるカスタマイズ可能な契約条件を含めるオプションがあります。ログインページに条件を追加する方法については、[ShareFile サポートにお問い合わせください](#)。

管理者アカウントポリシー権限を持つユーザーは、利用規約の追加をリクエストできます。

IP 制限

IP 制限を使用して、ユーザーがアカウントにサインインできる場所を制限します。IP 制限を設定するには、[ShareFile サポートにお問い合わせください](#)。

認証


非アクティブなユーザーは、選択した非アクティブ期間後にアカウントからサインアウトできます。デフォルトでは、この期間は 1 時間に設定されています。

OAuth トークンは、アプリと API によって認証に使用されます。ここで選択した期間が過ぎると、ユーザーはすべてのアプリで再認証する必要があります。「なし」に設定した場合でも、**OAuth** トークンは個人設定の「接続」から、または管理者が「ユーザー」メニューを使用してユーザーのプロフィールページで手動で期限切れにすることができます。

制限事項

- この機能はトライアルアカウントでは使用できません。
- この機能は、会社の認証情報やカスタムサインインページでは使用できません。

Two-step verification

 Two-step verification is enabled.

Two-step verification allows users to setup a phone number to receive a code via SMS or Voice. It also allows users to setup an authenticator app. Users can enroll a verification method in their Personal Settings.

Two-step verification is required by default for all employee users, if you would like to opt-out of this setting you can fill out a waiver, then change the setting and click save.

[Complete Opt-Out Waiver](#)

Require two-step verification

☒ Employee users

☐ Client users

2 段階認証プロセスを要求するには、ユーザーグループが 2 段階認証プロセスに登録してオプトインする必要があります。有効にすると、すべての従業員ユーザーまたはクライアントユーザー、あるいはその両方に対して設定が有効になります。デフォルトでは、すべての ShareFile アカウントのすべての従業員ユーザーに必要です。

新規ユーザーの場合、アクティベーションプロセスでは、テキストメッセージ (SMS) または音声で有効な電話番号をユーザーが入力する必要があります。既存のユーザーの場合、Web、デスクトップ、またはモバイルアプリからの次のサインイン時に、テキストメッセージ (SMS) または音声で有効な電話番号の入力を求められます。

デバイスのセキュリティ

これらのオプションを使用して、他のユーザーが ShareFile アカウントにアクセスするために使用するデバイスのセキュリティレベルを制御できます。これらの設定は、個々のユーザー設定よりも優先されます。

変更可能なデバイスセキュリティ設定には以下が含まれます。

ファイルの自己破壊 - アカウントがモバイルデバイスから自動的に削除されるまでに、ユーザーがログインまたはアカウントにアクセスしない日数を決定します。Self-Destruct は、ユーザーがオフラインの場合でも発生します。オプションは、なし、1、3、7、14、30、45、または 60 日です。self-destruct がデバイスでトリガーされると、モバイルプッシュ通知が有効になっているユーザーに、ポイズンピルのアクティベーションに関する通知が届く場合があります。

ユーザーパスコードを要求 - ユーザーがコンテンツにアクセスするために 4 桁の PIN またはパスワードの入力を要求するかどうかを制御します。設定すると、すべてのコンテンツが暗号化されます。オプションには、PIN、パスワード、またはユーザーが選択したパスコードがあります。

外部アプリケーションを有効にする - ユーザーがダウンロードしたファイルを ShareFile アプリケーションの外部で開くことができるかどうかを決定します。

ファイルへのオフラインアクセスを有効にする - デバイスがオフラインのときにユーザーが ShareFile コンテンツを表示できるかどうかを制御します。

変更されたデバイスの制限 - これを有効にすると、ユーザーはジェイルブレイクされたデバイスで ShareFile を使用できなくなります。ShareFile では、デバイスを脱獄することを選択したユーザーが遭遇した問題を完全にトラブルシューティングすることはできません。

自動ログインを有効にする - ユーザーが自分のデバイスにパスワードを保存することを選択できるかどうかを決定します。

デバイスセキュリティプリセット

各設定は、[デバイスセキュリティの設定] メニューで個別に設定できます。ShareFile には、カスタム設定オプションに加えて、さまざまな違いがあるいくつかのプリセットが用意されています。

- Standard
- セキュリティ
- オンラインのみ
- カスタム

スーパーユーザーグループ

スーパーユーザーとも呼ばれる管理者は、特定の ShareFile アカウントのすべての新規および既存のフォルダーに自動的に追加されます。スーパーユーザーの権限には、すべてのフォルダーに対するアップロード、ダウンロード、削

除、管理者権限が含まれます。フォルダへのスーパーユーザーグループのアクセス権は、フォルダアクセスメニューで変更または削除することはできません。この機能はアカウントでデフォルトで有効になっています。

スーパーユーザーグループの管理

スーパーユーザーを管理するには、スーパーユーザーグループのメンバーシップの管理権限が必要です。

1. **[設定] > [管理者設定] > [セキュリティ] > [スーパーユーザーグループの編集]** に移動します。
2. ユーザーを追加するには、「新規ユーザーの追加」を選択します。
3. アカウントの従業員リストから、メニューからユーザーを選択します。
4. チェックボックスを使用して、追加するユーザーを選択します。**[Add]** を選択します。
5. **[Save]** を選択します。

スーパーユーザーグループからすべてのユーザーを削除することもできます。このグループは、「このユーザーにスーパーユーザーグループの管理を許可する」管理者権限を持つすべての従業員ユーザーが編集できます。スーパーユーザーは、各フォルダの **[フォルダアクセス]** セクションに表示されます。管理者ユーザーは、アクセスリストにグループを表示しないことを選択できます。

「フォルダアクセス」セクションからスーパーユーザーを非表示にするには、「管理」>「セキュリティ」>「スーパーユーザーグループの編集」に移動し、「フォルダーアクセスリストからスーパーグループを非表示にする」チェックボックスを選択します。

ダウンロードまたはアップロードアラートは、フォルダごとにフォルダアクセスメニューのスーパーユーザーグループに対して有効にできます。

シングルサインオン (SSO)

シングルサインオン (SSO) は、さまざまな IdP と、基本認証、統合認証、またはフォーム認証を使用する特定の SAML2.0 または 3.0 ベースのフェデレーションツールを使用して構成できます。この機能は、ビジネスプランとエンタープライズプランで利用できます。

サポートされている構成

次の構成はテスト済みで、ほとんどの環境でサポートされています。

- [Citrix Endpoint Management](#)
- [ADFS 3.0](#)
- [ADFS 4.0 \(Windows Server 2016\)](#)
- [デュアル IdP-ADFS と Citrix Endpoint Management](#)
- [Citrix Gateway](#)
- [Microsoft Entra ID \(Azure AD\)](#)

その他の構成

これらの構成は、当社のエンジニアリングチームによって正常に構成およびテストされています。次の構成ドキュメントは、製品の継続的な機能強化と改善のために変更される可能性があります。次の構成ガイドはそのまま表示されます。

- [Centrify/Idaptive](#)
- [G Suite ビジネス向け](#)
- [Okta](#)
- [Ping-Federate](#)
- [PingOne/PingID](#)
- [OneLogin](#)

注:

ShareFile は、SAML 構成のカスタムログアウト URL をサポートしなくなりました。サインアウトすると、すべてのユーザーが ShareFile 認証サービスのログアウトページにリダイレクトされます。上記の設定ガイドの中には、まだログアウト URL が記載されているものもありますが、もう必要ありません。

データ損失防止

ShareFile はサードパーティのデータ損失防止 (DLP) システムと統合して、機密情報を含むファイルを識別します。コンテンツに基づいてアイテムへのアクセスと共有を制限するには、Storage Zones Controller で情報漏えい対策スキャンを有効にしてから、このページで設定を構成します。

サードパーティの DLP システムを使用してドキュメントをスキャンおよび分類するように構成されたプライベートストレージゾーンが 1 つ以上ある場合は、「コンテンツに基づいてファイルへのアクセスを制限する」設定を有効にします。この設定を有効にすると、情報漏えい対策スキャンの結果に基づいて、共有フィルタとアクセスフィルタがドキュメントに適用されます。このページの設定を使用して、各分類の共有フィルタとアクセスフィルタを定義します。

- スキャンされていないドキュメント -DLP システムがスキャンしていないドキュメントに対してこれらのアクションを許可します。これには、ShareFile が管理するストレージゾーンまたは DLP が有効になっていない他のストレージゾーンに保存されているすべてのドキュメントが含まれます。
- スキャン済み:**OK** -DLP システムで許可されているドキュメントに対してこれらのアクションを許可します。
- スキャン済み: 拒否されました -機密データが含まれているため、DLP システムが拒否したドキュメントに対して、これらのアクションを許可します。

情報漏えい対策の詳細については、「[情報漏えい対策](#)」を参照してください。

コネクタ

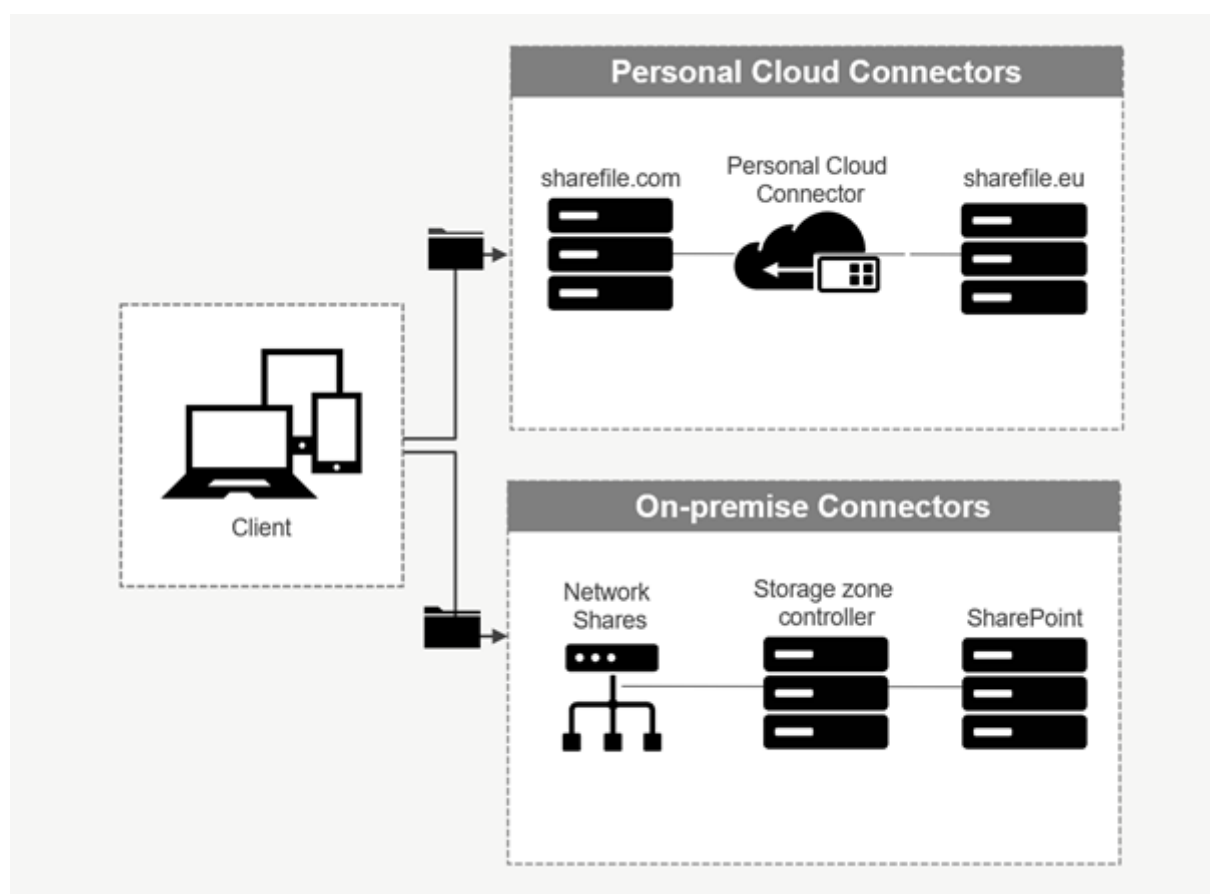
March 20, 2024

コネクタの概要

コネクタを使用すると、従業員は接続されたオンプレミスまたはクラウドベースのリソースに保存されているファイルとフォルダにアクセスできます。ユーザーは、Web アプリケーションと ShareFile アプリを使用して、接続された場所に保存されているデータを表示および操作できます。

注:

ShareFile はアカウントを Citrix Cloud とワークスペースから切り離しています。ファイル統合は **Citrix Workspace** から無効になっています。ユーザーは、ShareFile Web アプリケーション内からデータをダウンロード、アップロード、移動、コピー、削除できます。詳しくは、「[ShareFile アカウントを Citrix Workspace から切り離す](#)」を参照してください。



コネクタの種類	説明	サポートされるサービス
ShareFile Cloud Connector	ShareFile アカウントのユーザーが、ShareFile アプリ内の個人用のクラウドベースのデータストレージサービスにアクセスできるようにします。ユーザーは、これらの接続されたりソース内のデータをダウンロード、アップロード、移動、コピー、および削除できます。これらのコネクタは、各ユーザーがサービス資格情報で認証する必要があります。ユーザーは、ShareFile サービスが許可されたクラウドベースのサービスと通信できるようにする必要があります。	Office 365、OneDrive for Business、SharePoint Online、Dropbox、Box、OneDrive、Google Drive
オンプレミスコネクタ	オンプレミスのコネクタを使用すると、ユーザーはネットワークファイル共有内または SharePoint サイトとしてデータの場所にアクセスできます。これらのコネクタには、ローカル環境でストレージゾーンコントロールの追加構成が必要です。	SharePoint サイト、コレクション、ライブラリ、ネットワークファイル共有、Documentum コネクタ

サポートされるアプリ

アプリの種類	サポート対象
ウェブアプリ	最新バージョン
モバイルアプリ	iOS、Android、ユニバーサル Windows プラットフォーム
デスクトップアプリ	ShareFile

コネクタタイプ

次のコネクタタイプは、一度有効にできます。

- Box
- Dropbox

- Google ドライブ
- OneDrive

または、残りのコネクタには追加の構成が必要です。次のコネクタタイプでは、ユーザーアクセス用に複数の接続を構成できます。

- オンプレミス接続
- OneDrive for Business
- SharePoint Online

Office 365 データへの ShareFile サービスアクセスを保護するには、Office 365 管理者が Office 365 用の Citrix ShareFile Connector を追加する必要があることに注意してください。

Windows アプリケーション用 **ShareFile** 経由で **OneDrive for Business** コネクタを使用する際の推奨事項

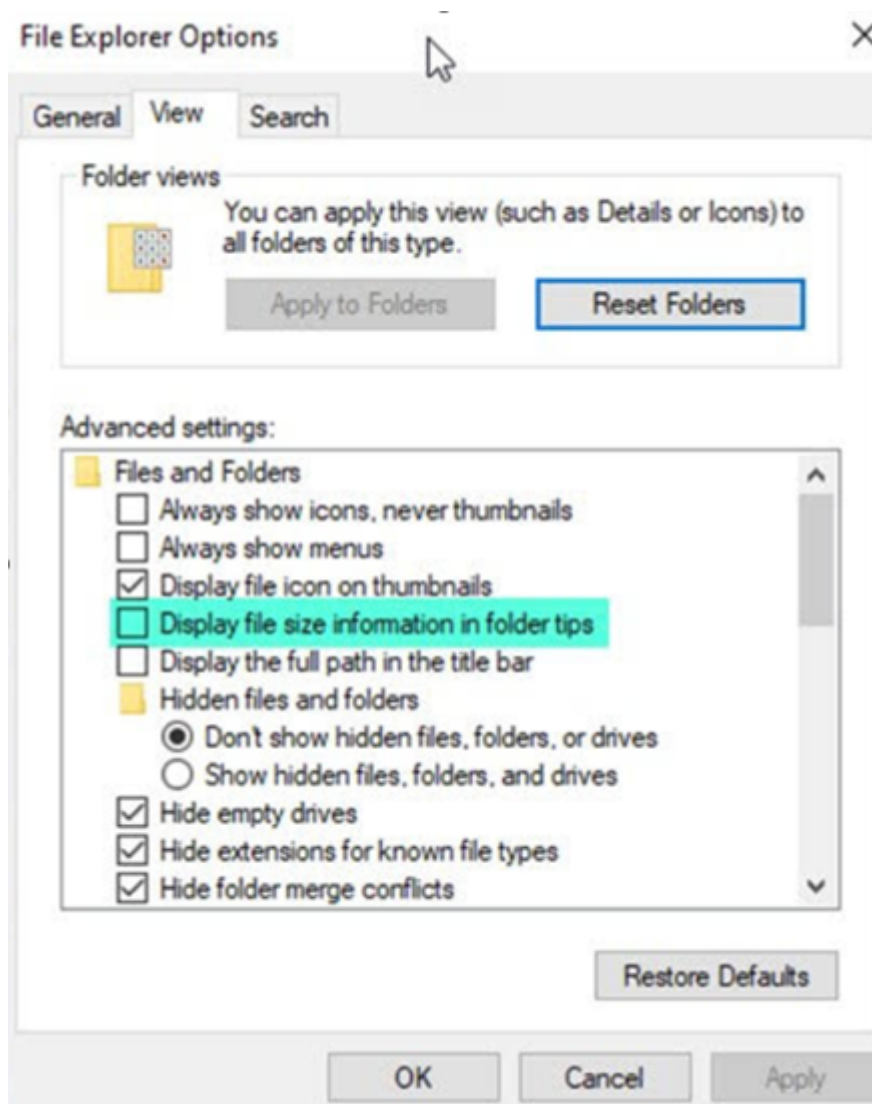
問題

ShareFile for Windows アプリケーションで OneDrive for Business コネクタを使用しているときに、Windows オペレーティングシステム内の既定のフォルダーとファイルの設定により、UI のファイルまたはフォルダーにカーソルを置いてファイルサイズとファイル数の情報を表示すると、**Microsoft Graph API** への大量の API 呼び出しが発生することがあります。

推奨事項

誤って **Graph API** を何度も呼び出さないように、ShareFile では、ユーザーまたは管理者が、次の手順でフォルダーチップにファイルサイズ情報を表示することを無効にすることをお勧めします。

1. **Windows** 設定で、[ファイルエクスプローラーオプション] > [表示] タブ > [詳細設定] > [ファイルとフォルダー] メニューに移動します。



2. 「ファイルサイズ情報をフォルダーチップに表示する」オプションの選択を解除します。

注:

- この設定により、**Microsoft Graph** API への API 呼び出しが大幅に減少し、ShareFile コネクタのパフォーマンスが最適化されます。Microsoft が提示するスロットリング制限の詳細については、[Microsoft の API スロットリング制限をご覧ください](#)。
- 複雑さを軽減するためのベストプラクティスとして、ShareFile では、コネクタを作成するときに大きくて複雑なフォルダー構造を避けることを推奨しています。

設定要件

- ShareFile アカウントでは、パーソナル Cloud Connector へのアクセスが有効になっています。

- 既存のオンプレミスのストレージゾーンには、プライマリ Storage Zones Controller でコネクタ機能が有効になっています。
- コネクタを作成および管理する権限を持つ従業員ユーザーは、[管理者設定] の [コネクタ] 設定にアクセスできます。
- コネクタからファイルを共有するには、ShareFile アカウントのコネクタ共有アクセスを有効にする必要があります。
- コネクタへのアクセス権を持つユーザーは、コネクタからファイルを共有するには、個人用ファイルボックスの使用権限が必要です。コネクタから共有されたファイルは、まずファイルボックスにコピーされます。共有リンクまたは電子メールの受信者は、コピーが完了するまで、それらのファイルをダウンロードするためのすぐにアクセスできない場合があります。
- この機能には、ShareFile マネージドストレージゾーン (クラウドストレージ) が必要です。

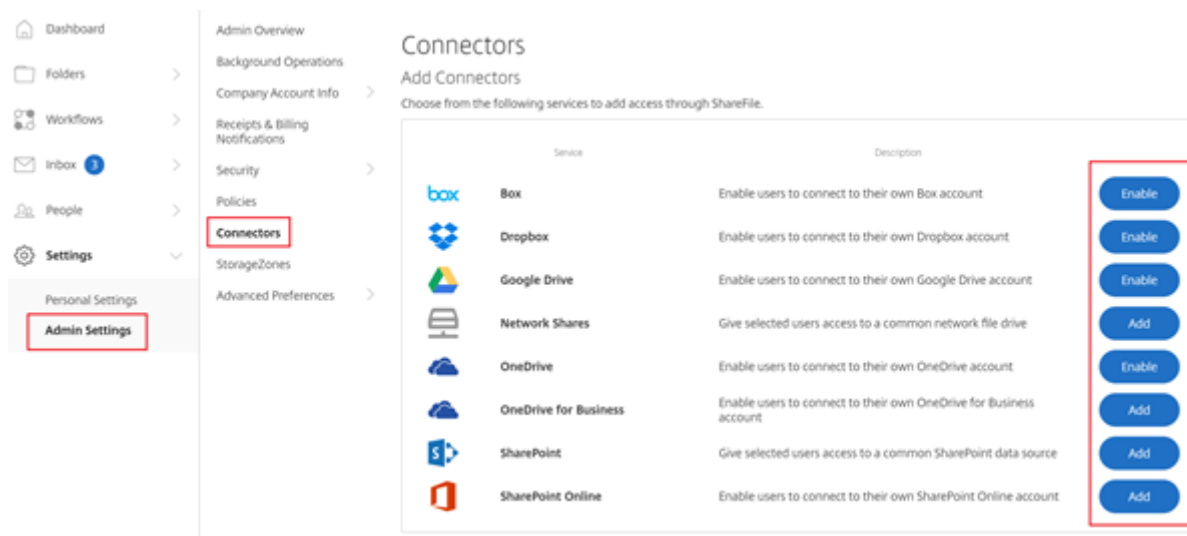
ShareFile ユーザー向けのコネクタの有効化と追加

注:

アカウント所有者は、ShareFile アカウントでこの機能の有効化をリクエストできます。

Personal Cloud Connectors 機能が有効なアカウントの場合、コネクタの管理と追加に必要な権限を持つ従業員ユーザーは、[管理者設定] > [コネクタ] を開くことができます。

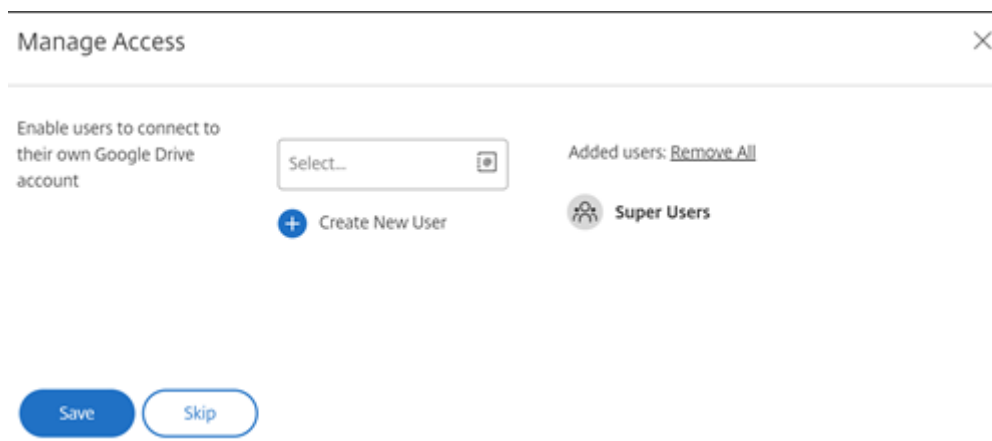
使用可能なコネクタから [有効] または [追加] を選択します。



コネクタへのアクセスを管理する

コネクタを有効にして追加する場合、他のユーザーに ShareFile アカウント内のコネクタへのアクセスを許可します。ユーザーは、自分のアカウント内のデータの場所にアクセスできます。ローカルストレージリソースは、クラウドベースのデータ場所に対するアクセス制御アクセス許可を決定します。

[アクセスの管理] ダイアログボックスで、クラウドベースまたはオンプレミスコネクタにアクセスできる従業員ユーザーまたは配布グループを選択できます。ユーザーの追加が完了したら、[保存] または [スキップ] をクリックします。[スキップ] を選択した場合、コネクタを作成するユーザーおよびスーパーユーザーグループのみがコネクタにアクセスできます。



オンプレミスの **SharePoint**、ネットワークファイル共有、または **Documentum** コネクタを追加する

注:

オンプレミスのコネクタを追加するには、ネットワーク共有または SharePoint コネクタ機能を有効にした既存のストレージゾーンが必要です。詳細については、「[ストレージゾーンコネクタの作成と管理](#)」を参照してください。

社員のユーザーは、オンプレミスコネクタを追加するには、** コネクタの作成および管理およびルートレベルのフォルダを作成する権限が必要です **。

1. [管理者設定] > [コネクタ] に移動し、[ネットワーク共有] または [SharePoint コネクタ] の横にある [追加] を選択します。Citrix Cloud を使用している場合、これらの設定は、[**Content Collaboration**] > [管理] > [コネクタ] にあります。
2. [コネクタを追加] ダイアログボックスで、コネクタの表示名を入力します。コネクタには、アカウントで現在使用されている名前ではなく、一意の名前を付ける必要があります。

Add Connector	×	Add Connector
Name: <input type="text" value="Shared Drive"/>		Name: <input type="text" value="SharePoint Site"/>
Zone: (?) <input type="text" value="QA LAB"/>		Zone: (?) <input type="text" value="QA LAB"/>
Path: <input type="text" value="\\Server1\SharedPath"/>		Site: <input type="text" value="http://sharepoint.company.net/sites"/>
<input type="button" value="Continue"/> <input type="button" value="Cancel"/>		<input type="button" value="Continue"/> <input type="button" value="Cancel"/>

3. ネットワーク共有または SharePoint サイトに対してローカルなオンプレミスゾーンを選択できます。

注:

ゾーンは、同じドメイン内にあるか、ストレージリソースとの信頼関係を持っている必要があります。

4. UNC パスを使用してネットワークファイル共有コネクタへのパスを入力するか、SharePoint サイトまたはドキュメントライブラリの HTTP または HTTPS URL を使用してサイトを入力します。

その他の考慮事項には以下が含まれます。

- ネットワークファイル共有と SharePoint ドキュメントライブラリでは、コネクタを開くときに追加の (基本) 認証が必要になります。ShareFile アカウントへのログインに使用される資格情報は、コネクタへの認証に必要な資格情報と異なる場合があります。
- ネットワークファイル共有と SharePoint コネクタの両方が構成されている場合は、SharePoint ライブラリとネットワークファイル共有での認証に同じ資格情報が使用されます。接続されているライブラリまたは共有にアクセスするためにユーザーが別の認証情報を使用する必要がある場合、ユーザーは ShareFile アカウントからログアウトしてブラウザセッションを閉じる必要があります。コネクタを開くときは、代替資格情報を使用して認証する必要があります。
- 基本認証では、非 ASCII 文字はサポートされていません。ローカライズされたユーザー名を使用する場合は、NTLM またはネゴシエート認証を使用してください。
- Microsoft の既知の問題により、コネクタ認証に NetScaler ADC を使用する場合、Microsoft Edge ブラウザからネットワークファイル共有コネクタにアクセスできません。

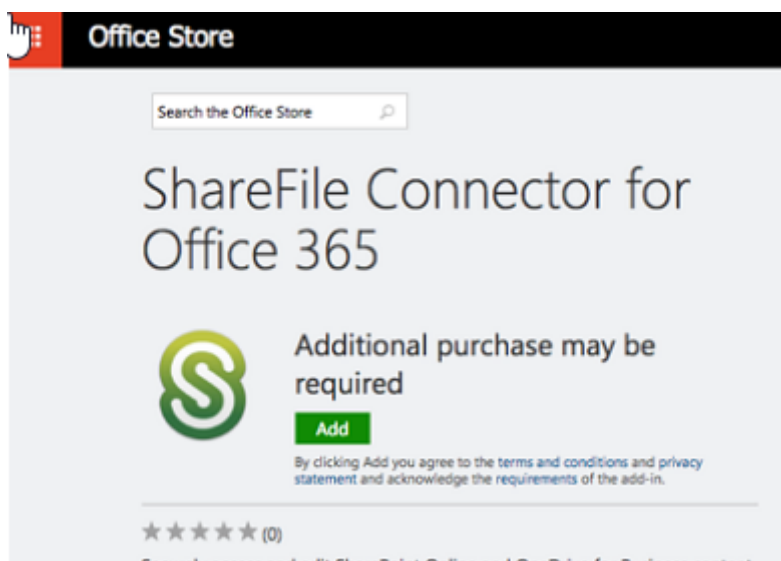
SharePoint オンラインコネクタを有効にする

SharePoint Online を ShareFile と正しく連携させるには、いくつかの追加手順が必要です。ShareFile Web アプリケーションで何らかのアクションを実行する前に、SharePoint Online サイトに ShareFile アプリを追加する必要があります。

まず、SharePoint Online サイトに ShareFile アプリを追加します。

このサイトに移動して、<Tenant> を会社名またはテナント名に置き換えてください。https://<tenant>.sharepoint.com/_layouts/15/appStore.aspx/appDetail/WA104379108

[追加] ボタンを選択し、プロンプトに従います。

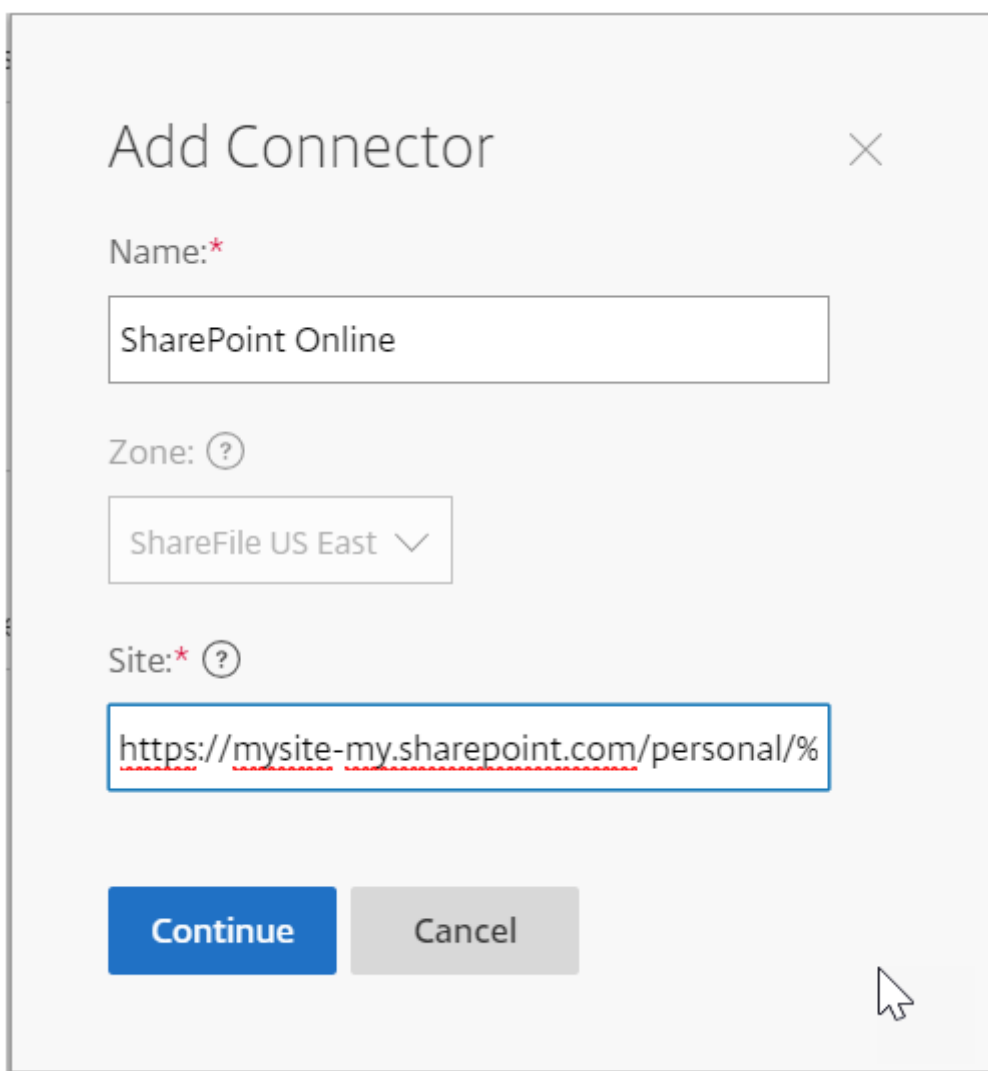


注:

アプリが正しく機能するためには、メッセージが表示されたら「**ShareFile** アプリを信頼する」に必要な手順を実行してください。

アプリをインストールしたら、[管理者設定] > [コネクタ] に移動して、アカウントで使用可能なすべてのコネクタを表示します。

SharePoint オンラインコネクタの [有効にする] を選択します。コネクタに名前を付け、サイト URL を入力するように求められます。

A screenshot of a web-based dialog box titled "Add Connector" with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains three input fields: "Name:" with a red asterisk, containing the text "SharePoint Online"; "Zone:" with a question mark icon, containing a dropdown menu showing "ShareFile US East" and a downward arrow; and "Site:" with a red asterisk and a question mark icon, containing the URL "https://mysite-my.sharepoint.com/personal/%". Below the fields are two buttons: a blue "Continue" button and a grey "Cancel" button. A mouse cursor is visible in the bottom right corner of the dialog.

Add Connector

Name:*

SharePoint Online

Zone: ?

ShareFile US East

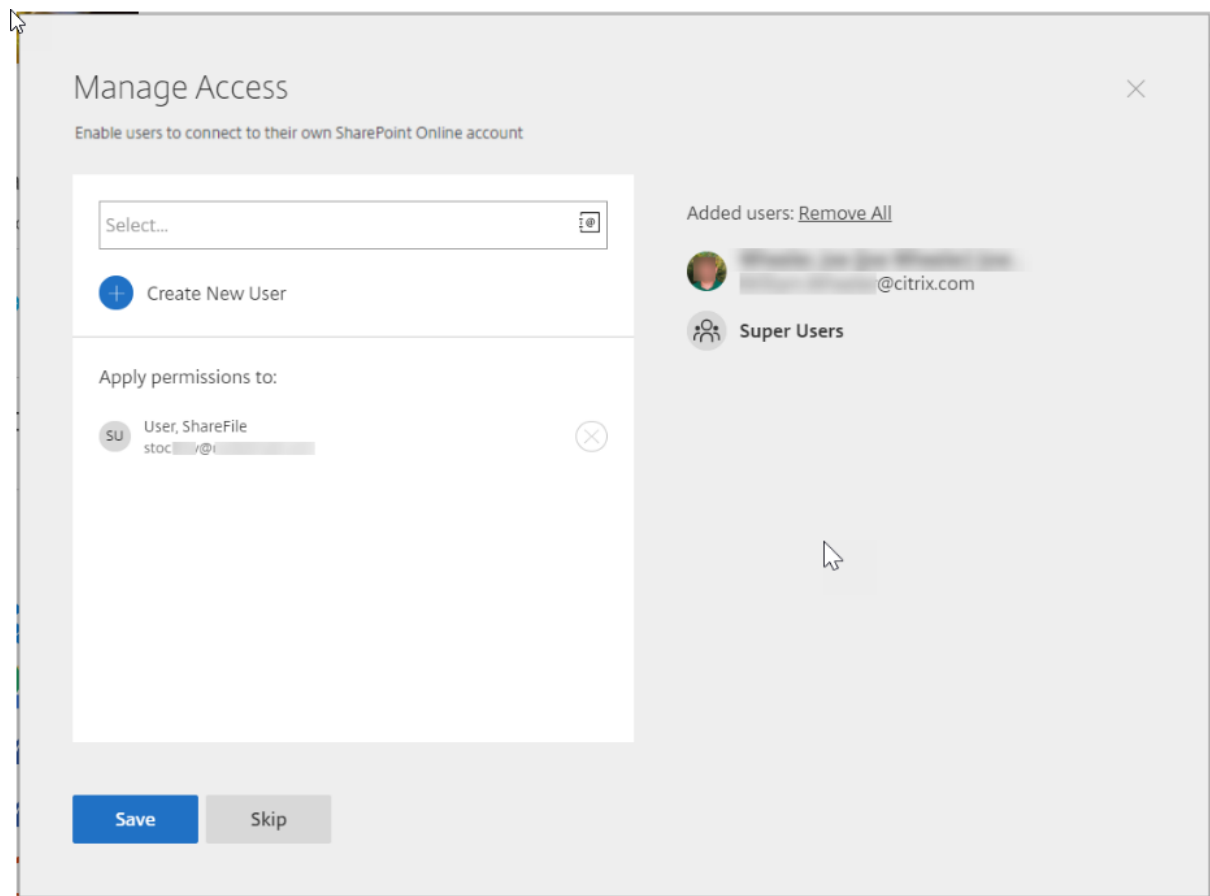
Site:* ?

https://mysite-my.sharepoint.com/personal/%

Continue Cancel

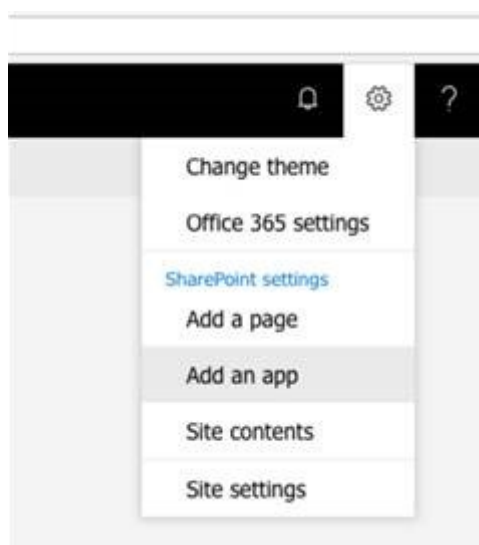
OneDrive for Business または SharePoint Online アカウントの URL パスを入力します。URL を次のように入力します。「mysite」を独自のドメイン/サイト名に置き換え、指定された場所に%loginname% ワイルドカードを追加します。サブドメインがわからない場合は、OneDrive または SharePoint にサインインすると、Web ブラウザーでサブドメインを確認できます。

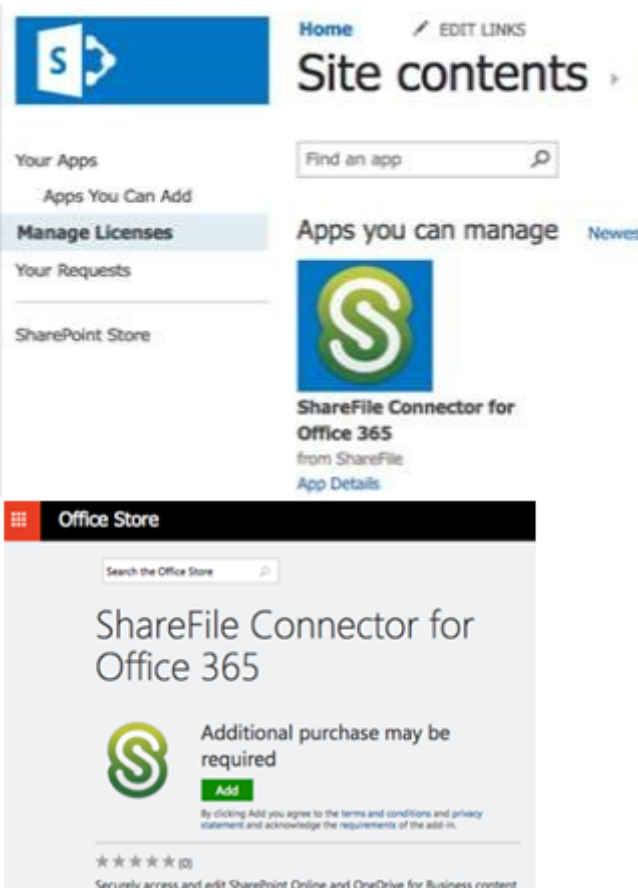
<https://mysite-my.sharepoint.com/personal/%loginname%/Documents> または
<https://.sharepoint.com/SitePages/Home.aspx>



特定のコネクタのアクセスリストにユーザーを追加すると、そのユーザーはコネクタを使用してアカウントを別のデータストレージサービスにリンクできます。[保存]を選択して続行します。

上記のオプションが機能しない場合は、コネクタアプリをそれぞれの SharePoint Online アカウントに追加してください。





注意事項と制限事項

項目	説明
オンプレミス顧客制限	Personal Cloud Connector は、ShareFile が管理するストレージゾーンに関連付けられている顧客管理のストレージゾーンを利用するアカウントでサポートされます。この機能は、オンプレミスやテナントのセットアップを含め、ShareFile が管理するストレージゾーンに関連付けられていないアカウントでは使用できません。
制限事項	現在、パーソナルクラウドまたは SharePoint Online へのファイルアップロードの最大アップロードサイズは、 1 ファイルあたり 200 MB です。
制限事項	OneDrive for Business Connector へのファイルアップロードの現在の最大アップロードサイズは 16 GB です。

項目	説明
制限事項	コネクタには一意の表示名が必要です。ユーザーは、アカウントの別の場所で使用中のコネクタ名を使用できません。
制限事項	Safari Web ブラウザを使用すると、フォルダの参照やファイルのダウンロードなどの操作が失敗することがあります。問題を解決するには、Safari のシステム環境設定でクッキーが許可されていることを確認してください。

ストレージゾーン

June 28, 2023

ストレージゾーンにより、管理者は Citrix が管理する安全なクラウドストレージ、または自社のデータセンター内の IT 管理のストレージゾーン（オンプレミス）ストレージを柔軟に選択できます。ユーザーがオンプレミスのストレージゾーンを作成および管理できるようにするだけでなく、ユーザーは Citrix が管理するストレージゾーンを利用することもできます。

コンポーネント、データストレージなどを含む Storage Zones Controller の詳細については、「[Storage Zones Controller 5.x](#)」を参照してください。

ルートレベルフォルダーの **StorageZone** を選択する

スーパーユーザーグループのメンバーシップは、別のユーザーのデフォルトの保存場所を変更するために必要です。この権限は、特定のプランの Citrix Content Collaboration ユーザーのみが使用できます。

サードパーティ DLP システムを使用してドキュメントをスキャンおよび分類するように 1 つ以上のプライベートストレージゾーンが構成されている場合は、【コンテンツに基づいてファイルへのアクセスを制限する】設定を有効にします。この設定を有効にすると、情報漏えい対策スキャンの結果に基づいて、共有フィルタとアクセスフィルタがドキュメントに適用されます。このページの設定を使用して、各分類の共有フィルタとアクセスフィルタを定義します。

- スキャンされていない文書 -DLP システムがスキャンしていない文書に対してこれらのアクションを許可します。これには、Citrix が管理するストレージゾーン、または情報漏えい対策が有効になっていない他のストレージゾーンに保存されているすべてのドキュメントが含まれます。
- スキャン済み:**OK** -DLP システムが承認した文書に対してこれらのアクションを許可します。
- スキャン済み: 拒否されました -機密データが含まれているため、DLP システムが拒否したドキュメントに対して、これらのアクションを許可します。

アカウントのパブリックストレージゾーンの管理

管理者は、Citrix が管理するストレージゾーンのカスタマイズされたサブセットを自分のアカウントで有効にすることを選択できます。ストレージゾーンは **[管理] > [StorageZones]** で表示できます。[StorageZones] メニューから **[Citrix 管理対象]** を選択します。

このメニューから、ゾーン名の左側にあるチェックボックスをクリックして、アカウントの特定のゾーンを有効または無効にできます。ゾーンタイトルの右にある [エイリアス] 列にマウスポインターを合わせると、特定のパブリックゾーンのエイリアスを編集することもできます。パブリックゾーンのエイリアスを編集して、アカウントのユーザーにより適したものになります。ストレージゾーンの編集に加えて、[使用量] 列には現在の使用量が **MB** 単位で表示されます。

ユーザーのデフォルトパブリックストレージゾーンを選択する

アカウント管理者は、アカウントの特定のユーザーに対してデフォルトのパブリックストレージゾーンを指定し、ルートレベルのフォルダーを作成するときにユーザーがゾーンを選択できるようにすることができます。

1. アカウントのユーザーの設定を変更するには、[ユーザー] > [ユーザーの管理] ホームに移動します。
2. [参照] または [検索] 機能を使用して変更するユーザーを見つけ、[管理] アイコンを使用してユーザーのプロファイルページを開きます。
3. ユーザーページの **[Employee User Settings]** セクションで、[Storage Location] メニューを使用して、ユーザーのデフォルトのストレージゾーンを選択します。
4. [管理者権限] セクションで、[ゾーンの作成と管理] の左側にあるチェックボックスをクリックして、ユーザーがゾーンを作成および管理できるようにすることを選択できます。
5. ユーザーのストレージゾーンと権限の管理が終了したら、[変更を保存] を選択します。

詳細設定

June 28, 2023

メール設定

メールの差出人

一部のメールサービスは、Citrix Content Collaboration メールサーバーを使用して送信されたメッセージを拒否したり、メッセージに迷惑メールとしてフラグを付けたりします。電子メール配信の問題のレポートを受け取っている場合は、ユーザー送信メッセージに設定することで問題が解決する場合があります。プリファレンスを設定すると、メッセージを送信したユーザーの名前が [差出人] フィールドに表示され、メッセージの受信者がメッセージに返信す

るときに、そのユーザーの電子メールアドレスが使用されます。このオプションはメッセージの拒否もトリガーする可能性があるため、配信可能性の問題が発生しない限り、このオプションを使用しないでください。

SMTP サーバー

デフォルトでは、システム通知は Citrix Content Collaboration メールサーバーからクライアントに送信されます。特に攻撃的なスパムフィルターやホワイトリストを使用する受信者のメールサーバーを扱う場合、これは理想的ではない場合があります。このような場合、カスタム SMTP サーバーを設定すると、代わりに独自のメールサーバーからシステム通知を送信できます。これらの設定を構成すると、アカウントを介して送信されるすべての電子メールは、Citrix のサーバーではなくメールサーバーを介して送信されます。アカウントにカスタム SMTP を設定することで、ユーザーは自分のメールアドレスを送信者と認識し、失敗したメールはユーザーに戻されます。カスタム SMTP を使用するには、従業員ユーザーが [このユーザーにアカウント全体のポリシーの変更を許可する] アクセス許可を持っている必要があります。

Microsoft Office 365 を使用していて、カスタム SMTP を利用したい場合は、[Microsoft のセットアップガイド](#)をご覧ください。

カスタム **SMTP** の設定 1. [管理] > [詳細設定] > [電子メール設定] > [**SMTP** サーバー] に移動します。

2. [**SMTP** 設定の構成] をクリックします。[カスタム SMTP 構成] ページが表示されます。

3. この機能を有効にするには、適切な情報を入力します。

必須フィールド：

- カスタム **SMTP** を有効にする—これらの設定を使用する場合は、このオプションを選択する必要があります。
- メールアドレス—送信したメールの差出人メールアドレスです。
- サーバー—これは、電子メールの送信に使用される電子メールサーバーのホスト名です。
- **Port** —これは使用されるポート番号です。ポート 25 がデフォルトです。次のポートも使用できます:26、443、465、587、2525。
- ユーザー名—サーバーにアクセスするために必要なユーザー名です。
- パスワード—サーバーにアクセスするために必要なパスワードです。
- 障害発生時に電子メールを通知—この電子メールアドレスは、Citrix Content Collaboration が指定された設定で電子メールを送信できない場合に通知が送信されます。

オプションフィールド：

- **SSL** を使用—暗黙的、明示的、またはオフのいずれかを選択します。
- **ShareFile** へのフェールバック -選択した場合、カスタム設定を使用して送信できないメッセージは、標準の電子メール設定で今後メールを送信するよう Citrix に促します。
- 「認証方法」—サーバーで特定の認証方法が必要な場合は、ここで認証方法を選択します。

4. [テストメールを保存して送信しました] をクリックして設定を完了します。

SMTP 設定のトラブルシューティング 電子メール通知/メッセージが遅れる -この問題は、特定のフィルタサービスまたはプログラムがローカルのメールサーバーでメッセージを処理している場合に発生する可能性があります。システムの遅延について Citrix に連絡する前に、メッセージがローカルフィルタサービスによって遅延されていないことを確認してください。情報を検証する 1 つの方法は、メッセージの完全なヘッダー詳細を確認し、メッセージがサービスまたはフィルター間で送信される時間を確認することです。

電子メール通知/メッセージが届かない -この問題は、ローカルメールサーバーに IP 制限またはポリシーがある場合に発生する可能性があります。カスタム SMTP IP をホワイトリストに登録したことを確認するには、Knowledge Center [記事 CTX208318](#) を参照してください。同様に、メールサーバーの認証方法を見直して、Citrix がサーバーと通信できることを確認します。

ホストからの接続が多すぎます -この問題は、SMTP サーバーで許可されている最大接続数を超えた場合に発生する可能性があります。これを解決するには、SMTP 構成で許可される最大接続数を更新または増やすか、統合通知を使用して、通常受信する接続数を制限する必要があります。

自分のアクティビティをユーザに通知する

デフォルトでは、ユーザーがフォルダーのアップロード通知またはダウンロード通知を持っている場合でも、それらのフォルダー内の自分のアクティビティに関する通知は受信されません。このオプションを有効にすると、フォルダ通知が設定されているユーザーは、自分のアクティビティに関する更新を受信ようになります。

受領書のアップロード

この設定を有効にした後、ファイルをアップロードするユーザーに領収書メールをアップロードする前に、受信者が名前とメールの入力を要求するファイルのリンクを要求します。名前とメールでアップロード確認を送信する必要があるリンクのみを要求します。

メール受信通知

フォルダーの特定のユーザーにアップロード通知またはダウンロード通知を設定すると、ユーザーはデフォルトでアップロードまたはダウンロードに関する通知をリアルタイムで受信します。ユーザーは、アカウントの [個人設定] リンクをクリックして、この既定の動作を変更できます。ただし、アカウントのすべてのユーザーに対してこの設定の既定値を設定する場合は、この設定を使用して設定できます。

この設定を変更しても、システム内の既存のユーザーには影響しません。これは、新しく作成されたユーザーにのみ適用されます。この設定は、個々のユーザーの個々のプロファイルページで更新できます。

ユーザーは、英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、オランダ語、中国語、ロシア語、日本語、韓国語、ポルトガル語で電子メール通知を受信できます。

Q&A メールテキスト

この機能は、フォルダーの Q&A 機能が、通知メールの本文で質問と回答のテキストを送信するかどうかを決定します。いいえに設定すると、メールには質問または回答のテキストは含まれませんが、代わりにサインインしてその情報を表示するためのリンクが含まれます。

暗号化された電子メール

このオプションは、暗号化された電子メール機能を有効にするために使用されます。オプションを [いいえ] に設定すると、ユーザーは暗号化された電子メールメッセージを送信したり、返信したりできなくなります。

予備のメールアドレス

デフォルトでは、アカウントのすべてのユーザーが自分のプロフィールに予備のメールアドレスを設定できます。この値を [いいえ] に設定すると、従業員とクライアントの両方を含むすべてのユーザーに対して **2** つ目の電子メールアドレスを構成できなくなります。

アクセス権

クライアントシェア

既定では、特定のフォルダーへのダウンロードアクセス権を持つすべてのクライアントには、フォルダー内の任意のファイルをサードパーティの受信者に送信できる [送信] ボタンがあります。ただし、一部のユースケースでは、クライアントがファイルをダウンロードしてシステム外のサードパーティに送信できる場合でも、クライアントがサードパーティにファイルを送信できないようにしたい場合があります。[はい] を選択すると、すべてのフォルダ内のクライアントに [共有] ボタンが表示されます。[いいえ] を選択すると、[共有] ボタンは従業員ユーザーにのみ表示されます。

ファイルの設定

リテンションポリシー

Professional プラン以上のアカウントでは、ファイル保持ポリシーにより、ファイルがアップロードされてから数日後に自動的に削除されます。このオプションは、システム内のルートレベルフォルダごとに個別に設定できます。この設定は、新しいルートレベルフォルダーを作成するときに使用される既定のファイル保持ポリシーを決定します。デフォルト値は **Never** です。

並べ替え

既定では、ファイルとフォルダーは最新のアイテムが最初に表示されるように表示されます。ユーザーは、[タイトル]、[MB]、[アップローダー]、または[作成者]の見出しをクリックして、ファイルとフォルダーの異なる順序を選択できます。Citrix Content Collaboration は、ユーザーが選択した順序を記憶し、今後このオプションを使用してそのフォルダー内で同じ順序でファイルを表示します。ファイルとフォルダーの表示順序を変えることができます。そのためには、ファイルの表示に使用するカテゴリと、** ファイルを昇順または降順のどちらで表示するかを選択します**。

バージョン管理

[はい]を選択すると、ユーザーが同じ名前のファイルを既に含むフォルダーにファイルをアップロードすると、ファイルの両方のバージョンが保存されるため、ファイルの進行状況を追跡し、データ損失による上書きを防ぐことができます。[いいえ]を選択すると、既存のファイルと同じ名前のファイルをアップロードすると、アカウント上の古いバージョンのファイルが上書きされます。

システムが保存するファイルの最大バージョン数を設定できます。たとえば、ファイルのバージョンを最大 10 個まで保存することを選択し、アカウントに 10 バージョンのファイルが保存されている場合、新しいアップロードを行うと、ファイルの最も古いバージョンが削除されます。

編集

Microsoft Office Online を表示および編集に使用する場合、Office Online は、ファイルのレンダリングと変更を行うために、表示および編集時のファイルの一時的なコピーを保持します。すべての管理者が、[Microsoft \[の利用規約とプライバシーポリシーを確認しながら\]\(https://privacy.microsoft.com/ja-jp/privacystatement\)](https://privacy.microsoft.com/ja-jp/privacystatement)、この情報をユーザーに伝えることをお勧めします。編集には Office 365 サブスクリプションが必要です。

Microsoft Office のプレビューと編集について詳しくは、Knowledge Center [記事 CTX208340](#) を参照してください。

クラウドレンダリング

クラウドレンダリングが有効になっている場合、Citrix Content Collaboration はワークフローに含まれるファイル（画像、音声、PDF）の一時的なコピーを保持します。

ワークフローが完了すると、Citrix Content Collaboration はファイルを選択したオンプレミスフォルダーに移動します。完了したワークフローに関連するファイルをユーザーが閲覧すると、Citrix Content Collaboration はファイルの一時的なコピーをオンプレミスから Citrix Content Collaboration クラウドキャッシュに作成します。ファイルは、ファイルが最後に表示されてから最大 1 週間クラウドキャッシュで利用できます。

Cloud Rendering が無効になっている場合、ユーザーはフィードバックと承認、またはカスタムワークフロー機能を、カスタマー管理ストレージゾーンに格納されたファイルで使用できなくなります。すべての管理者は、Citrix エ

エンドユーザーサービス契約とプライバシーポリシーを確認するとともに、この情報をユーザーに伝えることをお勧めします。

ShareFile ツールを有効

アカウントの個々のアプリやツールへのアクセスを有効または無効にできます。このメニューの変更は、アカウントのすべてのユーザーに影響します。

ナビゲーションバーに【アプリページを表示】を使用すると、アカウントの右上隅に【アプリ】リンクを表示できます。このリストに表示するツールはカスタマイズできます。このメニューにリストされているツールを有効または無効にできます。

フォルダーテンプレート

このツールを使用すると、アカウントの新規または既存のフォルダーに追加できる既定のサブフォルダーセットを作成して、同じサブフォルダーを頻繁に使用する場合にフォルダー構造を簡単に設定できます。たとえば、アカウントに特定のプロジェクトまたはクライアント用の個別のフォルダーがあり、各フォルダー内の情報が常に同じサブフォルダーカテゴリに整理されている場合です。フォルダーテンプレートをフォルダーに適用すると、選択したフォルダー内に既定のサブフォルダーが自動的に作成され、フォルダー設定が効率化されます。

重要:

- テンプレートに関連付けられているフォルダは、テンプレートの関連付けが削除されるまで削除できません。
- フォルダテンプレート機能は、ユーザーに付与する必要がある権限に依存しています。
- フォルダテンプレートからサブフォルダを削除すると、アカウント内のそのフォルダのすべてのインスタンスと、そのフォルダに含まれるすべてのファイルが削除されます。テンプレートへの変更から削除されたフォルダは、ごみ箱から回復できます。

制限事項

大量のフォルダーまたは深くネストされたフォルダー構造を持つユーザーは、フォルダーテンプレートをサブフォルダーに一括で適用したり、既存のフォルダーの名前を一括で変更したりできない場合があります。

Citrix Content Collaboration がアカウント全体でテンプレートの変更を処理する間、遅延が発生する可能性があります。アカウント上の多くのフォルダーに関連付けられているテンプレートを編集している場合は、フォルダーテンプレートメニューから移動する前に、Web アプリがこれらの変更を処理する時間を確保してください。

手順

フォルダーテンプレートを作成する テンプレートを作成するには、[管理]>【詳細設定】>【フォルダテンプレート】に移動します。

このテンプレートの名前を入力すると、システムに複数のテンプレートを設定した場合にテンプレートを識別できます。このタイトルはフォルダー画面には表示されません。また、アカウントで複数のテンプレートを作成する場合、[動的フォルダーテンプレート] ページに表示される説明を入力して、特定のテンプレートを識別しやすくすることもできます。完了したら、[テンプレートを作成] をクリックします。

次の画面で、テンプレートのタイトルをクリックして強調表示し、[フォルダの追加] をクリックします。サブフォルダはいくつでも設定できます。テンプレートにフォルダーのサブフォルダーを作成するには、新しいサブフォルダーを配置するフォルダーの名前をクリックし、[フォルダーを追加] をクリックします。完了したら、[完了] をクリックします。

フォルダーの作成中にテンプレートを追加する フォルダーの作成時にテンプレートを追加できます。そのためには、フォルダーを作成し、[テンプレートを適用] ドロップダウンメニューを使用してフォルダーテンプレートを適用します。フォルダを作成すると、テンプレート内のサブフォルダが新しいフォルダ内に自動的に設定されます。

テンプレートを使用して、既に作成したフォルダにサブフォルダを追加することもできます。変更するには、変更するフォルダーに移動し、フォルダー名のすぐ右側にあるドロップダウンメニューのカラットにマウスを置き、[フォルダーオプションの編集] をクリックします。[フォルダテンプレート] セクションで、ドロップダウンメニューからテンプレートを適用します。特定のサブフォルダーからテンプレートを削除するには、メニューの [フォルダーテンプレートを使用しない] オプションをオンにします。

フォルダテンプレートをサブフォルダに一括適用する フォルダテンプレートは、サブフォルダにまとめて適用できます。このユーザーにフォルダテンプレートの編集を許可する権限を持つ従業員ユーザーである必要があります。[テンプレートをフォルダに適用] ボタンを使用するには、スーパーユーザーグループのメンバーでもある必要があります。

テンプレートを適用するには、[管理] > [詳細設定] > [フォルダテンプレート] をクリックします。一括で適用するテンプレートを見つけて、[フォルダに適用] アイコンをクリックします。メニューで、テンプレートを適用するフォルダーを指定できます。テンプレートは、選択したフォルダー内のすべてのサブフォルダーに適用されます。フォルダーを選択したら、[適用] をクリックします。テンプレートによっては、テンプレートが適用されるときにステータス画面が表示される場合があります。[適用] をクリックして終了します。

フォルダテンプレートの権限要件 フォルダテンプレートを作成するには、このユーザーにフォルダテンプレートの編集を許可する権限が有効になっている従業員ユーザーである必要があります。また、アカウントにルートレベルのフォルダを設定するためのアクセス権を持っているか、サブフォルダを追加できる 1 つまたは複数のフォルダでアップロード権限を持っている必要があります。

フォルダーテンプレートをサブフォルダーに一括で適用するには、このユーザーにフォルダーテンプレートの編集を許可する権限が有効になっている従業員ユーザーである必要があります。[テンプレートをフォルダに適用] ボタンを使用するには、スーパーユーザーグループのメンバーでもある必要があります。

テンプレートをフォルダーに適用するには、テンプレートの関連付けを表示できる [高度なフォルダー設定] メニューにアクセスするには、フォルダーに対する管理者権限が必要です。

テンプレートに関連付けられているフォルダを編集または削除するには、まずテンプレートの関連付けを削除する必要があります。そのためには、該当するフォルダに移動し、フォルダ名の横にあるドロップダウンメニューを使用して [高度なフォルダオプション] をクリックします。メニューで、[フォルダテンプレート] セクションまでスクロールダウンし、[関連付けの削除] をクリックします。これで、フォルダを編集および削除できます。

フォルダテンプレートからサブフォルダを削除すると、アカウント内のそのフォルダのすべてのインスタンスと、フォルダ内に含まれるすべてのファイルが削除されます。テンプレートへの変更から削除されたフォルダは、ごみ箱から回復できます。

リモートアップロードフォーム

リモートアップロードフォームを使用すると、訪問者が Web サイトからアカウントに直接ファイルをアップロードできるようにする HTML コードを Web サイトに配置できます。アップロードしたファイルを保存するフォルダと、ファイルをアップロードする人から収集する追加情報を指定できます。

警告:

Citrix は、提供されたサンプル以外に追加のコードやアドバイスを提供しません。Citrix は、作成時に Web アプリケーションで生成されたテンプレートを超えて変更されたリモートアップロードフォームコードに対するカスタマーサポートを提供できません。

ユーザーは、リモートアップロードフォームを作成するには、「リモートアップロードフォームの管理」権限を持つ従業員ユーザーである必要があります。

Citrix Content Collaboration コンソールでフォームを作成するには、[管理] > [詳細設定] > [リモートアップロードフォーム] を選択し、[新しいフォームの追加] をクリックします。

新しいフォームを追加する

フォームの説明: これは、アカウントのリモートアップロードウィザードページにあるフォームの名前です。この名前はフォーム自体には表示されません。

保存先を選択: アップロードしたファイルを特定のフォルダに保存するか、ファイルドロップに保存するかを選択します。アカウントでファイルドロップ機能が有効になっている場合は、作成したファイルドロップをアップロード先として指定できます。[ファイルドロップ] オプションを選択するときは、リストを使用して、作成済みのファイルドロップのリストから選択します。

アップロードフォルダを選択: アップロードしたファイルを保存するフォルダを選択します。このフォルダは、アカウントの [共有フォルダ] セクションにあるフォルダである必要があります。このフォルダがまだ作成されていない場合は、リモートアップロードウィザードを使用する前に作成する必要があります。

ユーザーを戻す: このフィールドにウェブサイトが正しく入力されると、リモートアップロードフォームにファイルをアップロードしたユーザーは、選択したウェブサイトに連れて行かれます。このフィールド内のアドレスはすべて正常に機能するために <https://> が必要であることに注意してください。

アップロード者情報を要求: チェックした場合、ユーザーはフォームにファイルを追加する前に、メール、姓名、会社を入力する必要があります。このボックスがオフの場合、アップロード者は匿名として表示されます。

カスタムフィールド: [+ カスタムフィールドの追加] オプションを使用して、さらにフィールドを追加できます。これらのフィールドを必要に応じてマークするオプションがあります。

フォームに入力したら、[保存してコードを取得] をクリックします。その後、リモートアップロードフォーム用の未加工の HTML iframe をコピーできます。

このコードは、アカウントの [リモートアップロードフォーム] セクションで引き続き利用できます。[コード の表示] アイコンをクリックして取得するか、[削除] アイコンを選択してリストから削除することができます。

ファイルのドロップ

アカウントでファイルドロップ機能が有効になっている場合は、作成したファイルドロップをアップロード先として指定できます。[ファイルドロップ] オプションを選択するときは、リストを使用して、作成済みのファイルドロップのリストから選択します。

フォルダー

April 26, 2023

フォルダーの割り当てとアクセス許可の設定

新入社員のユーザーアクセスとファイル設定をカスタマイズできます。アカウントまたはプラン、および独自のアクセス権限によっては、特定の権限が表示されないか適用されない場合があります。[ユーザーアクセス] 設定は、従業員のアクセス権とそのアカウント上でできることを管理するアクセス権および機能ベースの標準的な権限設定です。

User Access

For more information on specific permissions, please refer to the [Support Knowledge Center](#).

☐ Select All

[Restore Default](#)

General

☐ Access company account permissions ⓘ

Files and Folder

☒ Create root-level folders in "Shared Folders"

☒ Use personal File Box ⓘ

☐ Access other users' File Boxes and Sent Items

E-Signature

☒ Send documents for e-signature
Uses one e-signature license

☐ View all e-signature documents

☐ Manage e-signature templates

Workflows

☐ Access other users' Custom Workflows ⓘ
Recommended for IT Admins only. This permission is only available for Super Users.

People

☒ Manage clients

☐ Manage employees

☐ Delegate admin privileges to other employee users

☒ Edit Shared Address Book

☐ Share distribution groups

☐ Edit other users' shared distribution groups

☐ Manage Super User Group

ユーザーにフォルダーを割り当て、ユーザーを配布グループに追加できます。アカウントのさまざまなフォルダーに対するユーザーの権限をカスタマイズすることもできます。ユーザーにフォルダーへのアクセス権を付与するには、フォルダー名の横にあるチェック ボックスをオンにします。

Set Folder Permissions

The user has access to the following folders:

Folders [Add Folders](#)

☒ Download☐ Download Alerts☒ Upload☐ Upload Alerts☐ Delete☐ Admin ⓘ

<div><div>BRS_October_2018</div><div>Shared Folders</div></div>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Remove
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------

Done

Cancel

フォルダの制限

大量のフォルダーまたは深くネストされたフォルダー構造を持つユーザーは、フォルダーテンプレートをサブフォルダーに一括で適用したり、既存のフォルダーの名前を一括で変更したりできない場合があります。

ShareFile がアカウント全体のテンプレート変更を処理する間、遅延が発生する可能性があります。アカウント上の多くのフォルダーに関連付けられているテンプレートを編集している場合は、フォルダーテンプレートメニューから移動する前に、Web アプリがこれらの変更を処理する時間を確保してください。

個人用フォルダ

従業員ユーザーは、割り当てられた ShareFile アカウントに個人用フォルダがあります。デフォルトでは、このフォルダーからファイルをアップロードおよびダウンロードできます。このフォルダー内にサブフォルダーを作成して、必要な権限を持つ他のユーザーをこれらのサブフォルダーに追加することもできます。

注:

- 個人用フォルダには、初回ログイン時のユーザーのメールアドレスが付けられています。
- 変更された場合、これはユーザーのメールアドレスと同期されず、フォルダー名の変更はサポートされていません。

共有フォルダ

共有フォルダには、自分がアクセスできる (自分または他のユーザーが作成した) すべてのフォルダが含まれます。これはアカウント全体のルートとみなされます。

他のユーザーの個人用フォルダへのアクセス

要件

- 以下の管理権限が有効になっている従業員ユーザー
 - 人材: 従業員の管理
 - 企業アカウント情報: アクセスレポート

他のユーザーの個人フォルダにアクセスする手順

1. [ユーザー] > [ユーザーの管理] > [従業員の閲覧] に移動します。
2. ユーザー名の右にある管理アイコンを選択します。
3. [フォルダとアクティビティログを表示] を選択します。

注:

- スーパーユーザーは、ファイルをアップロードおよびダウンロードしたり、任意のサブフォルダーへのユーザーアクセスを管理したりできます。
- 任意のサブフォルダーをお気に入りフォルダーにして、後で [お気に入り] タブから簡単にアクセスできるようことができます。

個人用ファイルボックスを使用

ファイルボックスは、従業員が一定期間ファイルを保存できる個人用ストレージスペースです。このスペースは通常、共同スペースや共有スペースではありませんが、一部のユーザーには他の従業員のファイルボックスを表示するためのアクセス権が付与されている場合があります。

注:

ファイルボックスへのユーザーのアクセス権を奪うことを選択した場合、共有メッセージまたはリンクを作成するときに、メールプラグインツールを使用したり、コンピュータからファイルを追加したりすることはできません。

詳細については、「[ファイルボックス](#)」を参照してください。

人の設定

May 28, 2024

ユーザーの管理のホーム

ユーザーを管理して、次の操作を実行します。

- 従業員およびクライアントユーザーを含むユーザーを検索します。
- 従業員ユーザーを作成し、フォルダや格納場所へのアクセスを設定し、配布グループに追加します。
- クライアントユーザーを作成し、フォルダーと配布グループへのアクセスを設定します。

ユーザーの検索

検索機能を使用して、既存の従業員またはクライアントユーザーを検索します。

新しいユーザーの作成

ShareFile アカウントの新規ユーザーは、従業員ユーザーまたはクライアントユーザーとして作成できます。

従業員の作成 従業員ユーザーは社内の内部ユーザーです。従業員ユーザーには、幅広い権限とアカウントへのアクセス権が付与されます。従業員ユーザーを作成すると、従業員ライセンスが消費されます。

従業員ユーザーを作成するための要件

- [従業員ユーザーの管理] 権限。
- 従業員ユーザーが実行できるのは、自身に付与されたアクセス権限の付与または取り消しのみです。
- システムからユーザーを削除できるのは、アカウント管理者だけです。
- 1つのメールアドレスは、同時に1人のユーザーにのみ関連付けることができます。複数のユーザーが同じメールアドレスを使用することはできません。

従業員を作成するには、ShareFileの[メンバー]>[ユーザーホームの管理]に移動します。「従業員を作成」ボタンを使用して、従業員ユーザーの作成を開始します。

ユーザーの名前、メールアドレス、会社情報を入力します。アカウントの種類に応じて、ユーザーの帯域幅制限を個別にカスタマイズできます。

新しい従業員の[ユーザーアクセス]と[ファイル]の設定をカスタマイズできます。アカウントまたはプラン、および独自のアクセス権限によっては、特定の権限が表示されないか適用されない場合があります。[ユーザーアクセス]設定は、従業員のアクセス権とそのアカウント上でできることを管理するアクセス権および機能ベースの標準的な権限設定です。

User Access

For more information on specific permissions, please refer to the [Support Knowledge Center](#).

☐ Select All [Restore Defaults](#)

General

☐ Access company account permissions ⓘ

Files and Folder

☒ Create root-level folders in "Shared Folders"

☒ Use personal File Box ⓘ

☐ Access other users' File Boxes and Sent Items

E-Signature

☒ Send documents for e-signature
Uses one e-signature license

☐ View all e-signature documents

☐ Manage e-signature templates

Workflows

☐ Access other users' Custom Workflows ⓘ
Recommended for IT Admins only. This permission is only available for Super Users.

People

☒ Manage clients

☐ Manage employees

☐ Delegate admin privileges to other employee users

☒ Edit Shared Address Book

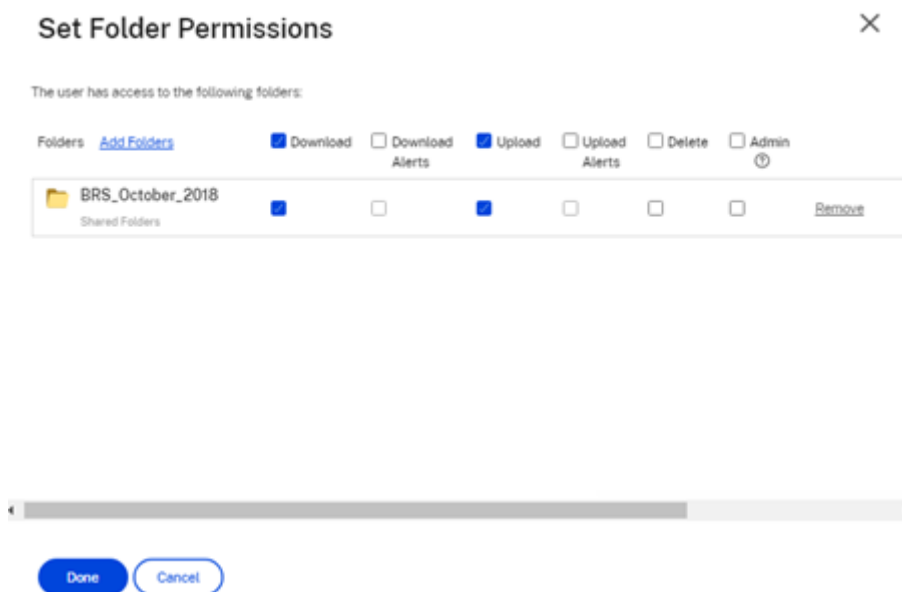
☐ Share distribution groups

☐ Edit other users' shared distribution groups

☐ Manage Super User Group

ユーザーにフォルダーを割り当て、ユーザーを配布グループに追加できます。アカウントのさまざまなフォルダーに

対するユーザーの権限をカスタマイズすることもできます。ユーザーにフォルダーへのアクセス権を付与するには、フォルダー名の横にあるチェック ボックスをオンにします。



新しいユーザーにウェルカムメールを送信することも、後で送信することもできます。このメールには、新しいアカウントを有効にするためのリンクが含まれています。

ウェルカムメールまたは従業員のアクティベーションリンクの再送信 ユーザーが追加されると、アクティベーションリンクが提供されます（メールで、または作成者が生成および配信するリンクで）。新しく作成されたユーザーが 30 日以内にアクティベーションリンクにアクセスしない場合は、新しいアクティベーションリンクを送信する必要があります。アクティベーションリンクを再送信すると、以前のアクティベーションリンクは無効になります。

アクティベーションリンクを含むウェルカムメールを再送信するには

1. ShareFile で、「ユーザー」>「ウェルカムメールを再送信」に移動します。
2. ユーザーのメールアドレスまたは名前を入力して [宛先] フィールドに追加するか、[アドレス帳] から選択します。
3. 必要に応じてメールメッセージをカスタマイズします。
4. [送信] をクリックします。

SAML を使用するアカウント アカウントで SAML SSO プロバイダーを構成し、管理者権限を持たない従業員ユーザーを作成した場合、そのユーザーはアクティベーションメール内でパスワードを確認できない、またはパスワードを変更するように求められません。代わりに、そのユーザーは SAML 資格情報を使用してサインインする必要があります。

厳格な従業員ライセンスと会社のメールアドレス デフォルトでは、会社と同じメールサフィックス (例: johndoe@company.com) のクライアントユーザーは作成できません。このオプションは、アカウントが従業員のライセンス要件を回避しないように設計されています。

管理者は、ユーザー作成要求の確認と承認ができるメール通知を受け取ります。

従業員の権限の管理

ShareFile のアクセス権限は、アカウントとユーザーのアクセス権限を細かく制御できるように設計されています。

アクセス権限を変更するための要件

- [管理者権限を他の従業員ユーザーに委任する] 権限、または [従業員ユーザーの管理] 権限。
- 従業員ユーザーが実行できるのは、自身に付与されたアクセス権限の付与または編集のみです。

権限の管理方法

1. ShareFile で、[ユーザー] > [ユーザーの管理のホーム] に移動します。
2. ユーザーを参照または検索します。ユーザー、または右側の [管理] アイコンを選択して、ユーザープロフィールを開きます。
3. 必要に応じて権限を変更し、[保存] します。

デフォルトの従業員の権限 従業員を作成すると、デフォルトで次の権限が付与されます。これらの設定は、ユーザー作成時に変更できます。

User Access

For more information on specific permissions, please refer to the [Support Knowledge Center](#).

☐ Select All [Restore Default](#)

General

☐ Access company account permissions ⓘ

Files and Folder

☒ Create root-level folders in "Shared Folders"

☒ Use personal File Box ⓘ

☐ Access other users' File Boxes and Sent Items

E-Signature

☒ Send documents for e-signature
Uses one e-signature license

☐ View all e-signature documents

☐ Manage e-signature templates

Workflows

☐ Access other users' Custom Workflows ⓘ
Recommended for IT Admins only. This permission is only available for Super Users.

People

☒ Manage clients

☐ Manage employees

☐ Delegate admin privileges to other employee users

☒ Edit Shared Address Book

☐ Share distribution groups

☐ Edit other users' shared distribution groups

☐ Manage Super User Group

注:

グレーの設定は、作成ユーザーが他のユーザーにアクセスできない、または他のユーザーに付与することが許可されていないアクセス許可を示します。そのため、他のユーザーにそのパーミッションを付与することはできません。

基本情報

- 作成日-アカウントが作成された日付。
- メールアドレス-ユーザーの電子メールアドレス。
- 名
- 姓
- 会社名
- 通知- ユーザーのデフォルトの通知頻度設定を変更します。
- デフォルトの電子メール言語- ユーザーのデフォルトの電子メール通知言語を変更します。
- パスワード-ユーザーがパスワードを変更する場合は、サインイン画面の [パスワードを忘れた場合] リンクを使用できます。リンクがマークされていない場合は、サインインを支援するために従業員の権限を管理できる従業員に連絡する必要があります。
- 帯域幅制限-従業員の月間帯域幅の最大許容値を選択できます。この制限により、従業員が許可した以上のデータを個人的にアップロードおよびダウンロードすることはできなくなります。また、すべてのフォルダーにも適用されるため、他のユーザーとファイルを希望以上に共有することはできません。従業員の帯域幅制限は、

従業員のフォルダーからダウンロードできる量を制限することで、従業員がサポートするクライアントにも影響します。帯域幅制限は、帯域幅の超過を防ぐために従業員の使用を制限する必要があるアカウントで使用されます。

- 認証-この設定は、お客様が ShareFile 認証情報または 2 段階認証を使用している場合に提供されます。

個人設定にアクセスする 個人設定では、ユーザーは自分の名前、会社名、アバターを管理できます。パスワードを変更する権限があれば、このページでパスワードを更新または変更できます。

企業アカウント権限へのアクセス [詳細設定](#)はアカウント全体の設定で、会社アカウントへのアクセス権限を付与された従業員ユーザーがオンまたはオフにできます。これらの設定は、[管理] > [詳細設定] で確認できます。

クライアントの作成 共有フォルダーへのアクセスが制限された外部クライアントを作成します。

外部（クライアント）ユーザーを作成するための要件

- 従業員ユーザーは誰でも、[ユーザー]>[クライアントを参照]>[クライアントを追加]に移動して、見込み客にメールリクエストを送信できます。
- [クライアントユーザーの管理] 権限。
- 外部（クライアント）メールアドレスを変更したり、システムから外部（クライアント）ユーザーを削除したりするには、どちらの場合も [従業員ユーザーの管理] 権限が必要です。

外部（クライアント）ユーザーを作成するには、「ユーザー」>「ユーザーの管理」ホームに移動します。「クライアントを作成」を選択します。「新規クライアントの作成」画面が表示されます。

ユーザーにフォルダーを割り当て、そのユーザーを配布グループに追加できます。フォルダーのアクセス権限を既存のユーザーから新しいユーザーにコピーすることもできます。[フォルダーアクセスのコピー] オプションを使用すると、フォルダーのアクセス権限のみがコピーされ、アカウントのアクセス権限はコピーされません。

その後、新しいユーザーによるメールを送信することも、後で送信することもできます。このメールには、新しいアカウントを有効にするためのリンクが含まれています。

ユーザーにフォルダーアクセス権を与える [フォルダーに人を追加] メニューからクライアントユーザーを作成することもできます。現在アカウントのメンバーではないフォルダーに個人を追加すると、クライアントユーザーが作成されます。

1. 新しいユーザーアクセス権を付与するフォルダーの名前をクリックします。
2. 「ユーザー」タブまたはフォルダーアクセスメニューにアクセスします。
3. [フォルダーへのユーザーの追加] ボタンをクリックします。
4. [新しいユーザーの作成] をクリックして、クライアントユーザーをこの特定のフォルダーにアクセスできるアカウントに追加します。

5. ユーザーのメールアドレス、姓、名は必須です。ユーザーがクライアントユーザーとして作成され、左側のペインにあるユーザー一覧に追加されます。
6. 右下の [追加ユーザーに通知] オプションをオンにします。
7. 変更を保存します。その後、ユーザーは、フォルダーに追加され、アカウントをアクティブ化する必要があるというメール通知を受け取ります。

特定の相手への送信 [特定の人に送信] では、ShareFile 電子メールシステムを使用してファイルを送信できます。この方法では、ファイルをダウンロードするための安全なリンクを含む電子メールメッセージが受信者に送信されます。アカウントに保存されているファイルを送信することも、コンピューターに保存されているファイルを送信することもできます。

詳細については、「[特定のユーザーに送信する](#)」を参照してください。

従業員を参照

ShareFile から、「ユーザー」>「従業員を参照」をクリックし、従業員ユーザーを探します。彼らの名前をクリックして、彼らのプロフィールページにアクセスします。

クライアントの参照

ShareFile から、「ユーザー」>「クライアントを参照」をクリックし、クライアントユーザーを探します。彼らの名前をクリックして、彼らのプロフィールページにアクセスします。

共有アドレス帳

共有アドレス帳は、すべての従業員ユーザー間で共有されます。このアドレス帳は、ユーザーをフォルダーに追加するとき、またはファイルをすばやく送信するときにアクセスできます。

配信グループ

新しい配布グループを設定するとき、ユーザーはグループをすべての従業員と共有できます。この権限が有効になっている場合、従業員ユーザーは、システム上に作成され、他のユーザーと共有されているグループにユーザーを追加できます。

ウェルカムメールの再送

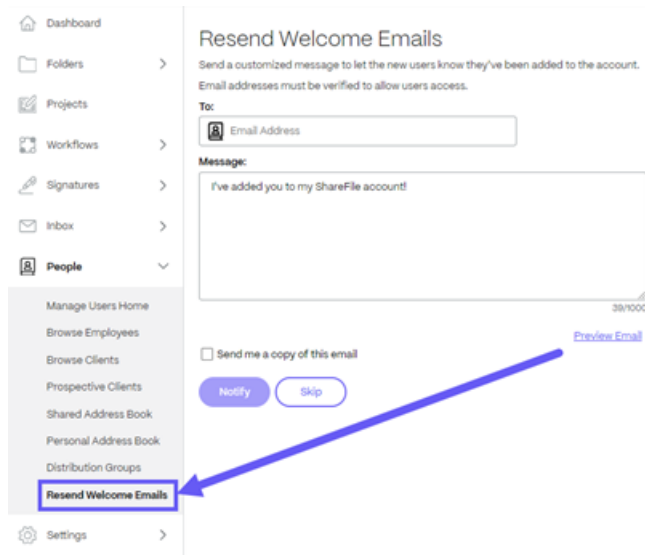
注:

既存のユーザーにアクティベーションメールを再送信する必要がある場合は、「従業員の管理」または「クライ

「アクトの管理 **」 権限が必要です。

アクティベーションリンクを含むウェルカムメールを再送信するには：

1. ShareFile で、[ユーザー] > [ウェルカムメールを再送信] に移動します。



2. ユーザーのメールアドレスまたは名前を入力して [宛先] フィールドに追加するか、アドレス帳からユーザーを選択します。
3. 必要に応じてメールメッセージをカスタマイズします。
4. [送信] を選択します。

ShareFile Web

May 23, 2023

ShareFile は、ユーザーが簡単かつ安全にドキュメントを交換できるようにするファイル共有サービスです。

ShareFile では、安全なデータ共有とストレージ、カスタマイズできる使用方法と設定、より簡単に共同作業を行い作業を完了できるツールにより、簡単、安全、かつ専門的にファイルを交換できます。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

システム要件

ShareFile には、サポートされている Web ブラウザーとインターネット接続があれば、どのコンピューターからでもアクセスできます。ShareFile Web アプリケーションのすべての機能を利用するには、次の種類のブラウザをお勧めします。

- **Microsoft Edge** -最新バージョン

注:

- Microsoft の既知の問題により、NetScaler を認証に使用する場合、Microsoft Edge ブラウザから CIFS コネクタにアクセスできません。
- ShareFile のパスワードリセットは reCAPTCHA ツールを使用して検証します。reCAPTCHA は Microsoft Edge ではサポートされていません。詳細については、[Microsoft Edge の ShareFile パスワードリセットなしを参照してください](#)。

- **Mozilla Firefox** -最新バージョン

- **Google Chrome** -最新バージョン

- **Apple Safari** -バージョン 10 から最新バージョンまで

注:

特定のフォルダーおよびメニューの表示に関する問題により、**Private Browsing** モードの Safari で ShareFile Web アプリケーションにアクセスできない場合があります。

解決された問題

22.0615 で修正された問題

- [リンクを取得] を使用すると、アップロードされたファイルの有効期限が正しく更新されないことがあります。[SFWEB-13309]

21.1210 で解決された問題

- アップロードされたファイルによっては、ファイルの詳細が表示されないことがあります。[SFPLATFORM-14977]
- Citrix Files for Windows を使用してファイルを移動すると、エラーが発生することがあります。[SFPLATFORM-15008]
- アカウント設定を保存しようとするとき失敗することがある。[SFWEB-13173]

Files 21.1007 で解決された問題

- 無効な受信者が含まれると、ファイル要求が失敗することがあります。[SFPLATFORM-14852]

21.0813 で解決された問題

注:

Citrix Workspace のファイルのリリースでは、リリースバージョン番号に日付が組み込まれるようになりました。週末には複数のリリースが提供されます。

- 一部の Content Collaboration アカウントで作成されたクライアントは、アクティベーションメールを受信しない場合があります。[SFPLATFORM-14323]

21.26 で解決された問題

- クラウドライセンスをリンクしようとする、プレミアムプランのお客様が電子署名機能を失う可能性があります。[SFPLATFORM-14198]
- ウェルカムメールが不正なアドレスに送信された後、バウンス通知が受信されないことがあります。[SFPLATFORM-14208]
- アカウント全体の保持ポリシーを変更しようとする、失敗することがあります。[SFWEB-13094]
- 同じ名前で大文字と小文字が異なる更新されたファイルをアップロードすると、ファイルの正しいバージョン管理が失敗することがあります。[SFWEB-13095]

21.22 で解決された問題

- 同じストレージゾーンにファイルをコピーしようとする、失敗することがあります。[SFPLATFORM-14183]
- ユーザーが作成したファイルまたはフォルダーを削除しようとする、失敗することがあります。[SFPLATFORM-14177]

21.21 で解決された問題

- 新しいクレジットカードでアカウントを更新しようとする、失敗することがあります。[SFWEB-13080]

21.20 で解決された問題

- WebApp または Citrix Files for Outlook で暗号化された電子メールを送信しようとする、失敗することがあります。[CCCHELP-524]

21.14 で解決された問題

- .mp4 ファイルにアクセスしても、ファイル所有者への通知がトリガーされないことがあります。[SFPLATFORM-13955]
- コネクタの制限付き共有を有効にすると、リンクオプションを編集できなくなる可能性があります。[SFWEB-12728]
- .jpg ファイルの中には、プレビューで正しく表示されないものがあります。[SFWEB-13040]

21.9 で解決された問題

- ダウンロードアクセスの設定で、エラー時に「29 日」のオプションが表示されることがあります。[SFWEB-13024]

21.4 で解決された問題

- 並列同期中に、複数のファイルのアップロードを一時停止しようとする、機能しないことがあります。[SFWEB-12983]

21.1 で解決された問題

- このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

既知の問題

21.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

20.31 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

20.30 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

Citrix Files アプリ

May 28, 2024

Citrix Files は、簡単、安全、プロフェッショナルな方法でファイルを交換するのに役立ちます。

ビジネス向けに設計された Citrix Files は、安全なデータ共有とストレージ、カスタマイズ可能な使用方法と設定、受賞歴のあるカスタマーサービス、および時間や場所を問わず、あらゆるデバイスからより簡単にコラボレーションして作業を完了できるツールを提供するファイルマネージャーです。

Citrix Files アカウントとアプリでは、次のことができます。

アクセス:

- Citrix Files アカウントにあるファイルやフォルダーにアクセスします。
- Citrix Files アカウントにあるファイルを編集します（一部のプランでは利用できません）。
- Citrix Files アカウントとローカルデバイス間でファイルをダウンロードおよびアップロードします。
- すべてのデバイスから Citrix Files アカウントのファイルを同期します。

シェア:

- 複数のファイルを複数のユーザーと同時に共有または同期できます。
- ファイルを要求し、受信者が Citrix Files アカウントにファイルをアップロードするための安全なリンクを提供します。

管理:

- 個々のユーザーに対して、ファイルおよびフォルダーに対するカスタムアクセス権を設定します。
- Citrix Files アカウントの保護を強化するためのパスコードを指定します。
- Citrix Files アカウントの既存のフォルダーにユーザーを追加します。

ご使用のオペレーティングシステム用の Citrix Files をダウンロードするには、以下を参照してください。

- [Windows](#)
- [Mac](#)
- [Android](#)
- [iOS](#)
- [Outlook \(Windows\)](#)
- [Gmail](#)

ヒント:

Citrix Files ユーザーガイドンスについては、[Citrix ユーザーヘルプセンター](#)を参照してください。

サポートされる言語

Citrix Files は次の言語をサポートしています:

- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- ポルトガル語
- スペイン語

アプリの構成

January 26, 2024

ネットワーク共有と **SharePoint** コネクタへの認証

Citrix Files ユーザーは、コネクタを作成してアクセスすることで、ネットワーク共有や SharePoint などの既存のデータリポジトリにアクセスできます。

アカウントのコネクタの作成と管理については、「[ストレージゾーンコネクタの作成と管理](#)」を参照してください。

注:

この構成は、Citrix Files for Windows、Citrix Files for Mac、および Citrix Files for Outlook のみ適用されます。

コネクタへのユーザーによる手動サインオン

ネットワーク共有または SharePoint コネクタを参照するときは、シングルサインオンを使用している場合を除き、最初にログオンする必要があります。ログオンするには、コネクタ名を右クリックし、Windows または macOS のコンテキストメニューから [サインイン] を選択します。

[**Sign in**] を選択すると、ログインダイアログが表示されます。ドメインユーザー名とパスワードを入力します。ログオン後、コネクタフォルダーを参照できます。

Citrix Workspace アプリを使用したコネクタへのシングルサインオン

Citrix Workspace アプリにログオンすると、資格情報を再度入力しなくてもコネクタに自動的にサインインします。Workspace 認証を使用してネットワーク共有または SharePoint コネクタに接続するためにシングルサインオンを使用するには、ストレージゾーンコントローラー バージョン 5.4.1 以降が必要です。

Citrix Files for Windows または Mac のインストールに加えて、Citrix Workspace アプリをエンドポイントにインストールし、Citrix Workspace アカウント用に構成する必要があります。

VDA 認証を使用したコネクタへのシングルサインオン

Citrix Workspace を介して VDA セッション内のコネクタにアクセスすると、ユーザーは資格情報を入力しなくてもコネクタに自動的にサインインします。VDA 環境内で Workspace 認証を使用してネットワーク共有または SharePoint コネクタにシングルサインオンを使用するには、ストレージゾーンコントローラー 5.4.1 以降が必要です。

Windows 版 Citrix Files のグループポリシー定義

注：
以下の情報は、ナレッジセンターの記事 CTX228273 で以前に公開されています。

Citrix Files には、グループポリシー（GPO）を使用して設定と構成をプッシュするために使用できるポリシー定義が含まれています。`.admx` ファイルと `.adml` ファイルは次の場所にあります。`C:\Program Files\citrix\Citrix Files\PolicyDefinitions`

インストール

1. `.admx` ファイルを `c:\Windows\PolicyDefinitions` にコピーし、`\en-us\` `.adml` ファイルを `c:\Windows\PolicyDefinitions\en-us\` にコピーします。
2. [グループポリシーエディター] を開くと、ポリシーオプションが以下に表示されます。
 - a. コンピューターの構成 → 管理用テンプレート → **Citrix Files**
 - b. ユーザーの構成 → 管理用テンプレート → **Citrix Files**

グループポリシーの設定

設定	目的
コンピュータ構成	
アプリケーションを有効にする	無効にすると、ドライブをマウントしたり、UI を表示したりする前に Citrix Files が終了します。
自動チェックアウトを有効にする	有効にすると、Microsoft Office ファイルを開いたときに Citrix Files によって自動的にチェックアウトされます。ファイルは閉じた後も自動的にチェックインされます。
オンプレミスコネクタを有効にする	無効にすると、ネットワーク共有、Sharepoint、および Documentum コネクタは Citrix Files に表示されません。
ログアウト時にキャッシュをクリアする	無効にすると、Citrix Files はユーザーがログアウトしたときにキャッシュされたメタデータとコンテンツを消去しません。
パーソナルクラウドコネクタを有効にする	無効にすると、パーソナルクラウドおよび Office 365 コネクタは Citrix Files に表示されません。
自動更新を有効にする	無効にすると、Citrix Files は自動的に最新バージョンに更新されません。

設定	目的
終了時にキャッシュを削除	有効にすると、ダウンロードしたファイルコンテンツはアプリケーションの終了時に削除されます。
キャッシュサイズ	キャッシュされたファイルに使用するディスク容量 (MB 単位) を制御します。最小キャッシュサイズは 256 MB、最大キャッシュサイズは 9999 MB です。
キャッシュの場所	ファイルコンテンツキャッシュの場所を設定します。デフォルトでは、この場所は <code>AppData\Local\Citrix\Citrix Files\PartCache</code> です。カスタムパスが設定されている場合は、そのフォルダーが存在している必要があります。
[キャッシュモード]	デフォルト: Citrix Files は、実行中の環境に適したキャッシュモードを選択します。即時: Citrix Files はキャッシュに対して直接書き込みおよび読み取りを行います。このモードではメモリの使用量が最も少なくなりますが、アプリケーションキャッシュがローカルディスク上にない場合は低速になることがあります。キュー: Citrix Files は一部のデータをメモリに保持し、バックグラウンドでキャッシュに書き込みます。このモードは、アプリケーションキャッシュがネットワーク上の場所に格納されている場合に推奨されます。
最大ログサイズ	アプリケーションログに使用するディスク容量 (MB 単位) を制御します。
チュートリアル無効化	有効にすると、Citrix Files はユーザーの初回サインイン時にチュートリアルを表示しません。
オフラインアクセスを有効にする	無効にすると、ユーザーはインターネットに接続していない間はフォルダまたはファイルを使用可能としてマークできません。
メタデータのプリフェッチ	有効にすると、Citrix Files はファイルシステム構造をプリロードします。これにより、CPU、メモリ、ディスク、ネットワークの使用量がいくらか犠牲になりますが、応答性が向上します。既定では、この機能は仮想デスクトップでは無効になっています。
ユーザー設定	
アカウント	Citrix Files で使用するアカウントを構成します。
アプリケーションを有効にする	無効にすると、ドライブをマウントしたり、UI を表示したりする前に Citrix Files が終了します。

設定	目的
アップロード対象から除外	Citrix Files にセーブバックされないファイル名拡張子。 これらのファイルは、引き続きローカルで読み取り、編集できます。
マウントポイント 1–10	特定の Citrix Files フォルダをネットワークドライブとしてマウントします。

マウントポイント

マウントポイントでは、ネットワークドライブとしてマウントする Citrix Files フォルダを指定できます。マウントポイントは 10 個まで指定できます。マウントポイントはグループポリシーエディタで設定できます。

マウントポイントを作成するには、Citrix Files フォルダをそのフォルダへのパスを \ 文字で区切って指定します。最上位のフォルダ名は、ユーザーの種類やエンドユーザーの言語によって異なる場合があります。このような場合は、次の例に示すように %wildcard% alias を使用してマウントポイントを作成できます。

フォルダタイプ	例
個人用フォルダ	Personal Folders または %personal%
共有フォルダ	Shared Folders または %shared%
お気に入り	Favorites または %favorites%
ネットワーク共有コネクタ	Network Shares または %networkshares%
SharePoint コネクタ	SharePoint または %sharepoint%
Box コネクタ	Personal Cloud\Box または %personalcloud%\Box
Dropbox コネクタ	Personal Cloud\Dropbox または %personalcloud%\Dropbox
Google Drive コネクタ	Personal Cloud\Google Drive または %personalcloud%\Google Drive
OneDrive コネクタ	Personal Cloud\OneDrive または %personalcloud%\OneDrive
Office365 コネクタ	Office 365 または %office365%
アカウントのルート (既定のビュー) “\”	

Mount Point 1

Previous Setting Next Setting

☐ Not Configured ☒ Enabled ☐ Disabled

Comment:

Supported on: At least Windows Server 2008 R2 or Windows 7

Options:

Drive Letter
T:

ShareFile Path
Shared Folders\TeamFiles\

Display Name
Team Files

Help:

This policy specifies a ShareFile folder to mount as a network drive.

Specify the ShareFile folder by the path to that folder, separated by the '\' character.
Display name will be shown on the specified drive letter and is optional.

Examples:

- Favorites
- Personal Folders\Files
- Shared Folders\Departments\Sales
- Network Shares\N Drive
- SharePoint\SP Name
- Personal Cloud\Box
- Personal Cloud\DropBox
- Personal Cloud\Google Drive
- Personal Cloud\OneDrive

For SharePoint Online and OneDrive for Business:
Office 365\'name of your connector\'

OK Cancel Apply

Citrix Files for Android

September 6, 2023

Citrix Files for Android を使うと、ファイルを簡単、安全、プロフェッショナルにやり取りすることができます。

Citrix Files for Android は、安全なデータ共有とストレージを提供するファイルマネージャーです。Citrix Files は、カスタマイズ可能な使用方法や設定により、いつでもどこでも、どの Android デバイスからでもより簡単に共同作業を行い、作業を完了できます。

[Google Play ストア](#)で Citrix Files for Android をダウンロードする

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

システム要件

OS 要件

Android 7.0 (Nougat) またはそれ以降

解決された問題

2360 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2320 で解決された問題

- クライアント証明書認証が更新されます。[SFAND-5895]

2250 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2230 で解決された問題

- **Secure Mail** を使用して認証しようとする、Citrix Files アプリケーションが失敗することがあります。
[SFAND-5819]

2220 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

21120 で解決された問題

- Citrix Files アプリケーションにサインオンしようとする、エラーが発生することがあります。[CCCHELP-2439]

21110 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立つ問題が修正されています。

2175 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立つ問題が修正されています。

2130 で解決された問題

- Excel ファイルのクイック編集を使用すると、誤った日付形式が生成されることがあります。[CCCHELP-1415]
- SSO を使用して Citrix Files for Android でクイック編集を起動しようとすると、失敗することがあります。[CCCHELP-1501]

20110 で解決された問題

- Citrix Workspace から Citrix Files アプリを起動するときに、Citrix Files に手動でサインインする必要がある場合があります。[SFAND-5454]

2080 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2070 で解決された問題

- Citrix Files から Citrix Workspace アプリを起動するときに、暗証番号の入力を求められる場合があります。[SFAND-5407]

2060 で解決された問題

- Secure Mail で共有リンクにアクセスすると、Citrix Files for Android が開かないことがあります。[SFAND-5325]
- 電子メールまたはユーザー名を必要とする共有匿名リンクは、エラーを引き起こす可能性があります。[SFAND-5377]

2050 で解決された問題

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性の向上に役立つ問題も解決されています。

2040 で解決された問題

- Citrix Files for Android からログアウトすると、エラーメッセージが表示されることがあります。[CCCHELP-383]
- 【このフォルダーに追加されたことをユーザーに通知する】がオフの場合、ユーザーに通知が送信されることがあります。[SFAND-5249]
- オフラインで Citrix Files メールを使用してファイルを要求すると、不明なエラーが発生することがあります。[SFAND-5268]

2035 で解決された問題

- Citrix Files for Android でクイック編集を起動すると、アプリが動作しなくなることがあります。[CCCHELP-302]

2030 で解決された問題

- Citrix Files for Android を使用してネットワーク共有内のファイルの名前を変更すると、不明なエラーが発生することがあります。[XMHELP-2555]

既知の問題

2380 の既知の問題

デバイスの Microsoft Office **365** アプリケーションで **Android** 向け **Citrix Files** からファイルを初めて開こうとすると、Microsoft Office 365 が起動しないことがあります。Microsoft と協力してこの問題を解決しています。

2175 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2130 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

20110 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2080 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2070 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2060 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2040 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2035 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2030 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2020 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2010 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

Citrix Files for Gmail

March 20, 2024

Chrome の Citrix Files for Gmail 拡張機能によって、添付ファイルに関するファイルサイズの制限を回避しながらセキュリティを強化して送信できます。同僚、顧客、パートナーに対して、Gmail から直接安全なファイルアップロードリクエストを提供できます。

誰かがファイルにアクセスしたりファイルを送信したりするたびに通知を受信するため、常に状況を把握でき、必要に応じて対処できます。さまざまなセキュリティレベルとアクセスレベルを設定することもできます。

Citrix Files for Gmail は、[Chrome ウェブストア](#)でダウンロードします。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

システム要件

ブラウザーの要件

- ユーザーが最新バージョンの Google Chrome を使用していることを確認します。

ユーザーガイダンス

Gmail 向け Citrix Files のユーザーガイダンスにアクセスするには、次のリンクを使用してください。

- [バージョン情報](#)
- [アクセス](#)
- [追加して有効にする](#)
- [デフォルト設定を変更](#)
- [リクエストファイル](#)
- [ファイルの共有](#)

解決された問題

2.1 で解決された問題

- Citrix Files for Gmail からの共有ファイルリンクの受信者によっては、ファイルにアクセスできない場合があります。[SFGP-175]

2.0 で解決された問題

このリリースで解決された問題はありません。

既知の問題

2.0 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

Citrix Files for iOS

July 24, 2023

Citrix Files for iOS を使用すると、ファイルを簡単に、安全に、プロフェッショナルに交換できます。

Citrix Files for iOS は、時間や場所を問わず、どの iOS デバイスからでも簡単に共同作業を行い、作業を完了できるツールを備えたファイルマネージャーです。

[Apple App Store](#)で Citrix Files for iOS をダウンロードします。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

システム要件

OS 要件

iOS 14 またはそれ以降

解決された問題

2370 で解決された問題

- ウォーターマークの付いたファイルを特定の人に送信すると、ウォーターマークが表示されないことがあります。[SFIOS-7208]
- 電子透かしの入ったファイルを特定の人に送信するときに、サインインオプションがオンになっていないと、情報が正しく表示されないことがあります。[SFIOS-7209]
- [リンクを追加] を複数回選択すると、エラーが発生することがあります。[SFIOS-7214]
- [ウォーターマークを追加] オプションは [編集オプション] では使用できません。[SFIOS-7215]
- 共有ファイルを共同編集で開くと、エラーが発生することがあります。[SFIOS-7216]
- ファイルを表示用に開くと、[共有] オプションは機能しません。[SFIOS-7219]
- ダウンロード権限でチェックアウトしたファイルを開くと、エラーが発生することがあります。[SFIOS-7233]

2360 で解決された問題

- 重複リンクを作成しても、共有リンクオプションが無効にならない場合があります。[SFIOS-7164]
- 複数のファイルを共有する場合、[すべて表示]を選択する前に、ファイルリストにリスト全体が表示されることがあります。[SFIOS-7172]
- 写真やビデオのアップロードでは、追加された日付が表示されない場合があります。[SFIOS-7199]

2355 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2350 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2340 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2320 で解決された問題

- このリリースでは、XenMobile iOS の全体的な安定性を向上させる問題に対処しています。

2310 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

22125 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2212 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2290 で解決された問題

- Microsoft Office ファイルを印刷しようとすると、エラーが発生することがあります。[CCCHELP-2654]

2250 で解決された問題

- このリリースでは、全体的な安定性を向上させる問題が修正されています。

2220 で解決された問題

- PDF ファイル注釈の中には、ファイルの内容をタップするまで表示されないものもあります。[SFIOS-6768]

2210 で解決された問題

- ピンを入力すると、テンキーの位置合わせが外れることがあります。[SFIOS-6801]

21115 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立ついくつかの問題が修正されています。

21110 で解決された問題

- フォルダーにユーザーを追加すると、Citrix Files が予期せず終了することがあります。[SFIOS-6794]

2190 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立ついくつかの問題が修正されています。

2185 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立ついくつかの問題が修正されています。

2175 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立ついくつかの問題が修正されています。

2170 で解決された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立ついくつかの問題が修正されています。

2150 で解決された問題

Photos for iOS App でビデオを編集した後、ビデオをアップロードしようとするとう失敗することがあります。
[SFIOS-6684]

2120 で解決された問題

- 現在、Authman Lite SDK を Citrix Files に統合し、アプリ間でよりシームレスなエクスペリエンスを提供しています。[SFIOS-6303]
- このリリースには、セキュリティとユーザーの一般的な改善も含まれています。[SFIOS-6640]

2110 で解決された問題

このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

20112 で解決された問題

PowerPoint ドキュメントを編集して保存すると、Citrix Files 予期せず終了することがあります。[SFIOS-6595]

20110 で解決された問題

- 表示のみのアクセス許可でファイルを開こうとすると、エラーが発生することがあります。[CCCHELP-997]
- Citrix Files for Windows で作成された共有リンクにアクセスすると、Citrix Files for iOS にエラーが表示されることがあります。[CCCHELP-1096]
- iPad ペンで書き込まれた PDF メモは、他の iOS デバイスでのみ表示される場合があります。[CCCHELP-1147]
- iOS 用の Citrix Files では、[キャンセル] ボタンがローカライズされないことがあります。[SFIOS-6359]
- リンクされていない Citrix Workspace アカウントから共有ファイルを開くと、Citrix Files が原因で Citrix Workspace アプリが予期せず終了することがあります。[SFIOS-6590]

20100 で解決された問題

- Citrix Files の手書きメモは、複数回保存すると品質が低下することがあります。[CCCHELP-272]
- 検証済みの DocuSign PDF を開くと、エラーが発生することがあります。[CCCHELP-649]
- 印刷画面をキャンセルすると、[保存] オプションが無効になることがあります。[SFIOS-6461]

既知の問題

2120 の既知の問題

テキストファイルを編集すると、Citrix Files for iOS が失敗することがあります。[SFIOS-6603]

2110 の既知の問題

テキストファイルを編集すると、Citrix Files for iOS が失敗することがあります。[SFIOS-6603]

20112 の既知の問題

テキストファイルを編集すると、Citrix Files for iOS が失敗することがあります。[SFIOS-6603]

20110 の既知の問題

- PowerPoint ドキュメントを編集すると、Citrix Files for iOS が失敗することがあります。[SFIOS-6595]
- テキストファイルを編集すると、Citrix Files for iOS が失敗することがあります。[SFIOS-6603]

2010 の既知の問題

今回のリリースでは、新しい問題は発生していません。

Citrix Files for Mac

March 20, 2024

Citrix Files for Mac を使用すると、マップされたドライブを介してファイルに直接アクセスし、ネイティブの Finder エクスペリエンスを提供できます。ファイルはアクセスされたときにのみダウンロードされ、一時的にローカルコンピューター上に保存されます。ファイルに加えられた変更は、クラウドに自動的に保存されます。右クリックして表示したメニューからより多くの機能にアクセスし、ファイルの共有や要求などの操作を実行できます。

重要:

Mac および Apple シリコン用の Citrix Files に関する情報については、[Mac および Apple シリコン用の Citrix Files を参照してください](#)。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

ダウンロードやサインインなどのエンドユーザー向けヘルプについては、[Citrix ユーザーヘルプセンター](#)を参照してください。

サポートされるバージョン

サポートされている最小バージョン

- Mac バージョン 22.1 以降の Citrix Files

[ShareFile ダウンロードページ](#)で、Mac 用 Citrix Files の最新バージョンをダウンロードしてください。

システム要件

OS 要件

- macOS 10.13 Sierra またはそれ以降

その他の要件

- アプリをインストールするには、ローカル管理者権限が必要です。

解決された問題

23.3 で解決された問題

- Mac 用 Citrix Files のコネクタ認証が失敗することがあります。[CFMAC-3401]

22.10 で修正された問題

- このリリースでは、全体的なパフォーマンスの向上に役立つ問題が修正されています。

22.4 で修正された問題

- Citrix Workspace がインストールされている場合、Mac 用 Citrix Files の認証プロンプトが表示されないことがあります。[CFMAC-3296]

22.2 で修正された問題

- Citrix Files for Mac では、中断されたダウンロードが完了しない場合があります。[CFMAC-3296]

21.10 で解決された問題

- Mac 用 Citrix Files は、サインオン後に起動しないことがあります。[CFMAC-3224]
- 一部のアイテムが [キュー] タブに正しく表示されないことがあります。[CCCHELP-1355]
- 認証エラーが発生すると、Citrix Files for Mac が応答しなくなることがあります。[CFMAC-3260]
- 一部の Adobe Creative Suite ファイルを開いて編集すると、エラーが発生することがあります。[CFMAC-3228]
- 一部の Vectorworks ファイルを開いて編集すると、エラーが発生することがあります。[CFMAC-3228]

21.2 で解決された問題

- チェックアウトを破棄するオプションは、管理者には使用できない場合があります。[CCCHELP-1022]
- アップロードに失敗した場合は、手動による再試行が必要になる場合があります。[CCCHELP-1291]
- ペリオードを含むフォルダー名の中には、一時ファイルとして扱われるものもあります。[CCCHELP-1456]
- 一部のリモートアップデートは **Finder** に表示されないことがあります。[CFMAC-3185]
- 削除権限を持つクライアントユーザーには、削除権限がない可能性があります。[CFMAC-3193]

20.9 で解決された問題

- Adobe Photoshop ファイルを保存すると、エラーが発生することがあります。[CFMAC-3179]
- Adobe InDesign プロジェクトファイルを保存すると、ファイルが予期せず削除されることがあります。[CFMAC-3179]

20.7.2 で解決された問題

- このリリースは、さまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

20.7 で解決された問題

- Catalina でファイルを編集しているときに、Finder アイコンが表示されないことがあります。[CFMAC-3069]
- Adobe After Effects プロジェクトファイルを保存すると、ファイルが予期せず削除されることがあります。[CFMAC-3128]
- Adobe Photoshop でファイルを編集しようとすると、エラーが発生することがあります。[CFMAC-3128]
- 以前に使用した Mac にサインインすると、新しいデバイスのサインイン通知が送信されることがあります。[CFMAC-3137]
- Citrix Files for Mac を使用すると、アプリケーションの再認証が複数回必要になる場合があります。[CFMAC-3158]

1911 で解決された問題

- この修正により、Microsoft Excel ファイルに表示される共有違反エラーが修正されます。[CFMAC-3067]
- macOS Catalina を使用している場合、ユーザーがフォルダーを参照すると、ファイルがキャッシュにダウンロードされることがあります。[CFMAC-3076]

1910 で解決された問題

- キャッシュ制限スライダーを動かすと、キャッシュ制限を変更する代わりにベータフラグのオンとオフが切り替わることがあります。[CFMAC-3045]
- オランダ語のローカライズが正しく表示されない場合があります。[CFMAC-3056]

1908 で解決された問題

- サブフォルダーを移動してからその親フォルダーを削除すると、サブフォルダーが削除されることがあります。[CFMAC-2249]

1904 で解決された問題

- Citrix Files for Mac は、CPU を過剰に消費することがあります。[CFMAC-2719]
- ダッシュボードからファイルを開こうとすると、まだ開かれていないファイルに対して失敗することがあります。[CFMAC-2738]
- ファイルまたはフォルダーをオフラインで編集してオンラインに戻すと、ファイルが回復フォルダーに移動されないことがあります。[CFMAC-2762]
- ユーザーは、アプリを再起動して再認証する必要がある場合があります。[CFMAC-2765]
- オフライン同期中にファイルを削除すると、Citrix Files for Mac が予期せず終了することがあります。[CFMAC-2787]

4.6 で解決された問題

- ダークモードからライトモードまたはライトモードからダークモードに切り替えると、Citrix Files for Mac が予期せず終了することがある。[CFMAC-2661]
- 新しいリモートバージョンがあると、ローカルで編集されたファイルが正しく更新されないことがあります。[CFMAC-2676]
- データベースクローラは、キャッシュなしで項目を検索し、CPU を大量に消費することがあります。[CFMAC-2684]
- ファイルとフォルダーが最新の状態に保たれていない可能性があります。[CFMAC-2695]

既知の問題

21.10 の既知の問題

Citrix Files v21.4 (19rc5) を使用しているユーザーは、Citrix Files for Mac 21.10 を手動でインストールする必要があります。

21.2 の既知の問題

- Big Sur のユーザーは、拡張機能を許可するために複数回再起動する必要がある場合があります。この既知の問題は、Big Sur 11.3 のリリースで解決されるはずです。

20.7 の既知の問題

- このリリースには、イタリア語の言語を部分的にサポートしています。将来のリリースでは、イタリア語の完全なサポートが含まれる予定です。[CFMAC-3130]
- 認証画面にはイタリア語のサポートは含まれていません。

1911 の既知の問題

- ファイルを別のアプリケーションで開いていると、ファイルが正しく削除されない場合があります。回避策として、ファイルを削除する前に、ファイルにアクセスしているすべてのアプリケーションを終了してください。[CFMAC-2998]

1910 の既知の問題

- ファイルを別のアプリケーションで開いていると、ファイルが正しく削除されない場合があります。回避策として、ファイルを削除する前に、ファイルにアクセスしているすべてのアプリケーションを終了してください。[CFMAC-2998]

1908 の既知の問題

- ファイルを別のアプリケーションで開いていると、ファイルが正しく削除されない場合があります。回避策として、ファイルを削除する前に、ファイルにアクセスしているすべてのアプリケーションを終了してください。[CFMAC-2998]

1904 の既知の問題

- Adobe InDesign ファイルを開いて編集するときに、Citrix Files for Mac がファイルを保存せず、Adobe InDesign が予期せず終了する場合があります。[CFMAC-2552]
- Citrix Files for Mac を初めてインストールすると、カーネル拡張の承認ダイアログが表示されます。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。[SFWGTM-515]
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。[SFWGTM-2145]
- ダッシュボードのアイテムは、ダブルクリックしても開かない場合があります。[SFWGTM-2387]

4.6 の既知の問題

- Adobe InDesign ファイルを開いて編集するときに、Citrix Files for Mac がファイルを保存せず、Adobe InDesign が予期せず終了する場合があります。[CFMAC-2552]
- Citrix Files for Mac を初めてインストールすると、カーネル拡張の承認ダイアログが表示されます。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。[SFWGTM-515]
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。[SFWGTM-2145]
- ダッシュボードのアイテムは、ダブルクリックしても開かない場合があります。[SFWGTM-2387]

4.5 の既知の問題

- Adobe InDesign ファイルを開いて編集するときに、Citrix Files for Mac がファイルを保存せず、Adobe InDesign が予期せず終了する場合があります。[CFMAC-2552]
- Citrix Files for Mac を初めてインストールすると、カーネル拡張の承認ダイアログが表示されます。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。[SFWGTM-515]
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。[SFWGTM-2145]
- ダッシュボードのアイテムは、ダブルクリックしても開かない場合があります。[SFWGTM-2387]

4.4 の既知の問題

- Citrix Files for Mac を初めてインストールすると、カーネル拡張の承認ダイアログが表示されます。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。[SFWGTM-515]
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。[SFWGTM-2145]
- ダッシュボードのアイテムは、ダブルクリックしても開かない場合があります。[SFWGTM-2387]

4.3 の既知の問題

- Citrix Files for Mac を初めてインストールすると、カーネル拡張の承認ダイアログが表示されます。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。[SFWGTM-515]
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。[SFWGTM-2145]

- オフラインアクセスを使用すると、ファイルやフォルダーの進行中のバッジの更新に通常よりも時間がかかることがあります。[SFWGTM-2310]

制限事項

- インターネットに接続できない間、いくつかの機能が一時的に無効になります。これらの機能は、インターネット接続が回復すると再び使用可能になります。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。
- Adobe InDesign ファイルを開いて編集するときに、Citrix Files for Mac がファイルを保存せず、Adobe InDesign が予期せず終了する場合があります。
- オフラインアクセスを使用すると、フォルダーが正しくコピーされない場合があります。
- ダッシュボードのアイテムは、ダブルクリックしても開かない場合があります。

Citrix Files for Outlook

March 20, 2024

Outlook 用 Citrix Files を使用すると、Outlook の添付ファイルのファイルサイズ制限を回避し、添付ファイルまたは電子メールにセキュリティを追加することができます。ファイルアップロード要求を安全に、メールで直接送信できます。

Citrix Files for Outlook は、誰かがファイルにアクセスしたり、ファイルを送信したりしたときに警告する通知を提供します。また、ファイルごとに異なるセキュリティレベルとアクセスレベルを設定することもできます。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

サポートされるバージョン

サポートされている最小バージョン

- Outlook v22.1.10.0 以降用の Citrix Files

[Citrix ダウンロード](#)で Citrix Files for Outlook をダウンロードします。

システム要件

OS 要件

- Windows 10 以降

.NET の要件

- Microsoft .NET Framework 4.7.1 以降

Microsoft Outlook のバージョン要件

- Microsoft Outlook 2007、2010、2013、2016、2019 (32 ビットおよび 64 ビット)。
- 完全にインストールされた Office アプリケーションを含む Office 365 プラン。

注:

プラグインのローカルバージョンは、Microsoft Outlook Express、Outlook for Mac、または Web ベースの Outlook と互換性がありません。

Citrix Content Collaboration の要件

- Citrix Content Collaboration Advanced、Premium、または Virtual Data Room プラン。
- ユーザーはアカウントの従業員ユーザーである必要があります。

解決された問題

22.7.5 で解決された問題

- 暗号化されたメールを表示すると、Outlook が予期せずシャットダウンすることがあります。[SFOLP-1531]
- 新しい作成ウィンドウを開くと、複数のログインプロンプトが表示されることがあります。[SFOLP-1532]
- 以前のバージョンが古すぎる場合、WebView2 により更新がインストールされないことがあります。[SFOLP-1533]

22.4 で修正された問題

- 暗号化された電子メールが失敗した後、送信に失敗したというエラーメッセージが表示されないことがあります。[SFOLP-1525]
- WebView2 を 2 回インストールできる可能性があります。[SFOLP-1528]

22.1 で解決された問題

このリリースでは解決された問題はありません。

21.10 で解決された問題

- 添付ファイル付きのメッセージの再送信は失敗することがあります。[SFOLP-1484]

21.9 で解決された問題

- 暗号化されたメールの送信に失敗することがあります。[SFOLP-1474]
- 再認証を試みると、認証が失敗することがあります。[SFOLP-1481]
- Citrix Files にサインインしていないときにファイルを送信すると、メッセージが正しく機能しないことがあります。[SFOLP-1485]
- メールに返信するときに、Outlook の返信ウィンドウがフォーカスを外れることがあります。[SFOLP-1494]
- Internet Explorer が Outlook の既定のブラウザになっているため、Outlook Today 機能が無効になっている可能性があります。[SFOLP-1501]

6.7 で解決された問題

- ネットワークを変更すると、Citrix Files for Outlook でエラーが発生することがあります。[SFOLP-1369]
- ドイツ語版を使用している場合、ワークフローを開始すると誤った説明が表示されることがあります。[SFOLP-1458]
- 暗号化されたメールにファイルを添付すると、エラーが発生することがあります。[SFOLP-1460]
- RTF 形式の電子メールに写真の添付ファイルがあると、配信に失敗することがあります。[SFOLP-1463]

6.6 で解決された問題

- Citrix Files for Outlook にファイルをドラッグすると、一部のファイルが変換されないことがあります。[SFOLP-1436]
- Outlook 2013 および Outlook 2019 を使用している場合、Citrix Files for Outlook にサインインしようとする失敗することがあります。[SFOLP-1437]
- 1280 x 960 より小さい解像度を使用すると、オプションウィンドウにエラーが表示されることがあります。[SFOLP-1438]
- Citrix Files for Outlook のサインインウィンドウを再度開こうとする失敗することがあります。[SFOLP-1447]

6.5.1 で解決された問題

- 「暗号化」トグルボタンで言語を変更した後、初めてファイルを添付すると、バナーがローカライズされないことがある。[SFOLP-1306]
- ファイルを添付した後、ファイルをロードした後、[ファイルを挿入] ウィンドウが再びポップアップすることがあります。[SFOLP-1396]

- オペレーティングシステムのカルチャが別の国に設定されている場合、英語が使用可能なオプションとして表示されないことがあります。[SFOLP-1398]
- ユーザーが認証されていない場合、「添付ファイルの変換」が無効にならないことがある。[SFOLP-1399]
- カルチャリストを作成すると、Citrix Files for Outlook アドインがクラッシュすることがある。[SFOLP-1401]

6.5 で解決された問題

- ユーザーがサインインしていなくても、添付ファイルが Citrix Files の添付ファイルに変換されることがあります。[SFOLP-1307]
- まだ読み込まれているフォルダーを閉じると、再度開いたときに正しくないフォルダーが表示されることがあります。[SFOLP-1334]
- ユーザーがサインインしていない場合でも、添付ファイルが Citrix Files の添付ファイルとして追加されることがあります。[SFOLP-1355]
- Outlook の起動時に認証が断続的に失敗します。[SFOLP-1360]

6.4 で解決された問題

- 新しいバージョンの Citrix Files for Outlook をインストールした後にウェルカムメッセージに表示されるアイコンがピクセル化することがあります。[SFOLP-1042]
- シングルサインオンを使用してサインインした後、ユーザーは再度手動で認証する必要があることがあります。[SFOLP-1152]

6.3.1 で解決された問題

- 受信者は、ログオンが必要な共有にアクセスできない場合があります。[SFOLP-1051]

6.3 で解決された問題

- Citrix Workspace アプリからログアウトすると、Citrix Files for Outlook がログインしたままになることがあります。[SFOLP-1020]
- Citrix Files for Outlook では、頻繁にログオンするように求めるメッセージが表示されることがあります。[SFOLP-1025]
- ログオンしていない場合でも、添付ファイルは自動的に変換されることがあります。[SFOLP-1046]
- Citrix 仮想アプリまたは Citrix 仮想デスクトップセッションで 15 分後に Microsoft Outlook を起動すると、シングルサインオンではなくログオンを求めるプロンプトが表示される。[SFOLP-1048]
- 最上位の Personal Cloud Connector フォルダーを選択して共有できます。[SFOLP-1092]
- Personal Cloud Connector が構成されていない場合、空のログオンページが表示されます。[SFOLP-1093]
- 一部の設定は、トークンの有効期限が切れて別のユーザーがログオンした後も保持されます。[SFOLP-1128]

6.2 で解決された問題

- メールが下書きとして保存されると、アイテムが添付されないことがあります。[SFOLP-984]
- [カスタム設定] ダイアログが画面の下部に表示されることがあります。[SFOLP-990]
- Citrix 添付ファイルバナーがメールウィンドウの外に表示されることがあります。[SFOLP-1006]
- メールアドレスには特殊文字を使用できない場合があります。[SFOLP-1014]
- マシン単位のインストールオプションを使用すると、サブドメインを入力した後に「ブラウザーが最新ではありません」というプロンプトが表示されることがあります。[SFOLP-1018]

既知の問題

6.5 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

6.4 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

6.3.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

6.3 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

6.2 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

Citrix Files for Outlook Online

May 28, 2024

Citrix Files for Outlook Online では、ファイルサイズの制限を回避し、添付ファイルまたは電子メールを Citrix Files 経由で送信することでセキュリティを強化できます。同僚、顧客、パートナーに対して、ファイルアップロード リクエストを安全に、メールで直接送信できます。

誰かがファイルにアクセスしたりファイルを送信したりするたびに通知を受信するため、常に状況を把握でき、必要に応じて対処できます。また、ファイルごとにセキュリティレベルとアクセスレベルを設定することで、より細やかに管理できます。

[Microsoft AppSource](#)、または Outlook オンラインリボンの [ストア] アイコンから、Citrix Files for Outlook Online をダウンロードします。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

注：

Citrix Files for Outlook Online は、macOS および Microsoft Office for Mac で機能します。

システム要件

Microsoft アカウントの要件

- Outlook.com
- Office 365
- Microsoft Exchange
 - 2013 SP1
 - 2016

Outlook 要件

- Outlook WebApp
- Outlook for Mac 2016 以降 (バージョン 15.33 以降)
- Windows 2013 以降の Outlook がサポートされています
- 詳細については、「[Microsoft Office の要件](#)」を参照してください。

Citrix Content Collaboration の要件

- Citrix Content Collaboration Advanced、Premium、または Virtual Data Room プラン。
- ユーザーはアカウントの従業員ユーザーである必要があります。

ブラウザの要件

- Chrome (最新バージョン)
- Firefox (最新バージョン)
- Safari (最新バージョン)
- Edge (最新バージョン)
- Internet Explorer 11

解決された問題

2.0.3 で解決された問題

このリリースで解決された問題はありません。

既知の問題

2.0.3 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

Citrix Files for Windows

March 20, 2024

Citrix Files for Windows では、マップされたドライブからファイルに直接アクセスできるため、Windows エクスプローラーのネイティブエクスペリエンスが提供されます。ファイルはアクセスされたときにのみダウンロードされ、一時的にローカルコンピューター上に保存されます。ファイルに加えられた変更は、クラウドに自動的に保存されます。Windows の右クリックコンテキストメニューからより多くの機能にアクセスし、ファイルの共有や要求などの操作を実行できます。

新機能について詳しくは、「[新機能](#)」を参照してください。

サポートされるバージョン

サポートされている最小バージョン

- Windows バージョン 22.1.0 またはそれ以降の Citrix Files

Citrix ダウンロードページで、[最新バージョンの Windows 向け Citrix Files](#) をダウンロードしてください。

システム要件

OS 要件

- Windows 10 以降
- Windows Server 2012 R2 またはそれ以降

VDA の要件

- XenApp および XenDesktop 7.15 LTSR、XenApp および XenDesktop 7.18、または Citrix Virtual Apps and Desktops 7 1808 以降

その他の要件

- アプリをインストールするには、ローカル管理者権限が必要です。
- .NET 4.7.1 フレームワークが必要です

解決された問題

23.4 で解決された問題

- OneDrive for Business コネクタを使用して Excel ファイルを保存すると、ファイルの競合が発生する可能性があります。[SFWIN-3381]
- Google Drive コネクタは最初はマウントされない場合があります。[SFWIN-3388]
- デスクトップアイコンが正しく表示されない場合があります。[SFWIN-3392]
- クライアントユーザーをフォルダーに追加すると、エラーが発生する可能性があります。[SFWIN-3409]
- コネクタフォルダーの名前を変更すると、エラーが発生する可能性があります。[SFWIN-3419]
- コネクタフォルダの名前をリモートで変更すると、エラーが発生する可能性があります。[SFWIN-3455]
- デスクトップアイコンの名前を変更すると、位置が変わることがあります。[SFWIN-3457]

22.11 で解決された問題

- 同期ウィンドウのリセットボタンをクリックしても、選択したフォルダが解放されない場合があります。[SFWIN-3169]
- **Sync** でフォルダを変更した後に [キャンセル] を選択すると失敗することがあります。[SFWIN-3358]
- **Sync** 内のフォルダを [オンライン専用にする] に変更すると、エラーが発生することがあります。[SFWIN-3358]
- 以前に削除したファイルの名前が同じ場合、ファイルをアップロードすると競合が発生する可能性があります。[SFWIN-3363]
- サブフォルダに保存すると、権限エラーが表示されることがあります。[SFWIN-3364]

22.8 で修正された問題

- フォルダーの権限を追加するときに、「ユーザーを複製」チェックボックスが機能しない場合があります。[SFWIN-3325]

- Windows 用の Citrix Files を新規インストールした後も、CBFS ドライバが残ることがあります。[SFWIN-3331]
- 英語以外のシステムでは、アサートエラーボックスが表示されることがあります。[SFWIN-3337]
- アカウントの設定によっては、「リンクを取得」と「リンクをリクエスト」に無効なアクセスレベルが表示される場合があります。[SFWIN-3343]
- Office ファイルを変更すると、不正確な競合検出通知が発生する可能性があります。[SFWIN-3345]

22.5 で修正された問題

- ネットワーク接続が使用できない場合、正しいエラーアイコンが表示されないことがあります。[SFWIN-2732]
- 一部のファイルのウイルスステータスは、更新後に表示されないことがあります。[SFWIN-3269]
- Windows Docker コンテナでは、ドライバの競合が発生する可能性があります。[SFWIN-3285]
- 自動更新はインストールに失敗する可能性があります。[SFWIN-3290]
- Citrix Files for Windows 自動アップデーターは、cmd.exe を間接的に実行することがあります。[SFWIN-3292]
- Windows 用 Citrix Files インストーラーが WebView2 を再インストールする可能性があります。[SFWIN-3294]
- リンクを取得機能を利用すると、通知タスクが失敗することがあります。[SFWIN-3323]

22.3 で修正された問題

- SharePoint コネクタフォルダ内のファイルをチェックインまたはチェックアウトすると、エラーが発生することがあります。[SFWIN-3218]
- ファイルのアップロード中にローカルキャッシュを手動で削除すると、アップロードの失敗が表示されないことがあります。[SFWIN-3223]
- 変更された日付は、保存された WordPerfect ファイルで正しい情報を表示しない場合があります。[SFWIN-3241]

22.1 で解決された問題

- リモートで移動したフォルダはエラーの原因となる場合があります。[SFWIN-3172]
- 一部のネットワーク共有コネクタには、チェックアウトオプションが表示されない場合があります。[SFWIN-3185]
- クライアント証明書の自動選択は失敗することがあります。[SFWIN-3190]
- 無効な Unicode 文字を含む項目名を誤って作成すると、エラーが発生する可能性があります。[SFWIN-3207]
- ファイルサイズに変更がない場合、ファイルが更新されないことがあります。[SFWIN-3212]

21.10 で解決された問題

- 特定の Unicode 文字を含むファイルをアップロードすると失敗することがあります。[SFWIN-3145]
- バージョン管理がオフになっていると、ファイルコンテンツが更新されないことがあります。[SFWIN-3153]
- コネクタフォルダーとファイルの [リンクの取得] オプションが失敗することがある。[SFWIN-3168]
- フォルダーを移動すると、CPU 使用率が高くなることがあります。[SFWIN-3180]

21.7 で解決された問題

- フォルダーを移動しようすると、アプリケーションが失敗することがあります。[SFWIN-3018]
- リモートで名前が変更されたファイルは 2 回表示されることがあります。[SFWIN-3073]

21.5 で解決された問題

- ファイルが別のタイムゾーンでアクセスされると、間違ったアップロード時刻が表示されることがあります。[SFWIN-2740]
- フォルダーのバージョン管理を無効にした後も、フォルダーからファイルをチェックインおよびチェックアウトする機能が継続されることがあります。[SFWIN-2743]
- オフライン同期ウィンドウに正しくないコンテンツサイズが表示されることがある。[SFWIN-2760]
- サインアウト中にファイルを開いたままにしておくと、キャッシュがクリアされないことがあります。[SFWIN-2775]
- サインアウト後、デバイスを取り消した後も [サインアウトの確認] ウィンドウが画面上に残ることがあります。[SFWIN-2778]
- ファイルをリモートで更新すると、親フォルダーの日付がファイルによって変更されることがあります。[SFWIN-3030]
- CAPS アプリケーションで保存されたファイルは、クラウドと同期されないことがあります。[SFWIN-3066]
- [フォルダーのアクセス許可の管理] ウィンドウに、一部のユーザーに対して権限の内容が表示されないことがあります。[SFWIN-3077]

21.2 で解決された問題

- Windows フォトビューアーで画像ファイルを回転すると、元のファイルが削除されることがあります。[CCCHELP-376]
- CNS サーバーに接続しようとすると、失敗することがあります。[CCCHELP-868]
- 制限ゾーンフォルダーにアクセスすると、認証の問題が発生する可能性があります。[CCCHELP-932]
- AutoCAD および AutoCAD LT ファイルを保存すると、一時ファイルは含まれない場合があります。[CCCHELP-989]
- Citrix Files で作成された一部のファイルとフォルダーが同期されないことがあります。[CCCHELP-1008]

- 認証に失敗し、エラーメッセージが表示される可能性があります:「2 要素バックアップオプションの取得に失敗しました。もう一度試してください。」 [CCCHELP-1366]
- Citrix Files に保存された AutoCAD および AutoCADLT .dwg ファイルは、.bak ファイルとして表示される場合があります。 [CCCHELP-1369]
- ワークスペース認証を使用してサインインしようとする、スクリプトエラーが発生することがあります。 [CCCHELP-1379]
- リダイレクト中に、Citrix Files for Windows が誤った URL を提供することがあります。 [CCCHELP-1590]
- 修正された AutoCAD Revit ファイルは、Citrix Files for Windows で、クラウドに保存されないことがあります。 [SFWIN-3052]
- WebView2 を使用すると、キャッシュファイルが大きくなります。 [SFWIN-3054]
- WebView2 は、古いマシンでのログイン中に互換性の問題が発生する可能性があります。 [SFWIN-3063]

20.9 で解決された問題

- Windows 版 Citrix Files を開くと、メモリ使用量が高くなる場合があります。 [SFWIN-2911]
- ローカルフォルダーが正常に作成されないと、新しいローカルフォルダーに移動されたクラウドコンテンツが消えてしまうことがあります。 [SFWIN-2915]
- サインインに失敗すると、ローカルキャッシュが失敗することがあります。 [SFWIN-2916]
- サインインに失敗すると、ファイルおよびフォルダーを作成しようとする失敗することがあります。 [SFWIN-2916]
- ファイルアップロードの競合時に overwrite オプションを使用すると機能しないことがあります。 [SFWIN-2919]
- 一部の環境では認証が失敗することがあります。 [SFWIN-2920]

20.7 で解決された問題

- Excel を使用して複数の編集を試みると、エラーメッセージが表示されることがあります。 [SFWIN-2809]

2032 で解決された問題

- Citrix Files for Windows に表示されるファイルとフォルダーは、WebApp と異なる場合があります。 [CCCHELP-186]
- 一部の PowerPoint ファイルは、Citrix Files for Windows と一緒に保存すると画像が失われることがあります。 [CCCHELP-186]
- ログアウト後に Citrix ファイルがエラーになり、同期が機能しなくなることがある [CCCHELP-186]
- Windows 版 Citrix Files で編集した後に、Excel ファイルが削除されることがある。 [CCCHELP-68]
- Excel ファイルを開いて保存すると、エラーメッセージが表示されることがあります。 [CCCHELP-111]
- Citrix Files for Windows のコンテンツが更新されると、エラーが発生することがあります。 [CCCHELP-150]
- ネットワークを変更すると、Citrix Files for Windows でエラーが発生することがあります。 [SFWIN-2780]

- Citrix Files for Windows 内のフォルダーがファイルとして表示されることがあります。[CCCHELP-55]
- Citrix Files for Windows は、長いパス名の場所にファイルをダウンロードできない場合があります。[SFWIN-2597]
- コネクタ内のファイルにオーバーレイアイコンが一貫して表示されない場合があります。[SFWIN-2610]
- 特定の展開では、シングルサインオンが正しく機能しない場合があります。この問題が発生すると、次のエラーメッセージが表示されます:「申し訳ありません。ソフトウェアが古くなっているため、アクセスは許可されていません。」[SFWIN-2641]
- Citrix Files for Windows を終了すると、ファイルに対する未保存の変更に関する警告が表示されることがあります。[PD-1404]
- Azure AD で SAML を使用すると、SSO が失敗することがあります。[SFWIN-2783]

注:

認証中のユーザーエージェントは次のようになります。Gecko NT と同様に、Mozilla/5.0 (Windows NT; Win64; x64; Trident/7.0; rv:) は Windows オペレーティングシステムのカーネルバージョンであり、RV は Internet Explorer/Edge がインストールされているバージョンです。

1912 で解決された問題

- Citrix Files for Windows は、長いパス名の場所にファイルをダウンロードできない場合があります。[SFWIN-2597]
- コネクタ内のファイルにオーバーレイアイコンが一貫して表示されない場合があります。[SFWIN-2610]
- 特定の展開では、シングルサインオンが正しく機能しない場合があります。この問題が発生すると、次のエラーメッセージが表示されます:「申し訳ありません。ソフトウェアが古くなっているため、アクセスは許可されていません。」[SFWIN-2641]

1909 で解決された問題

- フォルダ内のファイルを変更すると、フォルダーの [最終更新日] が正しく更新されないことがあります。[SFWIN-2397]
- Adobe Acrobat でファイルを編集した後、Citrix Files for Windows で PDF が正しく保存されないことがある。[SFWIN-2543]
- 一部の Windows アプリケーションが予期せず断続的に終了することがあります。[SFWIN-2559]
- ネットワーク共有コネクタを使用している場合、認証に失敗しても、再認証を求めるメッセージは表示されません。[SFWIN-2570]
- Microsoft Office ファイルは、保存後に Citrix Files から削除されることがあります。[SFWIN-2596]

1907 で解決された問題

- 特定の環境で Citrix Files のマウントに失敗する。[SFWIN-1775]

- 大きな画像ファイルや動画ファイルを含むフォルダーは、読み込みに通常より時間がかかる場合があります。[SFWIN-2273]
- ファイルがオフラインのままの場合、オフラインファイルにアクセスできないことがあります。[SFWIN-2464]
- AutoCAD ファイルに変更を加えた場合、アップロードされたファイルの古いバージョンが削除されることがあります。[SFWIN-2470]
- Citrix Files for Windows がネットワーク接続なしでサインインすると、オフラインファイルは編集できません。[SFWIN-2483]

5.0 で解決された問題

- AutoCAD ファイルがランダムに削除されることがあります。[SFWIN-2094]
- 変更したファイルをユーザーが開くと、そのファイル内のコンテンツが古くなっている可能性があります。[SFWIN-2132]
- ファイルを開くと競合メッセージが誤って表示されることがある [SFWIN-2267]
- ドキュメントを PDF としてエクスポートすると失敗することがあります。

4.6 で解決された問題

- マップされた Citrix Files ドライブにアクセスすると、「正しくない機能」というエラーメッセージが表示される。[SFWIN-2009]
- Microsoft Edge を使用して保存されたファイルは、正しくアップロードされないことがあります。[SFWIN-2113]
- ユーザーの AppData システム変数が UNC パスを指していると、Citrix Files for Windows が予期せず終了します。[SFWIN-2117]
- 保存時に PDF ファイルが破損することがあります。[SFWIN-2120]

4.5 で解決された問題

- Bluebeam を使用して編集した PDF ファイルが破損する。[SFWIN-1451]
- Citrix Files で、VDA にログオンしたときに「アクセストークンの有効期限が切れているか、取り消されている可能性があります」と誤って表示されます。[SFWIN-1686]
- Citrix Files をアップグレードすると、アプリケーションが間違ったドライブ文字にマップされる。[SFWIN-1819]
- Citrix Files の場所に保存すると、最終的に保存したファイルが破損します。[SFWIN-1890]
- ネットワークを切断したり変更したりすると、Citrix Files が予期せず終了することがあります。[SFWIN-1967]

4.4 で解決された問題

- Citrix Files は高いメモリを消費することがあります。[SFWIN-1502]
- Citrix Files にファイルを保存すると、待ち時間が長くなることがあります。[SFWIN-1556]
- 古いバージョンのファイルがユーザーに表示されることがあります。[SFWIN-1570]
- Citrix Files のパフォーマンスが低下することがあります。[SFWIN-1642]
- Citrix Files では、AutoCAD から.dwg ファイルが保存されないことがあります。[SFWIN-1669]
- Jupyter ノートブックは、Citrix Files に新しいチェックポイントフォルダーを追加し続けます。[SFWIN-1676]
- フォルダーを開くと Windows エクスプローラがフリーズすることがある。[SFWIN-1707]
- Blue Beam でファイルを編集すると、0 バイトのファイルがアップロードされることがあります。[SFWIN-1758]
- Citrix Files からローカルマシンにフォルダーを移動しても、フォルダー内のファイルが転送されないことがあります。[SFWIN-1782]

4.3 で解決された問題

- プロジェクトファイルを開くと、ファイルが破損することがあります。[SFWIN-1437]
- Fslogix を使用してアプリデータを保存すると、Citrix Files が機能しないことがあります。[SFWIN-1460]
- サーバーに完全にアップロードされる前にファイル名を変更すると、2 つのファイルがローカルに作成されることがあります。[SFWIN-1468]
- VDA で SAML シングルサインオンを使用すると、自動ログオンが機能しないことがあります。[SFWIN-1507]
- PDF ファイルを開いたり編集したりすると、ファイルが破損することがあります。[SFWIN-1509]
- Citrix Files のリモートとローカルで、ファイルとフォルダーが一致しないことがあります。[SFWIN-1524]
- Citrix Files ドライブにファイルを保存すると、ドライブの書き込みが遅くなることがあります。[SFWIN-1556]
- ファイルを右クリックしても、コンテキストメニューが表示されないことがあります。[SFWIN-1559]
- ファイルの [最終更新日] に一貫性がない可能性があります。[SFWIN-1670]

既知の問題

22.5 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

1912 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

1909 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

1907 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

5.0 の既知の問題

- 一部のサードパーティ製ソフトウェアが、Citrix Files for Windows のフォルダー構造のマウント機能を妨げることがあります。詳細と回避策については、ナレッジセンターの記事 [CTX250001](#) を参照してください。
- Citrix Files for Windows が Windows 10 でマウントに失敗する。バージョン 1809 で最近の Windows の更新プログラムでは、ドライブのマウントに関する問題が発生しました。マップされたドライブと Windows 10 1809 の詳細と回避策については、「[Windows サポート](#)」を参照してください。
- 大量のマルチメディアファイルがあるフォルダーにアクセスすると、読み込み時間が遅くなります。回避策については、ナレッジセンターの記事 [CTX241253](#) を参照してください。
- ファイルまたはフォルダーの名前を大文字と小文字が異なる同じ名前に変更しても機能しません。[SFWIN-1711]

4.6 の既知の問題

- アップロード中にベータ機能を有効にしてバージョン 4.5 からバージョン 4.6 にアップグレードすると、アップロードがキャンセルされます。回避策として、アップロードが完了するまで待ってからアップグレードしてください。
- Citrix Files for Windows が Windows 10 でマウントに失敗する。最近の Windows 更新プログラム (バージョン 1809) では、ドライブのマウントに関する問題が発生しました。マップされたドライブと Windows 10 1809 の詳細と回避策については、「[Windows サポート](#)」を参照してください。
- 大量のマルチメディアファイルがあるフォルダーにアクセスすると、読み込み時間が遅くなります。回避策については、ナレッジセンターの記事 [CTX241253](#) を参照してください。
- ファイルまたはフォルダーの名前を大文字と小文字が異なる同じ名前に変更しても機能しません。[SFWIN-1711]

4.5 の既知の問題

- Citrix Files for Windows が Windows 10 でマウントに失敗する。最近の Windows 更新プログラム (バージョン 1809) では、ドライブのマウントに関する問題が発生しました。マップされたドライブと Windows 10 1809 の詳細と回避策については、「[Windows サポート](#)」を参照してください。

- ファイルまたはフォルダーの名前を大文字と小文字が異なる同じ名前に変更しても機能しません。[SFWIN-1532]

4.4 の既知の問題

- Citrix Files for Windows が Windows 10 でマウントに失敗する。最近の Windows 更新プログラム (バージョン 1809) では、ドライブのマウントに関する問題が発生しました。マップされたドライブと Windows 10 1809 の詳細と回避策については、「[Windows サポート](#)」を参照してください。
- ファイルまたはフォルダーの名前を大文字と小文字が異なる同じ名前に変更しても機能しません。[SFWIN-1532]

4.3 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

制限事項

ダイナミックディスクフェア共有 (Windows Server オペレーティングシステムで使用) が原因で、フォルダエクスプローラの操作がハングすることがあります。回避策として、ディスクフェアの共有を無効にできます。これは、次の PowerShell スクリプトを使用して実行できます。

```
1 $temp = (gwmi win32_terminalservicesetting -N "root\cimv2\terminalservices")
2 $temp.enableDiskFSS = 0
3 $temp.put()
```

次の PowerShell コマンドを使用して、変更を確認できます。

```
1 (gwmi win32_terminalservicesetting -N "root\cimv2\terminalservices")
```

詳細については、「[リモートデスクトップサービスではフェアシェアテクノロジーが既定で有効になっています](#)」を参照してください。

以下の情報は、ナレッジセンターの記事 CTX228273 で以前に公開されています。

- インターネットに接続できない間、いくつかの機能が一時的に無効になります。これらの機能は、インターネット接続が回復すると再び使用可能になります。
- Citrix Files アプリをアンインストールすると、現在サインインしているユーザーのローカル AppData は削除されますが、そのマシン上の他のユーザーの Citrix Files AppData は削除されません。回避策として、各ユーザーの `C:\users\<user>\Appdata\Local\Citrix\Citrix Files\` ディレクトリと `C:\Users\<user>\AppData\Roaming\Citrix\Citrix Files` ディレクトリを削除してください。

- サインイン時に「アクションの実行に失敗しました」と表示されることがあります。回避策として、フォルダー `C:\Users\<user>\AppData\Roaming\Citrix\Citrix Files` をクリアしてアプリを再起動します。
- フォルダ内の子フォルダーと同じ名前を付けると、フォルダーを作成または名前変更しようとするとき失敗することがあります。この問題は、同じ名前の子フォルダーを内部に表示する権限がない場合に発生します。
- サイズの大きい.exe ファイルを含むフォルダーを参照すると、Windows エクスプローラのパフォーマンスが低下することがあります。回避策として、Explorer が応答するまでしばらく待つことができます。
- 多数のイメージファイルまたはビデオファイルを含むフォルダーを参照すると、Windows エクスプローラのパフォーマンスが低下することがあります。詳しくは、Knowledge Center の [CTX241253](#) を参照してください。
- 260 文字を超える長いフォルダーパスを参照すると、ファイルは表示されません。
- Citrix Files のドライブ文字を変更すると、左側のナビゲーションペインが新しいドライブ文字にすぐに更新されないことがあります。回避策として、PC フォルダーに移動し、新しいドライブ文字に移動します。
- Citrix Files for Windows が Windows 10 でマウントに失敗する。バージョン 1809 で最近の Windows の更新プログラムでは、ドライブのマウントに関する問題が発生しました。マップされたドライブと Windows 10 1809 の詳細と回避策については、「[Windows サポート](#)」を参照してください。
- ~ 記号で始まるファイル名またはフォルダー名はアップロードできません。
- ファイルを別のフォルダーにコピーすると、以前のバージョンのファイルがコピーされないことがあります。この問題は、コピー操作にのみ適用されます。移動操作には適用されません。
- ファイルまたはフォルダーの名前を、大文字と小文字を区別して同じ名前に変更することはできません。
- ユーザーが削除権限を持っていない場合、チェックアウトしたファイルを編集するとエラーが発生することがあります。回避策として、その特定のフォルダーに対する削除権限をユーザーに付与するか、ファイルをチェックアウトして編集しないようにします。
- ファイルの編集中に Windows エクスプローラで Office の一時ファイルが表示されることがある。回避策として、エクスプローラビューを更新して一時ファイルを削除します。
- OneDrive for Business サブフォルダーに構成されたマウントポイントは、断続的に読み込みに失敗することがあります。回避策として、コネクタのルートを指すマウントポイントを作成します。
- Citrix Files が ShareFile Sync と同じマシンにインストールされている場合、チェックイン/チェックアウトのオーバーレイが表示されないことがあります。
- 制限付きゾーンはサポートされていません。
- Citrix Files からファイルを削除しようとするとき、そのファイルはエクスプローラビューから一時的に表示されなくなり、数秒以内に再び表示されます。それに伴い、削除操作が失敗したことを示すシステム通知メッセージが表示されます。この問題は、ユーザーに削除権限がない場合に発生します。

RightSignature

January 25, 2024

ShareFile は、ライトシグネチャーを使用した電子署名機能を提供します。電子署名は、e-署名と呼ばれることもあります。ただし、電子署名とは、電子契約書またはその文書の条件に同意する意思を示すためにお客様が作成する文書上のマークを除きます。

ShareFile RightSignature を ShareFile と統合すると、文書に法的拘束力のある署名を完全にオンラインで取得でき、紙の文書を作成するよりも迅速かつ安全に完了できます。ShareFile は、さまざまなレベルの電子署名機能を提供します。

- ShareFile 電子署名を使用すると、ShareFile アカウントに保存されているファイルを送信して電子署名することができます。統合手順については、「[はじめに](#)」を参照してください。
- RightSignature はスタンドアロンソリューションとしても利用できます。開始するには、「[RightSignature](#)」を参照してください。

ヒント:

電子署名のユーザー情報については、[RightSignature ユーザーガイド](#)をご覧ください。

解決された問題

2023 年 12 月 11 日

ファイル名にピリオドを使用してファイルをアップロードしようとすると、アップロードが失敗することがあります。
[ESPILET-351]

2023 年 2 月 6 日

このリリースは、さまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2022 年 6 月 26 日

このリリースは、さまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2021 年 1 月 20 日

このリリースは、さまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

RightSignature のよくある質問

RightSignature について詳しくは、「[RightSignature のよくある質問](#)」を参照してください。

Storage Zone Controller

June 15, 2020

[Storage Zone Controller 5.x](#)

[Storage Zone Controller 4.x](#)

ユーザー管理ツール

April 27, 2021

[User Management Tool](#)

[ユーザー管理ツールによるポリシーベースの管理](#)



© 2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).